

分野系列 Area of Study	発展科目
カリキュラム Curriculum	経営学部 イベント(留学2023)、経営学部 イベント(2023)
配当学年（履修対象） Year of Study	2 年
講義名 Name of Subject	文化芸術イベント論 E-A
講義名（英語表記） Name of Subject (English)	Culture and Art Event Theory
担当教員 Instructor	賽音吉雅
必修／選択 Compulsory／Elective	選択必修
開講期 Course Period	春(前)期
単位数 Credits	2
実務経験のある教員 (実務経験と授業内容の関係)	担当教員は、20年間以上のプロ演奏活動とフィールドスタディーのデータをもとに講義を行う。現場を経験したからこそ、豊富な指導経験や具体的事例に基づき、文化芸術イベント論をわかりやすく講義します。

【授業概要・本科目で取り扱うテーマ】 Course Description	芸術・エンタメ、ミュージックなどのキャリア（専門家）が企画・実施する授業であって、既成の大学の授業にありがちな固定概念にとらわれずに、自由かつ闊達な思考をもとに、プロの多様性を理解するための基本的な知識と方法を学ぶ授業を言う。授業では、モンゴル文化の概論（講義）および馬頭琴の演奏（演習）を融合し、履修生を中心に、東西文化を学習し、この文化と深いつながりを有する馬頭琴の意義を理解することをねらいとする。							
【到達目標】 Course Objectives	キャリアデザインを楽しむ自由かつ闊達な思考を醸成する 文芸（概論）と実習を連携するイベントを企画・実施する 芸術性（アーティスティック）を課題としたイベントを企画し、実施する能力に目標する。							
【履修条件・受講推奨者】 Course Conditions	◇ 芸術・音楽・演奏を楽しみ、好きな課題を見つけられる人。							
【教育方法】 Teaching Method	担当教員は、来日以来20年間のプロ演奏活動とフィールドスタディーのデータをもとに講義を行う。現場を経験したからこそ、学生にとっての学びに有益な情報を選択して、豊富な指導経験や具体的事例に基づき、授業づくりの面白さや課題を丁寧に解説する。							
【指定教科書・参考資料等】 Textbooks ・ Reference Books	◇教材は文献資料、DVD、写真、パワーポイントなどを利用する。参考文献等は、その都度、授業中に紹介する。							
【実務 I Q 修得目標】 Learning objective based on practical applicability	自制力 self-control	○	思考力 ability to think	○	突破力 The power to break	○	忍耐力 endurance	○
	協働力 ability to cooperate	○	主張力 assertiveness	○	創造力 creativity	○		

【成績評価・評価上の留意事項（試験方法、単位修得要件）】 Evaluation	評価項目と割合		評価方法	
	芸術、エンタメ、ミュージックなど企画・実施（キャリアデザイン）し、その内容进行评估する。	30%	授業への参加率・レポートの出来映えなどから授業への積極性を評価する	
	プロとは何か、について基本的な知見と方法を学び、さらに個性（オリジナリティー）进行评估する。	30%		
	芸術性（アーティスティック）を課題としたイベントを企画し、実施する能力进行评估する。	40%		
	合計		1 0 0 %	

【その他の注意事項】 Others	◇この授業（スタディー）は芸術文化の基礎的な意欲を高めること出来る。			
----------------------	------------------------------------	--	--	--

	【週】 Week	【テーマ】 Theme	【学習内容】 Study Contents		
	No1	授業概要	オリエンテーション（自己紹介を含む）		
		【予習内容】 Preparation	事前準備	120	分
		【復習内容】 Review	講義のメモにて復習	120	分
	No2	デザイン論	美術・芸術とキャリアデザインとは何か		
		【予習内容】 Preparation	事前準備	120	分
		【復習内容】 Review	講義のメモにて復習	120	分
	No3	文化交流論①	東西文化交流の方法		
		【予習内容】 Preparation	事前準備	120	分
		【復習内容】 Review	講義のメモにて復習	120	分
	No4	文化交流論②	アジア文化交流の特色		
		【予習内容】 Preparation	事前準備	120	分
		【復習内容】 Review	講義のメモにて復習	120	分

【授業計画】
Course Schedule

No5	文化交流論③	日本モンゴル文化交流の意義		
	【予習内容】 Preparation	事前準備	120	分
	【復習内容】 Review	講義のメモにて復習	120	分
No6	エンタメについて分析	エンタメイメントプロデュースの課題		
	【予習内容】 Preparation	事前準備	120	分
	【復習内容】 Review	講義のメモにて復習	120	分
No7	エンタメ論①	映画企画、制作の課題		
	【予習内容】 Preparation	事前準備	120	分
	【復習内容】 Review	講義のメモにて復習	120	分
No8	エンタメ論②	テレビ・ラジオ制作の課題		
	【予習内容】 Preparation	事前準備	120	分
	【復習内容】 Review	講義のメモにて復習	120	分
No9	エンタメ論③	インターネット動画制作の方法		
	【予習内容】 Preparation	事前準備	120	分
	【復習内容】 Review	講義のメモにて復習	120	分
No10	音楽のジャンルについて	クラシック～民族音楽の楽しみ方		
	【予習内容】 Preparation	事前準備	120	分
	【復習内容】 Review	講義のメモにて復習	120	分

	No11	伝統音楽①	馬頭琴の多文化性A（和楽器との共演）		
		【予習内容】 Preparation	事前準備	120	分
		【復習内容】 Review	講義のメモにて復習	120	分
	No12	伝統音楽②	馬頭琴の多文化性B（日本の歌との共演）		
		【予習内容】 Preparation	事前準備	120	分
		【復習内容】 Review	講義のメモにて復習	120	分
	No13	伝統音楽③	馬頭琴の多文化性C（朗読との共演）		
		【予習内容】 Preparation	事前準備	120	分
		【復習内容】 Review	講義のメモにて復習	120	分
	No14	総括・達成度の確認	今までの授業についての総括および学習達成度の確認テストを実施する		
		【予習内容】 Preparation	事前準備	120	分
		【復習内容】 Review	全体の復習	120	分

分野系列 Area of Study	発展科目
カリキュラム Curriculum	経営学部 イベント(留学2023)、経営学部 イベント(2023)
配当学年（履修対象） Year of Study	2 年
講義名 Name of Subject	展示会・会議イベント論 E-A
講義名（英語表記） Name of Subject (English)	Exhibition Conference Event Theory
担当教員 Instructor	佐藤 友紀子
必修／選択 Compulsory／Elective	選択必修
開講期 Course Period	春(前)期
単位数 Credits	2
実務経験のある教員 (実務経験と授業内容の関係)	実際に、展示会・会議イベントを実施した経験のある教員が講義を行う。実際の事例を使いながら、実施に至るまでの流れ・考えるポイントを示しながら進める。

【授業概要・本科目で取り扱うテーマ】 Course Description	テーマ：「イベントのいろは」 概要： イベントと一言で言っても、その内容は様々。音楽・スポーツイベントなどが目につきがちですが、実際には発表会や展示会、企業の会議・コンベンションやパーティなど毎日様々なイベントが行われています。目的や課題に応じて、イベントの種類やその内容は大きく違ってきます。当プロフェッショナルセミナーでは、それぞれのイベントに必要なモノ・コトについての知識や、イベントの違いや特性などについて学ぶことで、課題を解決する手段としての「イベント」に対する理解を深めます。その後、社会に出た時に即戦力となれるよう、発想力・プレゼン力・協同力をより一層高めていくことを目指します。
【到達目標】 Course Objectives	【チームワークの重要性を知り、承認力を身に付ける】 ・具体的な課題への期限のある作業を通し、役割分担やサポートの大切さに気付く。 ・ひとつの事象に対して感じることは人それぞれ。それを否定せず認め合いながら自分の発想の糧にできる。 【PC作業力・想像力・発想力・プレゼンテーション力を育てる】 ・イベントの種類に応じたプランニングのための情報収集とアイデア出しができ、自分のアイデア・企画を、わかりやすく、共感をもって伝えられる力を身に付ける。 ・座学で学んだ企画・演出・運営のポイントを理解しながらプランニング～資料作成～プレゼンテーションができる。 【自らの展示会・会議イベントを組み立てる力を身につける】 オリジナル企画のイベントをデザインし表現して相手に提案し、実現することができる。
【履修条件・受講推奨者】 Course Conditions	◇幅広くイベントに興味を持ち、特にイベントの「展示会・会議イベント」の仕組みを知りたいと考えていること。 ◇講義内で行うワークやディスカッションに積極的に参加できること。
【教育方法】 Teaching Method	講義ではスライドを使用し、展示会・会議イベントの基本を学びます。 またワークも取り入れ、実践に近いかたちで展示会イベントのポイントを押さえていきます。
【指定教科書・参考資料等】 Textbooks ・ Reference Books	◇教科書は使用せず。必要に応じて資料配布する。

【実務 I Q 修得目標】 Learning objective based on practical applicability	自制力 self-control		思考力 ability to think	○	突破力 The power to break	○	忍耐力 endurance	○
	協働力 ability to cooperate	○	主張力 assertiveness	○	創造力 creativity	○		

【成績評価・評価上の留意事項（試験方法、単位修得要件）】 Evaluation	評価項目と割合		評価方法	
	【展示会・会議イベントに関する基礎知識を理解する】 授業中に行う質疑応答、ワーク、小テスト、本試験の設問に対する回答によって評価。	30%	70%以上の出席を前提として、 授業態度30%、提出物10%、期末試験60% 講義への積極的な参加姿勢・ワークへの取り組みなど含め、総合的な学習成果に基づいて評価します。	
	【展示会・会議イベントの構成要素を知り理解する】 授業中に行う質疑応答、ワーク、小テスト、本試験の設問に対する回答によって評価。	35%		
	【自ら展示会・会議イベントを組み立てる力を身につける】 授業中に行う質疑応答、ワーク、小テスト、本試験の設問に対する回答によって評価。	35%		
	合計		100%	

【その他の注意事項】 Others	◇講義中、他者に迷惑となる行為（私語等）厳に禁止する。講義に関係のない携帯電話の使用（メール・ウェブの閲覧も含む）もご遠慮ください。 ◇授業に使用する一部スライドの撮影はできません。また、スライドの配布はいたしません。
----------------------	--

	【週】 Week	【テーマ】 Theme	【学習内容】 Study Contents		
	No1	イントロダクション	本講義についてのガイダンス		
		【予習内容】 Preparation	自身が想像する展示会について考察する	120	分
		【復習内容】 Review	当該講義内容について	120	分
	No2	展示会・会議系イベントの基礎	展示会とは／会議系イベントとは		
		【予習内容】 Preparation	展示会主催者にはどのような人がいるか考察	120	分
		【復習内容】 Review	当該講義内容について	120	分
	No3	展示会場の仕組み	展示会主催側の動き		
		【予習内容】 Preparation	想像する展示会のルールについて考察	120	分
		【復習内容】 Review	当該講義内容について	120	分

No4	出展要綱について-1	展示会ならではのルール		
	【予習内容】 Preparation	展示会制作時に必要となりそうな提出書類について考察	120	分
	【復習内容】 Review	当該講義内容について	120	分
No5	出展要綱について-2	提出書類の意味／レンタル品		
	【予習内容】 Preparation	出展要綱とは何かについて考察	120	分
	【復習内容】 Review	当該講義内容について	120	分
No6	出展要綱について-3	出展要綱読み解き～実践		
	【予習内容】 Preparation	さまざまな展示会のブースの特徴について考察	120	分
	【復習内容】 Review	当該講義内容について	120	分
No7	展示会のブース作り	展示会における施工の特徴		
	【予習内容】 Preparation	展示会に限らず見たことのある商品展示について考察	120	分
	【復習内容】 Review	当該講義内容について	120	分
No8	展示方法について	業界別に見る展示手法		
	【予習内容】 Preparation	展示会の運営とはどういうものかについて考察	120	分
	【復習内容】 Review	当該講義内容について	120	分

	No9	展示会の運営	展示会における運営計画（導線・ポストとシフトなど）		
		【予習内容】 Preparation	印象に残っているブースについて、その理由を考察	120	分
		【復習内容】 Review	当該講義内容について	120	分
	No10	効果的なブース作り	施工、導線、サイン、展示方法		
		【予習内容】 Preparation	想像する「会議イベント」について考察	120	分
		【復習内容】 Review	当該講義内容について	120	分
	No11	外部向け会議イベント	カンファレンス／コンベンション／カンファレンスなどの作り方		
		【予習内容】 Preparation	会議イベントで重要と思われる運営について考察	120	分
		【復習内容】 Review	当該講義内容について	120	分
	No12	会議イベントの運営	会議イベントの運営ポイント		
		【予習内容】 Preparation	さまざまな授業で学んだ運営について考察	120	分
		【復習内容】 Review	当該講義内容について	120	分
	No13	会議イベントを考える	運営計画実践		
		【予習内容】 Preparation	自身が体験、もしくは見聞きした表彰式について考察	120	分
		【復習内容】 Review	当該講義内容について	120	分

	No14	番外編：表彰式	表彰式の作り方		
		【予習内容】 Preparation	学んだことを頭に入れながら開催されている展示会に足を運ぶ	120	分
		【復習内容】 Review	当該講義内容と、これまでの講義について	120	分

分野系列 Area of Study	発展科目
カリキュラム Curriculum	経営学部 イベント(留学2023)、経営学部 イベント(2023)
配当学年（履修対象） Year of Study	2 年
講義名 Name of Subject	社会貢献イベント論 E-A
講義名（英語表記） Name of Subject (English)	Social Contributions Event Theory
担当教員 Instructor	濱松 敏廣
必修／選択 Compulsory／Elective	選択必修
開講期 Course Period	春(前)期
単位数 Credits	2
実務経験のある教員 (実務経験と授業内容の関係)	非営利法人の経営において、スポンサーからの寄付で運営をして来ました。社会課題に意識を向けた次世代を育て、「自身のPR＝企画書」の書き方を通じて支援され得る次世代のアイデアを育成します。

【授業概要・本科目で取り扱うテーマ】 Course Description	ボランティアの経験を就職面接で学生に問う企業が増えています。なぜでしょうか？ 大きな責任を伴う企業では、責任感がなく根性がない人の採用は、よほどのコネでもない限りしません。 そこで彼ら是对価性が低いボランティア活動のなかで、与えられた仕事を継続し責任の伴う役割を果たすことができたのか、書類や面接で引き出そうとするのです。 当論では社会貢献団体におけるイベント運営や歴史、企画書の書き方、スポンサー獲得への営業体験などを提供し、社会の即戦力として期待される学生を育成します。
【到達目標】 Course Objectives	社会課題の種類を知り、なぜその問題に興味を持つのか、自分の気持ちを確認すること。 企画書の作成を通じて、他者からの評価および他者への評価づけを体験すること。 既存イベントを通じて自分のやりたいイベントとは何かを見定め、形にすること。
【履修条件・受講推奨者】 Course Conditions	◇ 履修条件：とくになし。 ◇ 就活などに追われ、自分の価値について再考したい方には特にお勧めします。
【教育方法】 Teaching Method	系統学習に加えて、一部課題解決型学習を取り入れます。
【指定教科書・参考資料等】 Textbooks ・ Reference Books	指定図書は使用しません。各テーマごと、必要に応じて用意します。
【実務 I Q 修得目標】 Learning objective based on practical applicability	自制力 self-control 協働力 ability to cooperate ○ 思考力 ability to think 主張力 assertiveness ○ 突破力 The power to break 創造力 creativity ○ ○ 忍耐力 endurance

【成績評価・評価上の留意事項（試験方法、単位修得要件）】 Evaluation	評価項目と割合		評価方法		
	既存イベントを通じて自分のやりたいイベントとは何かを見定め、形にすること。	30%	評価項目と割合に準拠しつつ、授業態度および体験イベントへの参加を加味した上で、試験にて評価を行う。		
	6W2HおよびSWOT分析についての理解を深めることができたか。	40%			
	課題提出の提出。	30%			
	合計	100%			
【その他の注意事項】 Others	◇他校の学生や社会人と連絡をとることがあるため、対外的に使えるメールアドレスをご用意ください。 ◇予習や復習はあくまでも学問としての理解を深めるための目安であり、当授業にとって必ずしも必要ではありません。				
	【週】 Week	【テーマ】 Theme	【学習内容】 Study Contents		
	No1	オリエンテーション&イントロダクション	非営利イベントの意義とブランディングについて。物事の「価値」を考えよう。		
		【予習内容】 Preparation	自分が興味を持つ、または問題意識を感じている社会課題について、調べておこう。	120	分
		【復習内容】 Review	自分を取り巻く社会課題について考えることで、大学での学びをより充実させてみよう。	120	分
	No2	非営利イベントを行う目的と企画立案の仕方	企画の立案・分析・予算・広報(内部/外部)・スタッフ・スケジュールについて学びます。非営利団体と営利企業の運営における違いとは？		
		【予習内容】 Preparation	営利企業におけるイベントについて、知っている人は思考を整理しておこう。	120	分
		【復習内容】 Review	非営利団体と営利企業の運営の違いをについて、思考整理しておこう。	120	分
	No3	スポンサー獲得方法と協賛の種類	NPO法人維新隊ユネスコクラブでの事例紹介。自立のできる非営利組織と自立のできない組織における「違い」とはなにか、考えよう。		
		【予習内容】 Preparation	社会貢献団体における自立の方法について、考えてみよう。	120	分
		【復習内容】 Review	身近な活動事例を知り、補助金に頼る団体と頼らない団体の違いは何か、考えをまとめよう。	120	分
	No4	要素分析とデザイン	スポンサー獲得のできる企画書と、できない企画書の違いとは何でしょうか。デザインの重要性和、6W2Hについて学びます。		
		【予習内容】 Preparation	「スポンサーの獲得できる企画書」について自分なりの考察を予習することにより、学習深度を深めることが可能となります。	120	分
		【復習内容】 Review	予習で得た自分の考察とサンプル事例を比較することにより、企画書の重要性を学びます。	120	分

【授業計画】
Course Schedule

No5	思考の整理術	6W2Hの復習とPDCAの重要性について、理解度を深めます。		
	【予習内容】 Preparation	PDCAの使い方および事例について、調べてみよう。	120	分
	【復習内容】 Review	思考の整理術にはどのような方法があるか、復習しよう。	120	分
	企画書を書く前に～SWOT分析①～	マーケティング手法「SWOT」の具体的な分析方法を学ぼう。Ex) 自分SWOT		
	【予習内容】 Preparation	マーケティング分析について、自主的に調べてみよう。	120	分
	【復習内容】 Review	SWOT分析における外的要因と内的要因とは何か？理解しよう。	120	分
	企画書を書く前に～SWOT分析②～	自分SWOTを使って自分を商品に見立てた上で、相互プレゼンテーションを体験してみよう。		
	【予習内容】 Preparation	SWOT分析とはなにか？さまざまな文献を調べ、理解を深めよう。	120	分
	【復習内容】 Review	相互プレゼンテーションで「評価をする者」と「評価をされる者」の両方を体験し、その時感じた自分の気持ちを再確認しよう。	120	分
	企業CSRの実例紹介	企業CSR担当者をお招きし、企業におけるCSRの意義やイベント等の実情を聞き、営利企業にとっての社会貢献とはなにか、理解を深める。		
	【予習内容】 Preparation	ゲスト企業について、調べておこう。	120	分
	【復習内容】 Review	ゲスト企業にスポンサーをお願いできる社会貢献テーマは何か、読み解こう。	120	分
	テーマ別チーム結成・簡易企画書の作成	テーマ別にチーム分けを行い、スポンサー企業を意識した企画書作りを実施。		
	【予習内容】 Preparation	チームビルディングの方法について、調べてみよう。	120	分
	【復習内容】 Review	企画書の作り方に必要なポイントは何か？再確認しよう。	120	分
No10	企画書の相互チェック・俯瞰	プレゼンテーションへの準備。足りないポイントは何か？チームメンバーと共に考える。		
	【予習内容】 Preparation	優れたプレゼンに必要な要素とはなにか、調べておこう。	120	分
	【復習内容】 Review	企画書の内容について、人の心を打つことができる内容か、再確認しておこう。	120	分

	No11	チーム対抗プレゼンテーション	チーム対抗プレゼンテーションの実施。優秀チームの選定および評価を相互に行おう。		
		【予習内容】 Preparation	発表者を決め、発表の予行練習をしておこう。	120	分
		【復習内容】 Review	優勝チームと自分たちのチーム発表について、違いを考えてみよう。	120	分
	No12	企画書のブラッシュアップ	優秀チームの企画書を、より良くするための意見交換をしよう。		
		【予習内容】 Preparation	優勝チームの企画書について、良い点と悪い点を認識しておこう。	120	分
		【復習内容】 Review	意見交換をもとに、デザインに独自性を持たせてみよう。	120	分
	No13	企業CSRの実例紹介資料の見直し	春期授業で使われた資料の再確認を行い、自身が企画書を書けるようになってから資料を見るとどのような変化を感じたか意見交換を行おう。		
		【予習内容】 Preparation	企業CSR担当者が提供してくれた資料を見ながら、6W2Hに当てはまるキーワードを抜き出そう。	120	分
		【復習内容】 Review	授業時に聞くことのできた他者の意見と自身の感じ方の違いについて、思い返してみよう。	120	分
	No14	総括・達成度の確認	今までの授業についての総括および学習達成度の確認しよう。テスト範囲について、要点整理を行います。		
		【予習内容】 Preparation	No1～13までの資料を再度読み直してください。	120	分
		【復習内容】 Review	要点整理をしますので、重要ポイントを復讐してください。	120	分

分野系列 Area of Study	発展科目
カリキュラム Curriculum	経営学部 イベント(留学2023)、経営学部 イベント(2023)
配当学年（履修対象） Year of Study	2 年
講義名 Name of Subject	エンターテインメントイベント論 E-A
講義名（英語表記） Name of Subject (English)	Entertainment Event Theory
担当教員 Instructor	北原 隆
必修／選択 Compulsory／Elective	選択必修
開講期 Course Period	春(前)期
単位数 Credits	2
実務経験のある教員 (実務経験と授業内容の関係)	エンターテインメントイベントのディレクターや舞台監督としての30年以上の現場経験を元に、エンタメイメントに関わる様々な事柄について具体例を示しながらわかりやすく講義します。

【授業概要・本科目で取り扱うテーマ】 Course Description	主にステージ（舞台）を使ったイベントの基礎知識+その応用を学びます。 同じ空間を使用するイベントでも、ライブと演劇ではその手法も意味も違ってきます。 使う道具も、場合によっては専門用語も違います。 その歴史や成り立ち、会場の仕組み、演出技術やその意味、仕事の構成を基本から知ること、好みに偏らない的確で安全な企画提案が出来るスキルを身につけます。 またなるべく多くのケーススタディに触れることでその範囲の広がり＆その違いを知り、未知なるものにそれを応用する力を養います。 その上で、様々なイベントへの応用と展開を知ります。							
【到達目標】 Course Objectives	エンタメイメントに関する基礎知識を理解する 技術や手法・道具を基礎から知り、理解し説明することが出来る 様々なエンタメイメントの特徴を理解する 様々なエンタメイメントのケーススタディにふれ、その特徴を理解し、説明できる エンタメイメントの構成要素を知り理解し自らのエンタメイメントを組み立てる力を身につける イベント内容に合わせた会場選びができ、必要な機材及びスタッフを理解し構成することができる オリジナル企画のイベントをデザインし表現して相手に提案し、実現することができる							
【履修条件・受講推奨者】 Course Conditions	◇幅広くイベントに興味を持ち、その仕組みを知りたいと考えていること ◇これまでにライブ＆演劇を最低１本づつは見ていること							
【教育方法】 Teaching Method	実務で実際に使用された資料などを使用し、教科書にはないリアルなイベント現場の今を体感してもらう。							
【指定教科書・参考資料等】 Textbooks ・ Reference Books	◇教科書は使用せず、授業時に資料を配布する ◇巻尺および三角スケール							
【実務 I Q 修得目標】 Learning objective based on practical applicability	自制力 self-control		思考力 ability to think	○	突破力 The power to break	○	忍耐力 endurance	
	協働力 ability to cooperate		主張力 assertiveness	○	創造力 creativity	○		

【成績評価・評価上の留意事項（試験方法、単位修得要件）】 Evaluation	評価項目と割合		評価方法		
	エンタメイメントに関する基礎知識	40%	日々の課題提出と講義への参加意識、期末試験で総合的に評価します。		
	様々なエンタメイメントの特徴を理解	30%			
	エンタメイメントの構成要素を理解	30%			
	合計	100%			
【その他の注意事項】 Others	◇特になし				
	【週】 Week	【テーマ】 Theme	【学習内容】 Study Contents		
	No1	イントロダクション	様々な舞台、様々なステージ エンターテインメントイベントが行なわれる様々な会場とその条件の違いについて 屋外&屋内 常設&仮設		
		【予習内容】 Preparation	日常的エンタメイメントへの情報収集と参加	120	分
		【復習内容】 Review	講義内容の振り返り	120	分
	No2	エンターテインメントの基礎	演劇舞台とライブステージ 仕事の流れとそれに関わる人々 イベントチェックシート		
		【予習内容】 Preparation	日常的エンタメイメントへの情報収集と参加	120	分
		【復習内容】 Review	講義内容の振り返り	120	分
	No3	ライブイベントの流れ	計画から当日まで ～仕事での具体的資料を見ながらその流れを学ぶ 会場入りから本番まで ～仕事での具体的資料を見ながらその流れを学ぶ 本番からバラシまで ～仕事での具体的資料を見ながらその流れを学ぶ		
		【予習内容】 Preparation	日常的エンタメイメントへの情報収集と参加	120	分
		【復習内容】 Review	講義内容の振り返り	120	分
	No4	着ぐるみの話	着ぐるみの構造と特性とは 着ぐるみ着用時の注意事項 着ぐるみ使用イベントでの注意事項		
		【予習内容】 Preparation	日常的エンタメイメントへの情報収集と参加	120	分
		【復習内容】 Review	講義内容の振り返り	120	分

【授業計画】
Course Schedule

No5	導線計画	人の動きを考えた導線計画 楽しませるための導線計画 ゲストエリア、アクトエリア、バックエリアという考え方 テーマパークの仕組み 回遊型アトラクションの仕組み		
	【予習内容】 Preparation	日常的エンタイベントへの情報収集と参加	120	分
	【復習内容】 Review	講義内容の振り返り	120	分
No6	電気の話 特効について	電気の基礎知識と注意事項 イベント時における電気回路分けのこと 電工ドラムは巻いたまま使うな 特効とは 特殊効果の種類と使用方法について		
	【予習内容】 Preparation	日常的エンタイベントへの情報収集と参加	120	分
	【復習内容】 Review	講義内容の振り返り	120	分
No7	音響の話	ライブとデッド 音響の基礎知識 反射と吸音 残響時間 立ち位置で違う音の聞こえ方 PAの基礎知識 PA卓の構成 マイクの話 マイクは叩くな スピーカーの話		
	【予習内容】 Preparation	日常的エンタイベントへの情報収集と参加	120	分
	【復習内容】 Review	講義内容の振り返り	120	分
No8	色と光とLED	色の基本と光の基本について LEDとは何か LEDの特性と効果について		
	【予習内容】 Preparation	日常的エンタイベントへの情報収集と参加	120	分
	【復習内容】 Review	講義内容の振り返り	120	分
No9	エンタイベントにおける照明演出について	照明器具の種類とその効果について 舞台照明の意味 照明の当て方による効果の違い 照明制御とDMX		
	【予習内容】 Preparation	日常的エンタイベントへの情報収集と参加	120	分
	【復習内容】 Review	講義内容の振り返り	120	分
No10	エンタイベントにおける映像演出について	LEDスクリーンとプロジェクターについてとその効果 マジックビジョンの仕組みについて プロジェクションマッピングについて		
	【予習内容】 Preparation	日常的エンタイベントへの情報収集と参加	120	分
	【復習内容】 Review	講義内容の振り返り	120	分

	No11	舞台機構	舞台機構とは 舞台の構成について 幕の種類について 反射板について セリなど昇降装置と奈落について 吊りもの系とスノコについて		
		【予習内容】 Preparation	日常的エンタメントへの情報収集と参加	120	分
		【復習内容】 Review	講義内容の振り返り	120	分
	No12	世界観の構築	大道具小道具について 舞台美術&舞台セット、映画テレビとイベントでの違いについて エイジングとウエザリング 世界観とは何か 世界観の構築とルール作り		
		【予習内容】 Preparation	日常的エンタメントへの情報収集と参加	120	分
		【復習内容】 Review	講義内容の振り返り	120	分
	No13	イベントと食事	イベント現場での食事の調達とその重要性 現場の違いによる食事の違いについて ロケ弁とケータリング いつ食べるのか誰から食べるのか		
		【予習内容】 Preparation	日常的エンタメントへの情報収集と参加	120	分
		【復習内容】 Review	講義内容の振り返り	120	分
	No14	会場管理	会場管理について 指定管理者制度について イベント会場で働くことのおもしろさについて		
		【予習内容】 Preparation	日常的エンタメントへの情報収集と参加	120	分
		【復習内容】 Review	講義内容の振り返り	120	分

分野系列 Area of Study	発展科目
カリキュラム Curriculum	経営学部 イベント(留学2023)、経営学部 イベント(2023)
配当学年（履修対象） Year of Study	2 年
講義名 Name of Subject	イベントマネジメント E-A
講義名（英語表記） Name of Subject (English)	Event Management
担当教員 Instructor	磯野 通敏
必修／選択 Compulsory／Elective	選択必修
開講期 Course Period	春(前)期
単位数 Credits	2
実務経験のある教員 （実務経験と授業内容の関係）	15年間のフジサンケイグループでのB2Bイベント開発・運営経験を基に、現場のノウハウや実践的な企画・運営手法を教授。独立後30年の経験も活かし、リアルな業界知識を提供します。

【授業概要・本科目で取り扱う テーマ】 Course Description	今や日本が世界に誇るマンガ・アニメ・ゲーム・シティーポップといったJ-カルチャーは、「コミケ」のように大きなイベントも開催され、「鬼滅の刃」などのアニメ映画が観客動員数、興行売上の上位にあることでポテンシャルの高い日本の文化資産として認知され、世界各国でアニメコンベンションが開催されている。このように身近なJ-カルチャー（J a p a n e s eカルチャーとJ-カルチャーの違い）を理解し、国境を越えて世界で開催されているアニメイベントの成功例（北米最大のアニメイベントAXを主に研究）を研究することで、様々なマネジメントの施策を学び、自ら企画することでイベントのマネジメント感覚を養う。																																																			
【到達目標】 Course Objectives	イベントマネジメントの基本を理解する。 世界のJ-Cultureイベントの事例をイベントマネジメントの視点から研究する。 自分独自のJ-Cultureイベントをマネジメントの手法を生かして企画立案する。																																																			
【履修条件・受講推奨者】 Course Conditions	J-カルチャーが好きでアニメイベントに関心がある PPTが使える																																																			
【教育方法】 Teaching Method	世界のアニメイベントの事例研究 J-カルチャーの本質を学習 AX（米国最大のアニメイベン）を題材にマネジメントの見地から構造を学習 自らイベントを企画する																																																			
【指定教科書・参考資料等】 Textbooks ・ Reference Books	講師が参加した過去のAXの参考資料などを基に作ったスライドで講義 世界の有識者（ハワイ大学：ジェイソン博士、AXの初代CEO：マイク タツガワ）のリモート講義																																																			
【実務！Q修得目標】 Learning objective based on practical applicability	<table><tr><td>自制力 self-control</td><td></td><td>思考力 ability to think</td><td>○</td><td>突破力 The power to break</td><td></td><td>忍耐力 endurance</td><td></td></tr><tr><td>協働力 ability to cooperate</td><td>○</td><td>主張力 assertiveness</td><td>○</td><td>創造力 creativity</td><td>○</td><td colspan="2"></td></tr></table>										自制力 self-control		思考力 ability to think	○	突破力 The power to break		忍耐力 endurance		協働力 ability to cooperate	○	主張力 assertiveness	○	創造力 creativity	○																												
自制力 self-control		思考力 ability to think	○	突破力 The power to break		忍耐力 endurance																																														
協働力 ability to cooperate	○	主張力 assertiveness	○	創造力 creativity	○																																															
【成績評価・評価上の留意事項 （試験方法、単位修得要件）】 Evaluation	<table><tr><td colspan="6">評価項目と割合</td><td colspan="4">評価方法</td></tr><tr><td colspan="6">課題によって評価 イベントの基本を理解する</td><td>25%</td><td colspan="4" rowspan="4">課題（50点/10問5点）と最終課題（50点）の合計及び出席、プレゼで査定する。</td></tr><tr><td colspan="6">課題によって評価 事例を研究発表する</td><td>25%</td></tr><tr><td colspan="6">最終課題での評価 自分のアニメイベントを創る</td><td>50%</td></tr><tr><td colspan="6">合計</td><td>100%</td></tr></table>										評価項目と割合						評価方法				課題によって評価 イベントの基本を理解する						25%	課題（50点/10問5点）と最終課題（50点）の合計及び出席、プレゼで査定する。				課題によって評価 事例を研究発表する						25%	最終課題での評価 自分のアニメイベントを創る						50%	合計						100%
評価項目と割合						評価方法																																														
課題によって評価 イベントの基本を理解する						25%	課題（50点/10問5点）と最終課題（50点）の合計及び出席、プレゼで査定する。																																													
課題によって評価 事例を研究発表する						25%																																														
最終課題での評価 自分のアニメイベントを創る						50%																																														
合計						100%																																														

【その他の注意事項】 Others	特になし。				
	【週】 Week	【テーマ】 Theme	【学習内容】 Study Contents		
	No1	イントロダクション イベントマネジメントの目的	講義のテーマとAgendaの確認 課題①の説明		
		【予習内容】 Preparation	イベントマネジメントとは？	120	分
		【復習内容】 Review	イベントマネジメントの留意点を理解する	120	分
	No2	事例研究-1 失敗できないイベントとは？	イベントマネジメントの重要性を理解する 成功するイベントのポイント 課題②の発表 課題②の説明		
		【予習内容】 Preparation	課題①の作成 「失敗できないイベント？」	120	分
		【復習内容】 Review	事例の仕分けと、問題点を深堀する	120	分
	No3	事例研究-2 成功するイベントとは？	イベントマネジメントの重要性を理解する 失敗するイベントのポイント 課題③の発表 課題③の説明		
		【予習内容】 Preparation	課題③の作成「成功するイベントと理由？」	120	分
		【復習内容】 Review	事例の仕分けと、問題点を深堀する	120	分
	No4	事例研究-3 アニメイベントの構造 〈海外のアニメイベントのルーツAXを知る〉	米国最大のAX (アニメエキスポ) とは何か？ 戦略と戦術を過去の資料を基に説明 課題④の発表 課題④の説明 欧州、アジア、中東、北米の4エリアにチーム分けし、アニメイベントの事例を調べる		
		【予習内容】 Preparation	課題④の作成「世界のアニメイベント？」	120	分
		【復習内容】 Review	AXの構造を深堀する	120	分
	No5	事例研究-4 世界に広がるアニメイベントの実態	AXをルーツに世界に広がりを見せるアニメイベントの事例を研究する 課題⑤を欧州、アジア、中東、北米の4グループに分けそれぞれ発表 発表は6W 2 Hに簡潔にまとめるものとする 課題⑤の説明		
		【予習内容】 Preparation	課題⑤の作成「失敗したイベント？」	120	分
		【復習内容】 Review	世界のアニメイベントを深堀する	120	分
	No6	事例研究-5 失敗するイベントとは？	失敗事例をもとに失敗するイベントのポイントを解説する 課題⑥の発表 課題⑥の説明		
		【予習内容】 Preparation	課題⑥の作成 「特別講義①の質問を考える」	120	分
		【復習内容】 Review	陥りやすい失敗するイベントのポイントを深堀する	120	分

【授業計画】
Course Schedule

No7	特別講義-① ジェイソン博士特別講義	ハワイ大学ウエストオアフ校 歴史学博士 ジェイソン博士特別講義 ハワイとリモートで本校とを繋ぎ、J-Cultureとは何か？日本のアニメや世界でブームとなっているCity Popなどの例を挙げてわかりやすく講義する 1. 講師紹介 5分 2. ジェイソン教授 特別講義 60分 Chat逐次通訳※要約 3. 質疑応答 20分 逐次通訳※要約 4. 総評 5分 協賛MAT 課題⑦の発表 課題⑧の説明		
	【予習内容】 Preparation	課題⑥の作成「ジェイソン博士の講義の感想」	120	分
	【復習内容】 Review	J-カルチャーを深堀する	120	分
No8	事例研究- 6 Corona-19禍でのリアルイベントを補完するする施策①	特別講義の解説 リアルイベントを補完する実写型VR Corona-19過でリアルイベントが中止または延期、無観客実施となって大きなダメージとなった中、リアルイベントを補完する様々な施策が生まれた。 施策①として、実写型VR (THETAとMATTERPORT) について具体事例をもとに講義する 課題⑦の説明		
	【予習内容】 Preparation	課題⑦の作成「リアルイベントを補完する施策の実施例」	120	分
	【復習内容】 Review	実写型VRの深堀する	120	分
	事例研究- 7 Corona-19禍でのリアルイベントを補完するする施策②	リアルイベントを補完する様々な施策 課題⑦の発表 課題⑧の説明		
No9	【予習内容】 Preparation	課題⑧の作成 「特別講義②の質問を考える」	120	分
	【復習内容】 Review	リアルイベントを補完する施策の深堀	120	分
	事例研究- 8 Corona-19禍でのリアルイベントを補完するする施策③	リアルイベントを補完する様々な施策 課題⑧の発表 課題⑨の説明		
No10	特別講義-② AX創始者マイク・タツガワ特別講義	テクノロジーコンサルタント SPJA/アニメエキスポ創設者元CEO パシフィックメディアエキスポ創設者CEO ロスとリモートで本校とを繋ぎ、AXの設立秘話と北米最大としてどのように大きく育てたか？を講義する 1. 講師紹介 5分 2. マイク・タツガワ氏特別講義 60分 逐次通訳※要約 3. 質疑応答 20分 逐次通訳※要約 4. 総評 5分 協賛MAT 課題⑨の発表 課題⑩の説明		
	【予習内容】 Preparation	課題⑨の作成「マイク・タツガワの講義の感想」	120	分
	【復習内容】 Review	AXを深堀する	120	分
No11	企画書制作- 1 テーマとタイトルを決定する	最終課題-オリジナルアニメイベントの企画 最終課題制作 ※タブレット、ノートブック等のPCを持参する ①タイトル ②企画趣旨 ※+Hについて		
	【予習内容】 Preparation	イベントのタイトルテーマを考えておく	120	分
	【復習内容】 Review	企画書制作- 1の見直し	120	分
No12	企画書制作- 2 イベント概要（6W2H）、展開案の作成	最終課題-オリジナルアニメイベントの企画 最終課題制作 ※タブレット、ノートブック等のPCを持参する ①開催概要 6W2H ②内 容 展開案		
	【予習内容】 Preparation	開催概要と展開を考えておく	120	分
	【復習内容】 Review	企画書制作- 2の見直し	120	分

	No13	企画書制作- 3 広報、運営、収支の作成	最終課題-オリジナルアニメイベントの企画 最終課題制作 ※タブレット、ノートブック等のPCを持参する ◎広報計画 ◎Agenda ◎収支計画 制作工程		
		【予習内容】 Preparation	広報、収支について考えておく	120	分
		【復習内容】 Review	企画書制作- 3 の見直し	120	分
	No14	企画書制作- 4 企画書の完成・提出 総括・達成度の確認	最終課題-オリジナルアニメイベントの企画 最終課題制作 ※タブレット、ノートブック等のPCを持参する ◎成功要因 ◎失敗要因 最終課題提出		
		【予習内容】 Preparation	成功要因、失敗要因について考えておく	120	分
		【復習内容】 Review	イベントマネジメント統括の確認	120	分

分野系列 Area of Study	発展科目
カリキュラム Curriculum	経営学部 イベント(留学2023)、経営学部 イベント(2023)
配当学年（履修対象） Year of Study	2 年
講義名 Name of Subject	イベントマネジメント論 E-A
講義名（英語表記） Name of Subject (English)	Event Management Theory
担当教員 Instructor	磯野 通敏
必修／選択 Compulsory/Elective	選択必修
開講期 Course Period	春(前)期
単位数 Credits	2
実務経験のある教員 （実務経験と授業内容の関係）	北米最大のJ-popイベントであるAXの創立者やハワイ大学教授を招きJ-pop Cultureイベントの実践や理解を深める特別講義を実施。自身の長年の実務経験を基に、文化人類学的視点からもイベントマネジメントを深く解説し、実践的かつ理論的な理解を深めます。

【授業概要・本科目で取り扱う テーマ】 Course Description	今や日本が世界に誇るマンガ・アニメ・ゲーム・シティーポップといったJ-カルチャーは、「コミケ」のように大きなイベントも開催され、「鬼滅の刃」などのアニメ映画が観客動員数、興行売上の上位にあることでポテンシャルの高い日本の文化資産として認知され、世界各国でアニメコンベンションが開催されている。 このように身近なJ-カルチャー（JapaneseカルチャーとJ-カルチャーの違い）を理解し、国境を越えて世界で開催されているアニメイベントの成功例（北米最大のアニメイベントAXを主に研究）を研究することで、様々なマネジメントの施策を学び、自ら企画することでイベントのマネジメント感覚を養う。										
【到達目標】 Course Objectives	イベントマネジメントの基本を理解する。 世界のJ-Cultureイベントの事例をイベントマネジメントの視点から研究する。 自分独自のJ-Cultureイベントをマネジメントの手法を生かして企画立案する。										
【履修条件・受講推奨者】 Course Conditions	J-カルチャーが好きでアニメイベントに関心がある PPTが使える										
【教育方法】 Teaching Method	世界のアニメイベントの事例研究 J-カルチャーの本質を学習 AX（米国最大のアニメイベン）を題材にマネジメントの見地から構造を学習 自らイベントを企画する										
【指定教科書・参考資料等】 Textbooks ・ Reference Books	講師が参加した過去のAXの参考資料などを基に作ったスライドで講義 世界の有識者（ハワイ大学：ジェイソン博士、AXの初代CEO：マイク タツガワ）のリモート講義										
【実務！Q修得目標】 Learning objective based on practical applicability	自制力 self-control		思考力 ability to think	○	突破力 The power to break		忍耐力 endurance				
	協働力 ability to cooperate	○	主張力 assertiveness	○	創造力 creativity	○					
【成績評価・評価上の留意事項 （試験方法、単位修得要件）】 Evaluation	評価項目と割合						評価方法				
	課題によって評価 イベントの基本を理解する						25%	課題（50点/10問5点）と最終課題（50点）の合計及び出席、プレゼで査定する。			
	課題によって評価 事例を研究発表する						25%				
	最終課題での評価 自分のアニメイベントを創る						50%				
	合計						100%				

【その他の注意事項】 Others	特になし。				
	【週】 Week	【テーマ】 Theme	【学習内容】 Study Contents		
	No1	イントロダクション イベントマネジメントの目的	講義のテーマとAgendaの確認 課題①の説明		
		【予習内容】 Preparation	イベントマネジメントとは？	120	分
		【復習内容】 Review	イベントマネジメントの留意点を理解する	120	分
	No2	事例研究-1 失敗できないイベントとは？	イベントマネジメントの重要性を理解する 成功するイベントのポイント 課題①の発表 課題②の説明		
		【予習内容】 Preparation	課題①の作成 「失敗できないイベント？」	120	分
		【復習内容】 Review	事例の仕分けと、問題点を深堀する	120	分
	No3	事例研究-2 成功するイベントとは？	イベントマネジメントの重要性を理解する 失敗するイベントのポイント 課題②の発表 課題③の説明		
		【予習内容】 Preparation	課題③の作成「成功するイベントと理由？」	120	分
		【復習内容】 Review	事例の仕分けと、問題点を深堀する	120	分
	No4	事例研究-3 アニメイベントの構造 〈海外のアニメイベントのルーツAXを知る〉	米国最大のAX (アニメエキスポ) とは何か？ 戦略と戦術を過去の資料を基に説明 課題④の発表 課題④の説明 欧州、アジア、中東、北米の4エリアにチーム分けし、アニメイベントの事例を調べる		
		【予習内容】 Preparation	課題④の作成「世界のアニメイベント？」	120	分
		【復習内容】 Review	AXの構造を深堀する	120	分
	No5	事例研究-4 世界に広がるアニメイベントの実態	AXをルーツに世界に広がりを見せるアニメイベントの事例を研究する 課題⑤を欧州、アジア、中東、北米の4グループに分けそれぞれ発表 発表は6W 2 Hに簡潔にまとめるものとする 課題⑤の説明		
		【予習内容】 Preparation	課題⑤の作成「失敗したイベント？」	120	分
		【復習内容】 Review	世界のアニメイベントを深堀する	120	分
	No6	事例研究-5 失敗するイベントとは？	失敗事例をもとに失敗するイベントのポイントを解説する 課題⑥の発表 課題⑥の説明		
		【予習内容】 Preparation	課題⑥の作成 「特別講義①の質問を考える」	120	分
		【復習内容】 Review	陥りやすい失敗するイベントのポイントを深堀する	120	分

【授業計画】
Course Schedule

No7	特別講義-① ジェイソン博士特別講義	ハワイ大学ウエストオアフ校 歴史学博士 ジェイソン博士特別講義 ハワイとリモートで本校とを繋ぎ、J-Cultureとは何か？日本のアニメや世界でブームとなっているCity Popなどの例を挙げてわかりやすく講義する 1. 講師紹介 5分 2. ジェイソン教授 特別講義 60分 Chat逐次通訳※要約 3. 質疑応答 20分 逐次通訳※要約 4. 総評 5分 協賛MAT 課題⑦の発表 課題⑧の説明		
	【予習内容】 Preparation	課題⑥の作成「ジェイソン博士の講義の感想」	120	分
	【復習内容】 Review	J-カルチャーを深堀する	120	分
No8	事例研究- 6 Corona-19禍でのリアルイベントを補完するする施策①	特別講義の解説 リアルイベントを補完する実写型VR Corona-19過でリアルイベントが中止または延期、無観客実施となって大きなダメージとなった中、リアルイベントを補完する様々な施策が生まれた。 施策①として、実写型VR (THETAとMATTERPORT) について具体事例をもとに講義する 課題⑦の説明		
	【予習内容】 Preparation	課題⑦の作成「リアルイベントを補完する施策の実施例」	120	分
	【復習内容】 Review	実写型VRの深堀する	120	分
	事例研究- 7 Corona-19禍でのリアルイベントを補完するする施策②	リアルイベントを補完する様々な施策 課題⑧の発表 課題⑨の説明		
No9	【予習内容】 Preparation	課題⑧の作成 「特別講義②の質問を考える」	120	分
	【復習内容】 Review	リアルイベントを補完する施策の深堀	120	分
	特別講義-② AX創始者マイク・タツガワ特別講義	テクノロジーコンサルタント SPJA/アニメエキスボ創設者元CEO パシフィックメディアエキスボ創設者CEO ロスとリモートで本校とを繋ぎ、AXの設立秘話と北米最大としてどのように大きく育てたか？を講義する 1. 講師紹介 5分 2. マイク・タツガワ氏特別講義 60分 逐次通訳※要約 3. 質疑応答 20分 逐次通訳※要約 4. 総評 5分 協賛MAT 課題⑨の発表 課題⑩の説明		
	【予習内容】 Preparation	課題⑨の作成「マイク・タツガワの講義の感想」	120	分
No10	【復習内容】 Review	AXを深堀する	120	分
	企画書制作- 1 テーマとタイトルを決定する	最終課題-オリジナルアニメイベントの企画 最終課題制作 ※タブレット、ノートブック等のPCを持参する ①タイトル ②企画趣旨 ※+Hについて		
	【予習内容】 Preparation	イベントのタイトルテーマを考えておく	120	分
	【復習内容】 Review	企画書制作- 1 の見直し	120	分
No11	企画書制作- 2 イベント概要（6W2H）、展開案の作成	最終課題-オリジナルアニメイベントの企画 最終課題制作 ※タブレット、ノートブック等のPCを持参する ③開催概要 6W2H ④内 容 展開案		
	【予習内容】 Preparation	開催概要と展開を考えておく	120	分
	【復習内容】 Review	企画書制作- 2 の見直し	120	分

	No13	企画書制作- 3 広報、運営、収支の作成	最終課題-オリジナルアニメイベントの企画 最終課題制作 ※タブレット、ノートブック等のPCを持参する ◎広報計画 ◎Agenda ◎収支計画 制作工程		
		【予習内容】 Preparation	広報、収支について考えておく	120	分
		【復習内容】 Review	企画書制作- 3 の見直し	120	分
	No14	企画書制作- 4 企画書の完成・提出 総括・達成度の確認	最終課題-オリジナルアニメイベントの企画 最終課題制作 ※タブレット、ノートブック等のPCを持参する ◎成功要因 ◎失敗要因 最終課題提出		
		【予習内容】 Preparation	成功要因、失敗要因について考えておく	120	分
		【復習内容】 Review	イベントマネジメント統括の確認	120	分

分野系列 Area of Study	応用科目
カリキュラム Curriculum	経営学部 イベント(留学2022)、経営学部 イベント(2022)、経営学部 イベント(留学2021)、経営学部 イベント(2021)、経営学部 イベント(留学2020)、経営学部 イベント(2020)、経営学部 イベント(留学2019)、経営学部 イベント(2019)、経営学部 イベント(留学2018)、経営学部 イベント(2018)
配当学年（履修対象） Year of Study	2 年
講義名 Name of Subject	ユニバーサルイベント E-A
講義名（英語表記） Name of Subject (English)	Universal Event
担当教員 Instructor	井上 彩音
必修／選択 Compulsory／Elective	なし
開講期 Course Period	春(前)期
単位数 Credits	2
実務経験のある教員 （実務経験と授業内容の関係）	講師はダイバーシティ＆インクルージョン、対話を目的としたエンターテインメントを運営、演出助手担当。講義の中では「ユニバーサル」について講師の経験も含め対話をし、時にはマイノリティなゲストに受講者は出会う。最終的には企画に入れ込むには、どのような工夫をすべきかを考える。

【授業概要・本科目で取り扱うテーマ】 Course Description	イベントは本来、誰もが困難なく快適に参加でき、心から楽しめる空間であることが望ましく、これまでの施設の設備や導線などへの配慮がされてきました。これからはさらに進めて、内容の企画や計画、会場設計から運営すべてにわたり「ユニバーサルイベント」の発想が求められています。 この講義では「今まで心が動いたもの」をテーマに対話をし、ユニバーサルイベントを企画する際の工夫を全員で考えていきます。 授業内では受講生同士でチームに分かれて相談する場面があります。また、障害者や高齢者、マイノリティーなゲストと共に「誰もが一緒に楽しめることはなにか？」を福祉ではなく、エンターテインメントで演出できる方法を考えます。													
【到達目標】 Course Objectives	ユニバーサルイベントに関する基礎知識を理解する イベント運営する際のおもてなしを理解している 多くの人の楽しみを知ろうとすることができる													
【履修条件・受講推奨者】 Course Conditions	◇幅広くイベントに興味を持ち、その仕組みを知りたいと考えていること ◇様々なターゲットの目線に立ち、その人の「楽しむ」は何かを探ることを考えることができる人													
【教育方法】 Teaching Method	◇とにかくみんなで楽しみながら話し合います ◇授業のルールは「分からない時は分からないと伝える」「誰も取り残さない」「相手を心から応援する」です													
【指定教科書・参考資料等】 Textbooks ・ Reference Books	◇教科書は使用せず、授業時に資料を配布する													
【実務！Q修得目標】 Learning objective based on practical applicability	自制力 self-control			思考力 ability to think		○	突破力 The power to break		○	忍耐力 endurance				
	協働力 ability to cooperate		○	主張力 assertiveness			創造力 creativity		○					
【成績評価・評価上の留意事項（試験方法、単位修得要件）】 Evaluation	評価項目と割合								評価方法					
	ユニバーサルイベントに関する基礎知識を理解する								30%		人の楽しみとユニバーサルイベントとは何かを考え、言葉にして伝えることができるか			
	多くの人の楽しみを知ろうとすることができる								40%					
	1つのことを様々な角度から観察することができる								30%					
	合計								100%					

【その他の注意事項】 Others	◇とくになし				
	【週】 Week	【テーマ】 Theme	【学習内容】 Study Contents		
	No1	イントロダクション	ユニバーサルイベントとは		
		【予習内容】 Preparation	ユニバーサルイベントと聞いてどのようなイメージがあるかメモにのこす	120	分
		【復習内容】 Review	授業内で復習内容のキーワード発表。調べる。	120	分
	No2	楽しむとは？	人が楽しんでいるものを多方向からみてる		
		【予習内容】 Preparation	自分の楽しむは何かを考える	120	分
		【復習内容】 Review	授業内で復習内容のキーワード発表。調べる。	120	分
	No3	楽しみの発見	受講メンバー同士の楽しみを調べる		
		【予習内容】 Preparation	自分が考える「楽しむ」以外の「楽しむ」は何かがあるかを考える	120	分
		【復習内容】 Review	授業内で復習内容のキーワード発表。調べる。	120	分
	No4	ターゲットを知る	何かを届けるときに受け取る人の事を先に調べる		
		【予習内容】 Preparation	仮にターゲットを決めリサーチする	120	分
		【復習内容】 Review	授業内で復習内容のキーワード発表。調べる。	120	分
	No5	ケーススタディ-1	誰もが楽しめる場所ができるまで		
【予習内容】 Preparation		誰もが楽しめるとは何かを考える	120	分	
【復習内容】 Review		授業内で復習内容のキーワード発表。調べる。	120	分	

【授業計画】
Course Schedule

No6	ケーススタディ-2	オープンするまでの準備、研修などについて		
	【予習内容】 Preparation	誰もが楽しめる場所を作るためのスケジュールを考える	120	分
	【復習内容】 Review	授業内で復習内容のキーワード発表。調べる。	120	分
No7	エンターテイナーの話①	視覚障害者キャストが会ったエピソード		
	【予習内容】 Preparation	目が見えない体験をしてみる（お風呂を暗間にして髪の毛を洗ってみる）	120	分
	【復習内容】 Review	授業後もう一度お風呂を暗間にして髪の毛を洗ってみる	120	分
No8	エンターテイナーの話②	聴覚障害者キャストが会ったエピソード		
	【予習内容】 Preparation	指文字で自分のニックネームが言えるようになる	120	分
	【復習内容】 Review	自分の好きなことをジェスチャーで伝えられるようになる	120	分
No9	誰もが一緒に働ける楽屋とは？	様々なキャスト・スタッフが一緒に働くとは？		
	【予習内容】 Preparation	様々な人とはどのような人かを改めて考える	120	分
	【復習内容】 Review	様々な人とはどのような人かを改めて考える	120	分
No10	安心、安全な運営	お客様が安心して楽しむために必要なことは		
	【予習内容】 Preparation	安心とは何かを考える	120	分
	【復習内容】 Review	誰もが安心できる場所とは？と考える	120	分
No11	安全運営のためのチームワーク	キャスト、スタッフの連携		
	【予習内容】 Preparation	安全とは何かを考える	120	分
	【復習内容】 Review	誰もが安全に過ごせる場所とは？と考える	120	分

	No12	企画をしてみよう	ターゲットを決め企画を考える		
		【予習内容】 Preparation	企画を考える	120	分
		【復習内容】 Review	企画を練り直す	120	分
	No13	プレゼンテーション	受講者同士で発表、ブラッシュアップを考える		
		【予習内容】 Preparation	企画発表練習	120	分
		【復習内容】 Review	企画発表練習	120	分
	No14	ブラッシュアッププレゼン	ブラッシュアップ後のプレゼン		
		【予習内容】 Preparation	プレゼン練習	120	分
		【復習内容】 Review	プレゼン課題に向けて練習	120	分

分野系列 Area of Study	応用科目
カリキュラム Curriculum	経営学部 イベント(留学2023)、経営学部 イベント(2023)
配当学年（履修対象） Year of Study	2 年
講義名 Name of Subject	ユニバーサルイベント論 E-A
講義名（英語表記） Name of Subject (English)	Universal Event Theory
担当教員 Instructor	井上 彩音
必修／選択 Compulsory／Elective	なし
開講期 Course Period	春(前)期
単位数 Credits	2
実務経験のある教員 (実務経験と授業内容の関係)	講師はダイバーシティ＆インクルージョン、対話を目的としたエンターテインメントを運営、演出助手担当。講義の中では「ユニバーサル」について講師の経験も含め対話をし、時にはマイノリティなゲストに受講者は出会う。最終的には企画に入れ込むには、どのような工夫をすべきかを考える。

【授業概要・本科目で取り扱うテーマ】 Course Description	イベントは本来、誰もが困難なく快適に参加でき、心から楽しめる空間であることが望ましく、これまでの施設の設備や導線などへの配慮がされてきました。これからはさらに進めて、内容の企画や計画、会場設計から運営すべてにわたり「ユニバーサルイベント」の発想が求められています。この講義では「今まで心が動いたもの」をテーマに対話をし、ユニバーサルイベントを企画する際の工夫を全員で考えていきます。授業内では受講生同士でチームに分かれて相談する場合があります。また、障害者や高齢者、マイノリティなゲストと共に「誰もが一緒に楽しめることはなにか？」を福祉ではなく、エンターテインメントで演出できる方法を考えます。									
【到達目標】 Course Objectives	ユニバーサルイベントに関する基礎知識を理解する									
	イベント運営する際のおもてなしを理解している									
	多くの人の楽しみを知ろうとすることができる									
【履修条件・受講推奨者】 Course Conditions	◇幅広くイベントに興味を持ち、その仕組みを知りたいと考えていること ◇様々なターゲットの目線に立ち、その人の「楽しむ」は何かを探ることを考えることができる人									
【教育方法】 Teaching Method	◇とにかくみんなで楽しみながら話し合います ◇授業のルールは「分からない時は分からないと伝える」「誰も取り残さない」「相手を心から応援する」です									
【指定教科書・参考資料等】 Textbooks ・ Reference Books	◇教科書は使用せず、授業時に資料を配布する									
【実務 I Q 修得目標】 Learning objective based on practical applicability	自制力 self-control		思考力 ability to think	○	突破力 The power to break	○	忍耐力 endurance			
	協働力 ability to cooperate	○	主張力 assertiveness		創造力 creativity	○				
【成績評価・評価上の留意事項 (試験方法、単位修得要件)】 Evaluation	評価項目と割合								評価方法	
	ユニバーサルイベントに関する基礎知識を理解する								30%	人の楽しみとユニバーサルイベントとは何かを考え、言葉にして伝えることができるか
	多くの人の楽しみを知ろうとすることができる								40%	
	1つのことを様々な角度から観察することができる								30%	
	合計								100%	

【その他の注意事項】 Others	◇とくになし				
	【週】 Week	【テーマ】 Theme	【学習内容】 Study Contents		
	No1	イントロダクション	ユニバーサルイベントとは		
		【予習内容】 Preparation	ユニバーサルイベントと聞いてどのようなイメージがあるかメモにのこす	120	分
		【復習内容】 Review	授業内で復習内容のキーワード発表。調べる。	120	分
	No2	楽しむとは？	人が楽しんでいるものを多方向からみてる		
		【予習内容】 Preparation	自分の楽しむは何かを考える	120	分
		【復習内容】 Review	授業内で復習内容のキーワード発表。調べる。	120	分
	No3	楽しみの発見	受講メンバー同士の楽しみを調べる		
		【予習内容】 Preparation	自分が考える「楽しむ」以外の「楽しむ」は何かがあるかを考える	120	分
		【復習内容】 Review	授業内で復習内容のキーワード発表。調べる。	120	分
	No4	ターゲットを知る	何かを届けるときに受け取る人の事を先に調べる		
		【予習内容】 Preparation	仮にターゲットを決めリサーチする	120	分
		【復習内容】 Review	授業内で復習内容のキーワード発表。調べる。	120	分
	No5	ケーススタディ-1	誰もが楽しめる場所ができるまで		
【予習内容】 Preparation		誰もが楽しめるとは何かを考える	120	分	
【復習内容】 Review		授業内で復習内容のキーワード発表。調べる。	120	分	

【授業計画】
Course Schedule

No6	ケーススタディ-2	オープンするまでの準備、研修などについて		
	【予習内容】 Preparation	誰もが楽しめる場所を作るためのスケジュールを考える	120	分
	【復習内容】 Review	授業内で復習内容のキーワード発表。調べる。	120	分
No7	エンターテイナーの話①	視覚障害者キャストが会ったエピソード		
	【予習内容】 Preparation	目が見えない体験をしてみる（お風呂を暗間にして髪の毛を洗ってみる）	120	分
	【復習内容】 Review	授業後もう一度お風呂を暗間にして髪の毛を洗ってみる	120	分
No8	エンターテイナーの話②	聴覚障害者キャストが会ったエピソード		
	【予習内容】 Preparation	指文字で自分のニックネームが言えるようになる	120	分
	【復習内容】 Review	自分の好きなことをジェスチャーで伝えられるようになる	120	分
No9	誰もが一緒に働ける楽屋とは？	様々なキャスト・スタッフが一緒に働くとは？		
	【予習内容】 Preparation	様々な人とはどのような人かを改めて考える	120	分
	【復習内容】 Review	様々な人とはどのような人かを改めて考える	120	分
No10	安心、安全な運営	お客様が安心して楽しむために必要なことは		
	【予習内容】 Preparation	安心とは何かを考える	120	分
	【復習内容】 Review	誰もが安心できる場所とは？と考える	120	分
No11	安全運営のためのチームワーク	キャスト、スタッフの連携		
	【予習内容】 Preparation	安全とは何かを考える	120	分
	【復習内容】 Review	誰もが安全に過ごせる場所とは？と考える	120	分

	No12	企画をしてみよう	ターゲットを決め企画を考える		
		【予習内容】 Preparation	企画を考える	120	分
		【復習内容】 Review	企画を練り直す	120	分
	No13	プレゼンテーション	受講者同士で発表、ブラッシュアップを考える		
		【予習内容】 Preparation	企画発表練習	120	分
		【復習内容】 Review	企画発表練習	120	分
	No14	ブラッシュアッププレゼン	ブラッシュアップ後のプレゼン		
		【予習内容】 Preparation	プレゼン練習	120	分
		【復習内容】 Review	プレゼン課題に向けて練習	120	分

分野系列 Area of Study	基礎科目
カリキュラム Curriculum	経営学部 イベント(留学2024)、経営学部 イベント(2024)、経営学部 イベント(留学2023)、経営学部 イベント(2023)、経営学部 イベント(留学2022)、経営学部 イベント(2022)、経営学部 イベント(留学2021)、経営学部 イベント(2021)、経営学部 イベント(留学2020)、経営学部 イベント(2020)、経営学部 イベント(留学2019)、経営学部 イベント(2019)、経営学部 イベント(留学2018)、経営学部 イベント(2018)
配当学年（履修対象） Year of Study	1 年
講義名 Name of Subject	イベントプロデュース論 I E-A
講義名（英語表記） Name of Subject (English)	Theory of Event Production I
担当教員 Instructor	大山 利栄
必修／選択 Compulsory／Elective	選択必修
開講期 Course Period	春(前)期
単位数 Credits	2
実務経験のある (実務経験と授業内容の関係)	イベントプロモーション最大手会社(上場企業)にて25年間イベントプロデューサーとして従事した経験を持ち、また、取締役として経営にも参画。その経験を活かし、イベントをプロデュースするということはどういうことなのかについて、様々な角度から検証しわかりやすく講義します。

【授業概要・本科目で取り扱うテーマ】 Course Description	「プロデュース」とは、思いついた SEED（種）を具体的に世に出し、社会化するまでの一連の行為であり、これから社会で活躍する人材を育てる上での重要なキーワードです。 とくにイベントは、臨時に組織を組んで行われる特別な行事・催事が多いことから、イベントプロデューサーにはさまざまな資質と能力が要求され、多様な機能と役割が求められます。これまで暗黙知として取り扱われてきたプロデュース行為をプロセスや要素をもとに再現可能なテクノロジーとして形式知化し、新たな人材育成プログラムとして適応させます。
【到達目標】 Course Objectives	イベントプロデュースに関する基礎知識を理解する 幅広いプロデュースカテゴリーについて理解する イベントプロデューサーの役割について理解する
【履修条件・受講推奨者】 Course Conditions	イベント学 I を履修していること
【教育方法】 Teaching Method	主に講義形式で行うが、必要に応じて実際のイベントの映像を使用する
【指定教科書・参考資料等】 Textbooks ・ Reference Books	使用せず

【実務 I Q 修得目標】 Learning objective based on practical applicability	<table><tr><td>自制力 self-control</td><td></td><td>思考力 ability to think</td><td>○</td><td>突破力 The power to break</td><td>○</td><td>忍耐力 endurance</td><td></td></tr><tr><td>協働力 ability to cooperate</td><td></td><td>主張力 assertiveness</td><td></td><td>創造力 creativity</td><td>○</td><td></td><td></td></tr></table>	自制力 self-control		思考力 ability to think	○	突破力 The power to break	○	忍耐力 endurance		協働力 ability to cooperate		主張力 assertiveness		創造力 creativity	○																																			
自制力 self-control		思考力 ability to think	○	突破力 The power to break	○	忍耐力 endurance																																												
協働力 ability to cooperate		主張力 assertiveness		創造力 creativity	○																																													
【成績評価・評価上の留意事項（試験方法、単位修得要件）】 Evaluation	<table><tr><td colspan="2">評価項目と割合</td><td>評価方法</td></tr><tr><td>授業態度</td><td>20%</td><td rowspan="4">3/2程度の出席は必須。 それぞれの評価項目を得点に応じて数値化し評価する</td></tr><tr><td>レポート提出</td><td>40%</td></tr><tr><td>期末テスト</td><td>40%</td></tr><tr><td>合計</td><td>100%</td></tr></table>	評価項目と割合		評価方法	授業態度	20%	3/2程度の出席は必須。 それぞれの評価項目を得点に応じて数値化し評価する	レポート提出	40%	期末テスト	40%	合計	100%																																					
評価項目と割合		評価方法																																																
授業態度	20%	3/2程度の出席は必須。 それぞれの評価項目を得点に応じて数値化し評価する																																																
レポート提出	40%																																																	
期末テスト	40%																																																	
合計	100%																																																	
【その他の注意事項】 Others	特になし																																																	
	<table><tr><td>【週】 Week</td><td>【テーマ】 Theme</td><td colspan="3">【学習内容】 Study Contents</td></tr><tr><td rowspan="3">No1</td><td rowspan="3">ガイダンス</td><td colspan="3">イベントにおけるプロデュースとは</td></tr><tr><td>【予習内容】 Preparation</td><td>これまでに参加したイベントについて整理する</td><td>120分</td></tr><tr><td>【復習内容】 Review</td><td>これまでに参加したイベントについてタイトル、日時、会場、内容についてレポート</td><td>120分</td></tr><tr><td rowspan="3">No2</td><td rowspan="3">プロデューステクノロジー</td><td colspan="3">プロデューステクノロジーの構造</td></tr><tr><td>【予習内容】 Preparation</td><td>6W2Hについて調べる</td><td>120分</td></tr><tr><td>【復習内容】 Review</td><td>好きなコンテンツを上げ、そのコンテンツのプロデューサーについて調べレポートする</td><td>120分</td></tr><tr><td rowspan="3">No3</td><td rowspan="3">驚きと感動の方程式①</td><td colspan="3">驚き発想 イベントの価値を上げるには</td></tr><tr><td>【予習内容】 Preparation</td><td>人間の感情について調べる</td><td>120分</td></tr><tr><td>【復習内容】 Review</td><td>最近驚いたことについてレポート</td><td>120分</td></tr><tr><td rowspan="3">No4</td><td rowspan="3">驚きと感動の方程式②</td><td colspan="3">感動発想 感動のメカニズム 驚きと感動の方程式</td></tr><tr><td>【予習内容】 Preparation</td><td>これまでに満足、感謝したことについて洗い出す</td><td>120分</td></tr><tr><td>【復習内容】 Review</td><td>これまでに感動したことについてレポート</td><td>120分</td></tr></table>	【週】 Week	【テーマ】 Theme	【学習内容】 Study Contents			No1	ガイダンス	イベントにおけるプロデュースとは			【予習内容】 Preparation	これまでに参加したイベントについて整理する	120分	【復習内容】 Review	これまでに参加したイベントについてタイトル、日時、会場、内容についてレポート	120分	No2	プロデューステクノロジー	プロデューステクノロジーの構造			【予習内容】 Preparation	6W2Hについて調べる	120分	【復習内容】 Review	好きなコンテンツを上げ、そのコンテンツのプロデューサーについて調べレポートする	120分	No3	驚きと感動の方程式①	驚き発想 イベントの価値を上げるには			【予習内容】 Preparation	人間の感情について調べる	120分	【復習内容】 Review	最近驚いたことについてレポート	120分	No4	驚きと感動の方程式②	感動発想 感動のメカニズム 驚きと感動の方程式			【予習内容】 Preparation	これまでに満足、感謝したことについて洗い出す	120分	【復習内容】 Review	これまでに感動したことについてレポート	120分
【週】 Week	【テーマ】 Theme	【学習内容】 Study Contents																																																
No1	ガイダンス	イベントにおけるプロデュースとは																																																
		【予習内容】 Preparation	これまでに参加したイベントについて整理する	120分																																														
		【復習内容】 Review	これまでに参加したイベントについてタイトル、日時、会場、内容についてレポート	120分																																														
No2	プロデューステクノロジー	プロデューステクノロジーの構造																																																
		【予習内容】 Preparation	6W2Hについて調べる	120分																																														
		【復習内容】 Review	好きなコンテンツを上げ、そのコンテンツのプロデューサーについて調べレポートする	120分																																														
No3	驚きと感動の方程式①	驚き発想 イベントの価値を上げるには																																																
		【予習内容】 Preparation	人間の感情について調べる	120分																																														
		【復習内容】 Review	最近驚いたことについてレポート	120分																																														
No4	驚きと感動の方程式②	感動発想 感動のメカニズム 驚きと感動の方程式																																																
		【予習内容】 Preparation	これまでに満足、感謝したことについて洗い出す	120分																																														
		【復習内容】 Review	これまでに感動したことについてレポート	120分																																														

【授業計画】
Course Schedule

No5	イベント脳トレーニング①	イベント発想法 様々な発想法とその使い方		
	【予習内容】 Preparation	考えに詰まった時にやっていることを洗い出す	120	分
	【復習内容】 Review	新しい組み合わせについてレポート	120	分
No6	イベント脳トレーニング②	イベント発想法 発想トレーニング(ワークショップ)		
	【予習内容】 Preparation	マインドマップの作成	120	分
	【復習内容】 Review	授業内で行った発想法の設問についてレポート	120	分
No7	プロジェクトマネジメント①	プロジェクトの管理とは 「集まり」「グループ」「チーム」 チームワーク		
	【予習内容】 Preparation	イメージするプロジェクトについて整理する	120	分
	【復習内容】 Review	過去に所属した「チーム」とその時の最高の思い出についてレポート	120	分
No8	プロジェクトマネジメント②	プロジェクトの管理法 プロジェクトマネジメント PIMBOK イベント制作の5つのステップと5大管理		
	【予習内容】 Preparation	NASAについて調べる	120	分
	【復習内容】 Review	PIMBOKとイベントのステップ、管理の類似性についてレポート	120	分
No9	リスクマネジメント①	イベントにおけるリスク管理法 イベント事故事例 トリアージ リスク回避の4つの戦略		
	【予習内容】 Preparation	イベントの事故に関する記事を検索しておく	120	分
	【復習内容】 Review	ヒヤリハット体験についてレポート	120	分
No10	リスクマネジメント②	イベントにおけるリスク管理法 渋滞学 待ち行列理論 行列のコントロール		
	【予習内容】 Preparation	行列に関する記事を検索しておく	120	分
	【復習内容】 Review	これまでの行列体験についてレポート	120	分

	No11	プロデューサーとしての考え方①	ロジカルシンキングとラジカルシンキング		
		【予習内容】 Preparation	「風が吹いたら桶屋が儲かる」について調べる	120	分
		【復習内容】 Review	ラテラルシンキングについての課題に対するレポート	120	分
	No12	プロデューサーとしての考え方②	概念化思考 多角的な視点		
		【予習内容】 Preparation	これまで「勘違いをしたモノ」について整理する	120	分
		【復習内容】 Review	見方を変えると変わるものについてレポート	120	分
	No13	プロデューサーとしての考え方③	ワークショップ(思考トレーニング)		
		【予習内容】 Preparation	驚き発想について再度確認しておく	120	分
		【復習内容】 Review	解らなかった問題に対して再度取り組む	120	分
	No14	ファンとブーム	ファンの構想と仕掛け ブームの構造と仕掛け		
		【予習内容】 Preparation	自分が好きなものと、それを取り巻く状況について調査する	120	分
		【復習内容】 Review	ファン化しブーム化する仕掛けについてレポート	120	分

分野系列 Area of Study	基礎科目
カリキュラム Curriculum	経営学部 イベント(留学2024)、経営学部 イベント(2024)、経営学部 イベント(留学2023)、経営学部 イベント(2023)、経営学部 イベント(留学2022)、 経営学部 イベント(2022)、経営学部 イベント(留学2021)、経営学部 イベント(2021)、経営学部 イベント(留学2020)、経営学部 イベント(2020)、 経営学部 イベント(留学2019)、経営学部 イベント(2019)、経営学部 イベント(留学2018)、経営学部 イベント(2018)
配当学年（履修対象） Year of Study	1 年
講義名 Name of Subject	イベントプロデュース論Ⅱ E-K
講義名（英語表記） Name of Subject (English)	Theory of Event Production II
担当教員 Instructor	大山 利栄
必修／選択 Compulsory／Elective	選択必修
開講期 Course Period	秋(後)期
単位数 Credits	2
実務経験のある （実務経験と授業内容の関係）	イベントプロモーション最大手会社(上場企業)にて25年間イベントプロデューサーとして従事した経験を持ち、また、取締役として経営にも参画。 その経験を活かし、イベントをプロデュースすることとはどういうことなのかについて、様々な角度から検証しわかりやすく講義します。

【授業概要・本科目で取り扱うテーマ】 Course Description	イベントのプロデュース機能とは「そのイベントの目指すべき全体像を構築し、さまざまな要素や条件の調整を行いながら、種々の制約の中で最も効果を高めるよう、それらをひとつのシステムとして組み上げていく機能」です。イベントもひとつのプロジェクトであり、経済活動です。目的と目標を掲げ、予算を組み立て、適材適所に人材を配置し臨時の組織を統率し、総責任者としてプロジェクトを遂行させるプロデュースという業務について学びます
【到達目標】 Course Objectives	イベントプロデュースに関する基礎知識を理解する 幅広いプロデュースカテゴリーについて説明できる イベントプロデューサーの役割が理解できる
【履修条件・受講推奨者】 Course Conditions	イベントプロデュース論Ⅰを履修していること
【教育方法】 Teaching Method	主に講義形式で行うが、必要に応じて実際のイベントの映像を使用する
【指定教科書・参考資料等】 Textbooks ・ Reference Books	使用せず

【実務 I Q 修得目標】 Learning objective based on practical applicability	<table><tr><td>自制力 self-control</td><td></td><td>思考力 ability to think</td><td>○</td><td>突破力 The power to break</td><td>○</td><td>忍耐力 endurance</td><td></td></tr><tr><td>協働力 ability to cooperate</td><td></td><td>主張力 assertiveness</td><td></td><td>創造力 creativity</td><td>○</td><td colspan="2"></td></tr></table>					自制力 self-control		思考力 ability to think	○	突破力 The power to break	○	忍耐力 endurance		協働力 ability to cooperate		主張力 assertiveness		創造力 creativity	○																	
自制力 self-control		思考力 ability to think	○	突破力 The power to break	○	忍耐力 endurance																														
協働力 ability to cooperate		主張力 assertiveness		創造力 creativity	○																															
【成績評価・評価上の留意事項（試験方法、単位修得要件）】 Evaluation	<table><tr><td colspan="5">評価項目と割合</td><td colspan="2">評価方法</td></tr><tr><td colspan="4">授業態度</td><td>20%</td><td colspan="2" rowspan="4">3/2程度の出席は必須。 それぞれの評価項目を得点に応じて数値化し評価する</td></tr><tr><td colspan="4">レポート提出</td><td>40%</td></tr><tr><td colspan="4">期末テスト</td><td>40%</td></tr><tr><td colspan="4">合計</td><td>100%</td></tr></table>							評価項目と割合					評価方法		授業態度				20%	3/2程度の出席は必須。 それぞれの評価項目を得点に応じて数値化し評価する		レポート提出				40%	期末テスト				40%	合計				100%
評価項目と割合					評価方法																															
授業態度				20%	3/2程度の出席は必須。 それぞれの評価項目を得点に応じて数値化し評価する																															
レポート提出				40%																																
期末テスト				40%																																
合計				100%																																
【その他の注意事項】 Others	特になし																																			
	【週】 Week	【テーマ】 Theme			【学習内容】 Study Contents																															
	No1	人を動かすプロデュース①			イベントプロデュース論 I のおさらい 人を動かす4つの仕組み																															
		【予習内容】 Preparation			イベントプロデュース論 I について復習		120	分																												
		【復習内容】 Review			人を動かすアイデアについてレポート		120	分																												
	No2	人を動かすプロデュース②			もっと人を動かす クロスイベント																															
		【予習内容】 Preparation			人が動くときはどんな時かについて考える		120	分																												
		【復習内容】 Review			新しいクロスイベントについてレポート		120	分																												
	No3	参加型イベント			参加型イベントのプロデュース モチベーションとゲーミフィケーション																															
		【予習内容】 Preparation			ゲームになぜはまるのかについて考察する		120	分																												
		【復習内容】 Review			これまでに収集したものについてレポート		120	分																												
	No4	イベントショップ①			イベントショップのプロデュース 移動者マーケティング 衝動買いさせる技術																															
		【予習内容】 Preparation			通学時に目にするお店について整理する		120	分																												
		【復習内容】 Review			過去に衝動買いしたものについてレポート		120	分																												

【授業計画】
Course Schedule

No5	イベントショップ②	イベントショップのプロデュース どんどん売れる売り場づくり POP		
	【予習内容】 Preparation	POPにはどんなものがあるのかを調査する	120	分
	【復習内容】 Review	自分のPOPを作成しレポート	120	分
	イベントショップ③	イベントショップのプロデュース イベントショップの実例 ウリの3大要素「USP」 ウリを作るニッチ戦略		
	【予習内容】 Preparation	生活導線にある仮設ショップについて調査する	120	分
	【復習内容】 Review	自分のUSPについてレポート	120	分
	地域型イベント①	地域活性化イベントのプロデュース インバウンドとアウトバウンド 6つのアトラクティブス		
	【予習内容】 Preparation	ウリがあり活性化している地域について調査する	120	分
	【復習内容】 Review	これまでの旅行先での6つのアトラクティブスについてレポートする	120	分
	地域型イベント②	地域活性化イベントのプロデュース ニューツーリズム		
	【予習内容】 Preparation	付加価値のある旅行体験について整理する	120	分
	【復習内容】 Review	これまでの聖地巡礼体験についてレポート	120	分
	学び型イベント①	講座・セミナーイベントのプロデュース 学び型イベントの種類と意義		
	【予習内容】 Preparation	これまで参加したセミナーや公園について整理する	120	分
	【復習内容】 Review	お金を払ってでも参加したい学びイベントについてレポート	120	分
No10	学び型イベント②	講座・セミナーイベントのプロデュース 参加者が溢れる学びの場づくり		
	【予習内容】 Preparation	どんな時に学びイベントに行くのかについて調査する	120	分
	【復習内容】 Review	恐怖訴求に反応してしまった事例についてレポート	120	分

	No11	スポーツイベント①	スポーツイベントのプロデュース スポーツイベントへの関わり方 驚きと感動のニューススポーツイベントを考える		
		【予習内容】 Preparation	過去のスポーツ体験について整理しておく	120	分
		【復習内容】 Review	ニューススポーツについてのアイデアをレポート	120	分
	No12	スポーツイベント②	ビッグスポーツイベント「オリンピック」 オリンピックの歴史と意義		
		【予習内容】 Preparation	オリンピックについて調査する	120	分
		【復習内容】 Review	オリンピックが大きく変化したことに対するレポート	120	分
	No13	イベントマネジメント①	イベント管理会計 イベントの予算と利益		
		【予習内容】 Preparation	任意のイベントの予算について調査する	120	分
		【復習内容】 Review	原価と利益、粗利率についてレポート	120	分
	No14	イベントマネジメント②	イベント法務 イベントに係る法律の種類とその対応		
		【予習内容】 Preparation	不法で問題となったイベントについて調査する	120	分
		【復習内容】 Review	イベントに係る法律について設問に対するレポート	120	分

分野系列 Area of Study	応用科目
カリキュラム Curriculum	経営学部 イベント(留学2022)、経営学部 イベント(2022)、経営学部 イベント(留学2021)、経営学部 イベント(2021)、経営学部 イベント(留学2020)、経営学部 イベント(2020)、経営学部 イベント(留学2019)、経営学部 イベント(2019)、経営学部 イベント(留学2018)、経営学部 イベント(2018)
配当学年（履修対象） Year of Study	2 年
講義名 Name of Subject	観光イベント E-A
講義名（英語表記） Name of Subject (English)	Events in Tourism
担当教員 Instructor	奥野 圭
必修／選択 Compulsory／Elective	なし
開講期 Course Period	春(前)期
単位数 Credits	2
実務経験のある教員 (実務経験と授業内容の関係)	テーマパークのイベント企画制作、広告宣伝等のキャリアを30年超有しています。また、地方自治体等と協働で観光イベントの企画・制作等の知見も持ち合わせています。これらの経験を活かしわかり安く講義します。

【授業概要・本科目で取り扱うテーマ】 Course Description	観光イベント論は、観光体験の創出や地域の観光振興策を企画立案する際に重要な役割を果たす分野です。 観光論と観光イベント論の違いは、観光論が観光全体の理解と観光の幅広い側面を研究するのに対し、観光イベント論はイベントやエンターテインメントを中心に、特定の観光関連の活動に焦点を当てた研究分野である点です。 観光イベント論では、地域振興や地域活性化、観光関連の集客素材としてのイベントなど、様々な観光関連イベントやエンターテインメントの企画、運営、プロモーション、収益化、マネジメントなどを研究します。							
【到達目標】 Course Objectives	観光の全体像を理解する。 観光資源の基本を理解する。 観光イベントの企画立案やプロデューサーの役割を理解する。							
【履修条件・受講推奨者】 Course Conditions	・適宜、理解を深めるため授業内で演習を行います。							
【教育方法】 Teaching Method	観光の全体像に触れながら観光イベントに関する基礎的な知識について、事例を交えながら講義と演習を行います。							
【指定教科書・参考資料等】 Textbooks ・ Reference Books	使用せず 参考図書 JTB総合研究所編「観光学基礎」２０２１年 フィリップコトラー著「コトラーのマーケティング４．０」 朝日新聞出版２０１７年							
【実務！Q修得目標】 Learning objective based on practical applicability	自制力 self-control		思考力 ability to think	○	突破力 The power to break		忍耐力 endurance	
	協働力 ability to cooperate	○	主張力 assertiveness		創造力 creativity	○		

【成績評価・評価上の留意事項（試験方法、単位修得要件）】 Evaluation	評価項目と割合			評価方法	
	観光の全体像について説明できる。		25%	企画内容等により総合的に評価する。授業内の演習、レポート70%、期末試30%	
	観光資源について説明できる。		25%		
	ユニークで話題になる企画が作成できる。		50%		
	合計		100%		
【その他の注意事項】 Others	進捗状況により授業内容や構成を見直す場合があります。				
	【週】 Week	【テーマ】 Theme	【学習内容】 Study Contents		
	No1	オリエンテーション	観光イベント論Ⅰを学ぶ意義、講義の進め方、課題レポート、評価について説明する		
		【予習内容】 Preparation	シラバスの確認	120	分
		【復習内容】 Review	シラバスの確認	120	分
	No2	観光産業について1	観光産業における歴史や定義、種類、市場規模、業界概況①について学習する		
		【予習内容】 Preparation	観光産業に関する情報取得1	120	分
		【復習内容】 Review	授業内容の復習、進捗によりレポートの作成	120	分
	No3	観光産業について2	観光産業の業界概況②や市場動向等について学習する		
		【予習内容】 Preparation	観光産業に関する情報取得2	120	分
		【復習内容】 Review	授業内容の復習、進捗によりレポートの作成	120	分
	No4	観光について1	実際に仮想の旅行を企画し、観光について消費者視点を養う（グループワーク①）		
		【予習内容】 Preparation	旅行の計画に必要な情報を収集	120	分
		【復習内容】 Review	授業内容の復習、進捗によりレポートの作成、プレゼンテーション準備	120	分

【授業計画】
Course Schedule

No5	観光について2	実際に仮想の旅行を企画し、観光について消費者視点を養う (グループワーク②)		
	【予習内容】 Preparation	旅行計画の精度向上、プレゼンテーション準備	120	分
	【復習内容】 Review	授業内容の復習、進捗によりレポートの作成	120	分
	観光イベントについて	観光イベントに通ずる観光資源や観光商品、エンターテイメントについて、観光地側の視点を学習する		
	【予習内容】 Preparation	観光イベントの事前調査	120	分
	【復習内容】 Review	授業内容の復習、進捗によりレポートの作成	120	分
	観光イベントマーケティングについて	観光イベント実施に向けた「マーケティング戦略」の基本的な役割、視点、注意点等について学習する		
	【予習内容】 Preparation	マーケティングに関する基礎知識を事前学習	120	分
	【復習内容】 Review	授業内容の復習、進捗によりレポートの作成	120	分
	運営1	プロデューサー視点から観光イベントの運営に関する基礎的な組織、機能や役割について学習する		
	【予習内容】 Preparation	一般的なイベント運営に関する基礎知識の復習	120	分
	【復習内容】 Review	授業内容の復習、進捗によりレポートの作成	120	分
	運営2	プロデューサー視点から観光イベントの安全（危機管理）に関する基礎知識を学習する		
	【予習内容】 Preparation	一般的なイベント運営のリスクに関する基礎知識の復習	120	分
	【復習内容】 Review	授業内容の復習、進捗によりレポートの作成	120	分
No10	観光イベントの企画と構想	観光イベントの企画・プロジェクトの立ち上げからオープンまでの「企画の策定」や「基本構想段階」における基礎的なプロセス、概要、企画立案等について理解する		
	【予習内容】 Preparation	企画や基本計画に関する基礎知識復習	120	分
	【復習内容】 Review	授業内容の復習、進捗によりレポートの作成	120	分

	No11	観光イベントの基本計画	観光イベントの企画・プロジェクトの立ち上げからオープンまでの「基本計画段階」における企画立案等について理解する		
		【予習内容】 Preparation	企画や基本計画に関する基礎知識復習	120	分
		【復習内容】 Review	授業内容の復習、進捗によりレポートの作成	120	分
	No12	観光イベントの企画 1	イベントプロデューサーとして中小規模の観光イベントを企画する（グループワーク①）		
		【予習内容】 Preparation	企画準備（構想）	120	分
		【復習内容】 Review	授業内容の復習、進捗によりレポートの作成	120	分
	No13	観光イベントの企画 2	イベントプロデューサーとして中小規模の観光イベントを企画する（グループワーク②）		
		【予習内容】 Preparation	グループワークの進捗により詳細を詰める	120	分
		【復習内容】 Review	授業内容の復習、進捗によりレポートの作成	120	分
	No14	観光イベントの企画 3 総括・達成度の確認	イベントプロデューサーとして中小規模の観光イベントを企画する（グループワーク③）プレゼンテーション 授業についての総括および学習達成度の確認テストを実施する		
		【予習内容】 Preparation	プレゼンテーション準備	120	分
		【復習内容】 Review	期末試験準備	120	分

分野系列 Area of Study	応用科目
カリキュラム Curriculum	経営学部 イベント(留学2023)、経営学部 イベント(2023)
配当学年（履修対象） Year of Study	2 年
講義名 Name of Subject	観光イベント論 I E-A
講義名（英語表記） Name of Subject (English)	Events in Tourism Theory I
担当教員 Instructor	奥野 圭
必修／選択 Compulsory／Elective	なし
開講期 Course Period	春(前)期
単位数 Credits	2
実務経験のある教員 (実務経験と授業内容の関係)	テーマパークのイベント企画制作、広告宣伝等のキャリアを30年超有しています。また、地方自治体等と協働で観光イベントの企画・制作等の知見も持ち合わせています。これらの経験を活かしわかり安く講義します。

【授業概要・本科目で取り扱うテーマ】 Course Description	観光イベント論は、観光体験の創出や地域の観光振興策を企画立案する際に重要な役割を果たす分野です。 観光論と観光イベント論の違いは、観光論が観光全体の理解と観光の幅広い側面を研究するのに対し、観光イベント論はイベントやエンターテインメントを中心に、特定の観光関連の活動に焦点を当てた研究分野である点です。 観光イベント論では、地域振興や地域活性化、観光関連の集客素材としてのイベントなど、様々な観光関連イベントやエンターテインメントの企画、運営、プロモーション、収益化、マネジメントなどを研究します。 観光イベント論Ⅰ（春学期）と観光イベント論Ⅱ（秋学期）の双方の履修を推奨します。							
【到達目標】 Course Objectives	観光の全体像を理解する。 観光資源の基本を理解する。 観光イベントの企画立案やプロデューサーの役割を理解する。							
【履修条件・受講推奨者】 Course Conditions	・適宜、理解を深めるため授業内で演習を行います。							
【教育方法】 Teaching Method	観光の全体像に触れながら観光イベントに関する基礎的な知識について、事例を交えながら講義と演習を行います。							
【指定教科書・参考資料等】 Textbooks ・ Reference Books	使用せず 参考図書 JTB総合研究所編「観光学基礎」 ２０２１年 フィリップコトラー著「コトラーのマーケティング４．０」 朝日新聞出版 ２０１７年							
【実務Ⅰ Q 修得目標】 Learning objective based on practical applicability	自制力 self-control		思考力 ability to think	○	突破力 The power to break		忍耐力 endurance	
	協働力 ability to cooperate	○	主張力 assertiveness		創造力 creativity	○		

【成績評価・評価上の留意事項（試験方法、単位修得要件）】 Evaluation	評価項目と割合		評価方法		
	観光の全体像について説明できる。	25%	企画内容等により総合的に評価する。授業内の演習、レポート70%、期末試30%		
	観光資源について説明できる。	25%			
	ユニークで話題になる企画が作成できる。	50%			
	合計	100%			
【その他の注意事項】 Others	進捗状況により授業内容や構成を見直す場合があります。				
	【週】 Week	【テーマ】 Theme	【学習内容】 Study Contents		
	No1	オリエンテーション	観光イベント論Ⅰを学ぶ意義、講義の進め方、課題レポート、評価について説明する		
		【予習内容】 Preparation	シラバスの確認	120	分
		【復習内容】 Review	シラバスの確認	120	分
	No2	観光産業について1	観光産業における歴史や定義、種類、市場規模、業界概況①について学習する		
		【予習内容】 Preparation	観光産業に関する情報取得1	120	分
		【復習内容】 Review	授業内容の復習、進捗によりレポートの作成	120	分
	No3	観光産業について2	観光産業の業界概況②や市場動向等について学習する		
		【予習内容】 Preparation	観光産業に関する情報取得2	120	分
		【復習内容】 Review	授業内容の復習、進捗によりレポートの作成	120	分
	No4	観光について1	実際に仮想の旅行を企画し、観光について消費者視点を養う（グループワーク①）		
		【予習内容】 Preparation	旅行の計画に必要な情報を収集	120	分
		【復習内容】 Review	授業内容の復習、進捗によりレポートの作成、プレゼンテーション準備	120	分

【授業計画】
Course Schedule

No5	観光について2	実際に仮想の旅行を企画し、観光について消費者視点を養う (グループワーク②)		
	【予習内容】 Preparation	旅行計画の精度向上、プレゼンテーション準備	120	分
	【復習内容】 Review	授業内容の復習、進捗によりレポートの作成	120	分
	No6	観光イベントについて	観光イベントに通ずる観光資源や観光商品、エンターテイメントについて、観光地側の視点を学習する	
		【予習内容】 Preparation	観光イベントの事前調査	120分
		【復習内容】 Review	授業内容の復習、進捗によりレポートの作成	120分
	No7	観光イベントマーケティングについて	観光イベント実施に向けた「マーケティング戦略」の基本的な役割、視点、注意点等について学習する	
		【予習内容】 Preparation	マーケティングに関する基礎知識を事前学習	120分
		【復習内容】 Review	授業内容の復習、進捗によりレポートの作成	120分
	No8	運営1	プロデューサー視点から観光イベントの運営に関する基礎的な組織、機能や役割について学習する	
		【予習内容】 Preparation	一般的なイベント運営に関する基礎知識の復習	120分
		【復習内容】 Review	授業内容の復習、進捗によりレポートの作成	120分
	No9	運営2	プロデューサー視点から観光イベントの安全（危機管理）に関する基礎知識を学習する	
		【予習内容】 Preparation	一般的なイベント運営のリスクに関する基礎知識の復習	120分
		【復習内容】 Review	授業内容の復習、進捗によりレポートの作成	120分
	No10	観光イベントの企画と構想	観光イベントの企画・プロジェクトの立ち上げからオープンまでの「企画の策定」や「基本構想段階」における基礎的なプロセス、概要、企画立案等について理解する	
		【予習内容】 Preparation	企画や基本計画に関する基礎知識復習	120分
		【復習内容】 Review	授業内容の復習、進捗によりレポートの作成	120分

	No11	観光イベントの基本計画	観光イベントの企画・プロジェクトの立ち上げからオープンまでの「基本計画段階」における企画立案等について理解する		
		【予習内容】 Preparation	企画や基本計画に関する基礎知識復習	120	分
		【復習内容】 Review	授業内容の復習、進捗によりレポートの作成	120	分
	No12	観光イベントの企画1	イベントプロデューサーとして中小規模の観光イベントを企画する（グループワーク①）		
		【予習内容】 Preparation	企画準備（構想）	120	分
		【復習内容】 Review	授業内容の復習、進捗によりレポートの作成	120	分
	No13	観光イベントの企画2	イベントプロデューサーとして中小規模の観光イベントを企画する（グループワーク②）		
		【予習内容】 Preparation	グループワークの進捗により詳細を詰める	120	分
		【復習内容】 Review	授業内容の復習、進捗によりレポートの作成	120	分
	No14	観光イベントの企画3 総括・達成度の確認	イベントプロデューサーとして中小規模の観光イベントを企画する（グループワーク③）プレゼンテーション 授業についての総括および学習達成度の確認テストを実施する		
		【予習内容】 Preparation	プレゼンテーション準備	120	分
		【復習内容】 Review	期末試験準備	120	分

分野系列 Area of Study	基礎科目
カリキュラム Curriculum	経営学部 イベント(留学2024)、経営学部 イベント(2024)、経営学部 イベント(留学2023)、経営学部 イベント(2023)、経営学部 イベント(留学2022)、 経営学部 イベント(2022)、経営学部 イベント(留学2021)、経営学部 イベント(2021)、経営学部 イベント(留学2020)、経営学部 イベント(2020)、 経営学部 イベント(留学2019)、経営学部 イベント(2019)、経営学部 イベント(留学2018)、経営学部 イベント(2018)
配当学年（履修対象） Year of Study	1 年
講義名 Name of Subject	サービス産業論 I E-A
講義名（英語表記） Name of Subject (English)	Service Industry Theory I
担当教員 Instructor	笠原 幸一
必修／選択 Compulsory／Elective	選択必修
開講期 Course Period	春(前)期
単位数 Credits	2
実務経験のある教員 (実務経験と授業内容の関係)	国内最大手のテーマパーク運営会社で40年にわたり実務・経営にかかわってきた教員が、その実務経験を活かしサービス産業の専門家として 理論と実践をバランスよく講義する。

【授業概要・本科目で取り扱うテーマ】 Course Description	現代社会において、第3次産業であるサービス産業は、就業人口やGDPに占める割合はますます拡大する傾向にありその重要性は高まっています。他産業においてもサービス産業的な仕事の割合が増加し、「サービス経済化」が進んでいます。サービスは無形であり在庫できないこと等、工業製品のような財（モノ）とは異なる特性を有しサービス産業特有の経営課題があり、製造業等と比較して生産性の低さが指摘されています。サービス産業の実態を学びながら、サービス財の特徴やその課題、顧客満足を高めるためのマネジメントについて考察します。また、業界研究・ケーススタディ等からサービス産業の企業経営や本質的な課題を探求し実践力を養います					
【到達目標】 Course Objectives	サービス産業の基礎知識を理解し、構造や特徴、サービス経済化の背景等を説明できる					
	サービス産業の経営課題・実態を業界研究・ケーススタディ等から理解し説明できる					
	マネジメント視点でサービス産業の価値づくりを理解しニュースの読解力等を高める					
【履修条件・受講推奨者】 Course Conditions	サービス産業全般に興味を持って、自らが積極的に学ぶことが一番重要だと考えます					
【教育方法】 Teaching Method	事例を多用し分かりやすい授業にします。履修生自らが考え発表する機会を多く作ります					
【指定教科書・参考資料等】 Textbooks ・ Reference Books	参考書： 神原理（編著）『サービス・マーケティング概論』ミネルヴァ書房、2019年 近藤隆雄（著）『サービス・マーケティング（第2版）』生産性出版、2018年 ※授業内で読んでほしい参考文献等を紹介します					
【実務！Q修得目標】 Learning objective based on practical applicability	自制力 self-control		思考力 ability to think	○	突破力 The power to break	○
	協働力 ability to cooperate	○	主張力 assertiveness		創造力 creativity	○
					忍耐力 endurance	

【成績評価・評価上の留意事項（試験方法、単位修得要件）】 Evaluation	評価項目と割合		評価方法		
	サービス産業の基礎知識を理解し、その背景等を説明できる	35%	授業時の小テスト、レポート、発表等60%、 期末試験40%		
	サービス産業の経営課題・実態を理解し、説明できる	35%			
	サービス産業の価値づくりを理解し、ニュースの読解力等を高める	30%			
	合計	100%			
【その他の注意事項】 Others	サービス産業のニュースや新聞記事（日経新聞、日経MJ等）を読む習慣をつけてください。グループワーク、発表が多く、授業への貢献度や授業態度は重視します				
	【週】 Week	【テーマ】 Theme	【学習内容】 Study Contents		
	No1	オリエンテーション	サービス産業論を学ぶ意義、講義の進め方、課題レポート、評価等を説明する		
		【予習内容】 Preparation	サービス産業論を学ぶ意義をあらかじめ考え発表の準備をする	120	分
		【復習内容】 Review	サービス産業論を学ぶ意義、目標・ゴールイメージをまとめ提出する	120	分
	No2	サービス産業の全体像（1）	サービスとは何か。サービスの定義を理解する		
		【予習内容】 Preparation	サービスの定義を調べ発表の準備をする	120	分
		【復習内容】 Review	講義内容をまとめ復習する。課題を提出する	120	分
	No3	サービス産業の全体像（2）	サービス産業の発展とその背景を知る（1） 日本/世界で起きていること、第4次産業革命、産業構造の変化、GDP、国家予算等を理解する		
		【予習内容】 Preparation	サービス産業の全体像を調べる	120	分
		【復習内容】 Review	講義内容をまとめ復習する。課題を提出する	120	分
	No4	サービス産業の全体像（3）	サービス産業の発展とその背景を知る（2） 日本経済発展史（戦後～現在） 戦後の経済復興、高度成長期、低成長時代、失われた30年、日本の大きな課題、地方の過疎化と都市問題、少子高齢化等を理解する		
		【予習内容】 Preparation	日本経済発展史を調べる	120	分
		【復習内容】 Review	講義内容をまとめ復習する。課題を提出する	120	分

【授業計画】
Course Schedule

No5	サービス産業の分類（１）	日本標準産業分類におけるサービス業（１）の解説		
	【予習内容】 Preparation	日本標準産業分類のサービス業について調べる	120	分
	【復習内容】 Review	講義内容をまとめ復習する。課題を提出する	120	分
	サービス産業の分類（２）	日本標準産業分類におけるサービス業（２）の解説		
	【予習内容】 Preparation	日本標準産業分類のサービス業について調べる	120	分
	【復習内容】 Review	講義内容をまとめ復習する。課題を提出する	120	分
	サービス経済の特性	サービス経済化とその背景を理解する		
	【予習内容】 Preparation	サービス経済化について調べ発表する準備をする	120	分
	【復習内容】 Review	講義内容をまとめ復習する。課題を提出する	120	分
	サービスの概念	モノとサービス、サービスの本質的要素を理解する		
	【予習内容】 Preparation	モノとサービス、サービスの本質的要素を予習し発表の準備をする	120	分
	【復習内容】 Review	講義内容をまとめ復習する。課題を提出する	120	分
	サービス・マーケティング	サービス・マーケティング マーケティングの４P、７P、STP等を理解する サービス・マーケティングの研究アプローチ、 サービス・デザインの概念とコンセプトを理解する		
	【予習内容】 Preparation	サービス・マーケティングについて予習し発表の準備をする	120	分
	【復習内容】 Review	講義内容をまとめ復習する。課題を提出する	120	分
No10	サービス・クオリティ・マネジメント （品質管理）（１）	サービス・クオリティ・マネジメント（品質管理）（１） 自社が提供するサービス・クオリティ（品質）のレベルを調査・把握し、顧客満足に向けて問題点を修正していくプロセス。CS（CUSTOMER SATISFACTION）顧客満足度を上げる手法等を理解する		
	【予習内容】 Preparation	サービス・クオリティ・マネジメント（品質管理）について予習し発表の準備をする	120	分
	【復習内容】 Review	講義内容をまとめ復習する。課題を提出する	120	分

	No11	サービス・クオリティ・マネジメント （品質管理）（2）	サービス・クオリティ・マネジメント（品質管理）（2） 自社が提供するサービス・クオリティ（品質）のレベルを調査・把握し、顧客満足に向けて問題点を修正していくプロセス。CS（CUSTOMER SATISFACTION）顧客満足度を上げる手法等を理解する		
		【予習内容】 Preparation	サービス・クオリティ・マネジメント（品質管理）について予習し発表の準備をする	120	分
		【復習内容】 Review	講義内容をまとめ復習する。課題を提出する	120	分
	No12	サービス・リカバリー（苦情対応）	顧客の苦情行動とサービス・リカバリーの方法和実践を理解する		
		【予習内容】 Preparation	顧客の苦情行動とサービス・リカバリーの方法和実践を予習し発表の準備をする	120	分
		【復習内容】 Review	講義内容をまとめ復習する。課題を提出する	120	分
	No13	ヒューマンサービスにおける感情労働	ヒューマンサービスにおける感情労働、ハラスメントについて理解する		
		【予習内容】 Preparation	ヒューマンサービスにおける感情労働、ハラスメントについて予習し発表の準備をする	120	分
		【復習内容】 Review	講義内容をまとめ復習する。課題を提出する	120	分
	No14	サービス産業論Ⅰ総括	春学期の総括		
		【予習内容】 Preparation	春学期の授業の総括をする	120	分
		【復習内容】 Review	講義内容をまとめ復習する。本試験の準備をする	120	分

分野系列 Area of Study	応用科目
カリキュラム Curriculum	経営学部 イベント(留学2023)、経営学部 イベント(2023)
配当学年（履修対象） Year of Study	2 年
講義名 Name of Subject	観光イベント論Ⅱ E-K
講義名（英語表記） Name of Subject (English)	Events in Tourism Theory II
担当教員 Instructor	奥野 圭
必修／選択 Compulsory／Elective	なし
開講期 Course Period	秋(後)期
単位数 Credits	2
実務経験のある教員 (実務経験と授業内容の関係)	テーマパークのイベント企画制作、広告宣伝等のキャリアを30年超有しています。また、地方自治体等と協働で観光イベントの企画・制作等の知見も持ち合わせています。これらの経験を活かしわかり安く講義します。

【授業概要・本科目で取り扱うテーマ】 Course Description	観光イベント論は、観光体験の創出や地域の観光振興策を企画立案する際に重要な役割を果たす分野です。 観光論と観光イベント論の違いは、観光論が観光全体の理解と観光の幅広い側面を研究するのに対し、観光イベント論はイベントやエンターテインメントを中心に、特定の観光関連の活動に焦点を当てた研究分野である点です。 観光イベント論では、地域振興や地域活性化、観光関連の集客素材としてのイベントなど、様々な観光関連イベントやエンターテインメントの企画、運営、プロモーション、収益化、マネジメントなどを研究します。 観光イベント論Ⅰ（春学期）と観光イベント論Ⅱ（秋学期）の双方の履修を推奨します。																						
【到達目標】 Course Objectives	観光の全体像を理解する。 観光資源の基本を理解する。 観光イベントの企画立案やプロデューサーの役割を理解する。																						
【履修条件・受講推奨者】 Course Conditions	・適宜、理解を深めるため授業内で演習を行います。																						
【教育方法】 Teaching Method	観光の全体像に触れながら観光イベントに関する基礎的な知識について、事例を交えながら講義と演習を行います。																						
【指定教科書・参考資料等】 Textbooks ・ Reference Books	使用せず 参考図書 JTB総合研究所編「観光学基礎」 ２０２１年 フィリップコトラー著「コトラーのマーケティング４．０」 朝日新聞出版 ２０１７年																						
【実務 I Q 修得目標】 Learning objective based on practical applicability	<table><tr><td>自制力 self-control</td><td></td><td>思考力 ability to think</td><td>○</td><td>突破力 The power to break</td><td></td><td>忍耐力 endurance</td><td></td></tr><tr><td>協働力 ability to cooperate</td><td>○</td><td>主張力 assertiveness</td><td></td><td>創造力 creativity</td><td>○</td><td colspan="2"></td></tr></table>							自制力 self-control		思考力 ability to think	○	突破力 The power to break		忍耐力 endurance		協働力 ability to cooperate	○	主張力 assertiveness		創造力 creativity	○		
自制力 self-control		思考力 ability to think	○	突破力 The power to break		忍耐力 endurance																	
協働力 ability to cooperate	○	主張力 assertiveness		創造力 creativity	○																		

【成績評価・評価上の留意事項（試験方法、単位修得要件）】 Evaluation	評価項目と割合		評価方法		
	観光の全体像について説明できる。	25%	企画内容等により総合的に評価する。授業内の演習、レポート70%、期末試30%		
	観光資源について説明できる。	25%			
	ユニークで話題になる企画が作成できる。	50%			
	合計	100%			
【その他の注意事項】 Others	進捗状況により授業内容や構成を見直す場合があります。				
	【週】 Week	【テーマ】 Theme	【学習内容】 Study Contents		
	No1	オリエンテーション	観光イベント論Ⅱを学ぶ意義、講義の進め方、課題レポート、評価について説明する		
		【予習内容】 Preparation	シラバスの確認	120	分
		【復習内容】 Review	シラバスの確認	120	分
	No2	観光産業について	観光産業における歴史や定義、種類、市場規模、業界概況、市場規模等について再確認する。		
		【予習内容】 Preparation	観光産業に関する情報取得または復習	120	分
		【復習内容】 Review	授業内容の復習、進捗によりレポートの作成	120	分
	No3	観光イベントについて	観光イベントに通ずる観光資源や観光商品、エンターテインメントについて、観光地側の視点を再確認する。		
		【予習内容】 Preparation	観光イベントに絞る情報取得または復習	120	分
		【復習内容】 Review	授業内容の復習、進捗によりレポートの作成	120	分
	No4	観光イベントマーケティングについて	観光イベント実施に向けた「マーケティング戦略」の基本的な役割、視点、注意点等について再確認する		
		【予習内容】 Preparation	マーケティングに関する基礎知識を事前学習または復習	120	分
		【復習内容】 Review	授業内容の復習、進捗によりレポートの作成	120	分

【授業計画】
Course Schedule

No5	観光イベントのコミュニケーション戦略 1	観光イベント実施に向けた「コミュニケーション戦略」の基本的な役割、視点、注意点等について学習する①		
	【予習内容】 Preparation	広告宣伝やプロモーション、広報に関する事前調査	1 2 0	分
	【復習内容】 Review	授業内容の復習、進捗によりレポートの作成	1 2 0	分
	観光イベントのコミュニケーション戦略 2	観光イベント実施に向けた「コミュニケーション戦略」の基本的な役割、視点、注意点等について学習する②		
	【予習内容】 Preparation	広告宣伝やプロモーション、広報に関する事例研究	1 2 0	分
	【復習内容】 Review	授業内容の復習、進捗によりレポートの作成	1 2 0	分
	エンターテインメント 1	演出について、基礎的な知識について学習する①		
	【予習内容】 Preparation	演出に関する基礎知識を事前調査	1 2 0	分
	【復習内容】 Review	授業内容の復習、進捗によりレポートの作成	1 2 0	分
No8	エンターテインメント 2	演出について、基礎的な知識について学習する②		
	【予習内容】 Preparation	演出に関する事例研究	1 2 0	分
	【復習内容】 Review	授業内容の復習、進捗によりレポートの作成	1 2 0	分
No9	エンターテインメント 3	演出について、基礎的な知識について学習する③		
	【予習内容】 Preparation	演出に関する事例研究	1 2 0	分
	【復習内容】 Review	授業内容の復習、進捗によりレポートの作成	1 2 0	分
No10	エンターテインメント 4	イベントプロデューサーの役割について再確認する		
	【予習内容】 Preparation	企画や基本計画に関する基礎知識復習	1 2 0	分
	【復習内容】 Review	授業内容の復習、進捗によりレポートの作成	1 2 0	分

	No11	観光イベントの企画 1	イベントプロデューサーとして大規模の観光イベントを企画する (グループワーク①)		
		【予習内容】 Preparation	企画準備（構想）	120	分
		【復習内容】 Review	授業内容の復習、進捗によりレポートの作成	120	分
	No12	観光イベントの企画 2	イベントプロデューサーとして中小規模の観光イベントを企画する (グループワーク②)		
		【予習内容】 Preparation	企画の改訂、グループワークの進捗により詳細を詰める	120	分
		【復習内容】 Review	授業内容の復習、進捗によりレポートの作成	120	分
	No13	観光イベントの企画 3	イベントプロデューサーとして中小規模の観光イベントを企画する (グループワーク③)		
		【予習内容】 Preparation	グループワークの進捗により詳細を詰める	120	分
		【復習内容】 Review	授業内容の復習、進捗によりレポートの作成	120	分
	No14	観光イベントの企画 4 総括・達成度の確認	イベントプロデューサーとして中小規模の観光イベントを企画する (グループワーク④) プレゼンテーション 授業についての総括および学習達成度の確認テストを実施する		
		【予習内容】 Preparation	プレゼンテーション準備	120	分
		【復習内容】 Review	期末試験準備	120	分

分野系列 Area of Study	基礎科目
カリキュラム Curriculum	経営学部 イベント(留学2024)、経営学部 イベント(2024)、経営学部 イベント(留学2023)、経営学部 イベント(2023)、経営学部 イベント(留学2022)、経営学部 イベント(2022)、経営学部 イベント(留学2021)、経営学部 イベント(2021)、経営学部 イベント(留学2020)、経営学部 イベント(2020)、経営学部 イベント(留学2019)、経営学部 イベント(2019)、経営学部 イベント(留学2018)、経営学部 イベント(2018)
配当学年（履修対象） Year of Study	1 年
講義名 Name of Subject	サービス産業論Ⅱ E-K
講義名（英語表記） Name of Subject (English)	Service Industry Theory II
担当教員 Instructor	笠原 幸一
必修／選択 Compulsory／Elective	選択必修
開講期 Course Period	秋(後)期
単位数 Credits	2
実務経験のある教員 (実務経験と授業内容の関係)	国内最大手のテーマパーク運営会社で40年にわたり実務・経営にかかわってきた教員が、その実務経験を活かしサービス産業の専門家として理論と実践をバランスよく講義する。

【授業概要・本科目で取り扱うテーマ】 Course Description	現代社会において、第3次産業であるサービス産業は、就業人口やGDPに占める割合はますます拡大する傾向にありその重要性は高まっています。他産業においてもサービス産業的な仕事の割合が増加し、「サービス経済化」が進んでいます。サービスは無形であり在庫できないこと等、工業製品のような財（モノ）とは異なる特性を有しサービス産業特有の経営課題があり、製造業等と比較して生産性の低さが指摘されています。サービス産業の実態を学びながら、サービス財の特徴やその課題、顧客満足を高めるためのマネジメントについて考察します。また、業界研究・ケーススタディ等からサービス産業の企業経営や本質的な課題を探究し実践力を養います							
【到達目標】 Course Objectives	サービス産業の基礎知識を理解し、構造や特徴、サービス経済化の背景等を説明できる サービス産業の経営課題・実態を業界研究・ケーススタディ等から理解し説明できる マネジメント視点でサービス産業の価値づくりを理解しニュースの読解力等を高める							
【履修条件・受講推奨者】 Course Conditions	サービス産業全般に興味を持って、自らが積極的に学ぶことが一番重要だと考えます							
【教育方法】 Teaching Method	事例を多用し分かりやすい授業にします。履修生自らが考え発表する機会を多く作ります							
【指定教科書・参考資料等】 Textbooks ・ Reference Books	参考書： 神原理（編著）『サービス・マーケティング概論』ミネルヴァ書房、2019年 近藤隆雄（著）『サービス・マーケティング（第2版）』生産性出版、2018年 ※授業内で読んでほしい参考文献等を紹介します							
【実務IQ修得目標】 Learning objective based on practical applicability	自制力 self-control		思考力 ability to think	○	突破力 The power to break	○	忍耐力 endurance	
	協働力 ability to cooperate	○	主張力 assertiveness		創造力 creativity	○		

【成績評価・評価上の留意事項（試験方法、単位修得要件）】 Evaluation	評価項目と割合		評価方法		
	サービス産業の基礎知識を理解し、その背景等を説明できる	20%	授業時の小テスト、レポート、発表等60%、 期末試験40%		
	サービス産業の経営課題・実態を理解し、説明できる	50%			
	サービス産業の価値づくりを理解し、ニュースの読解力等を高める	30%			
	合計	100%			
【その他の注意事項】 Others	サービス産業のニュースや新聞記事（日経新聞、日経MJ等）を読む習慣をつけてください。グループワーク、発表が多く、授業への貢献度や授業態度は重視します				
	【週】 Week	【テーマ】 Theme	【学習内容】 Study Contents		
	No1	オリエンテーション	春学期の総括、本試験の解説。サービス産業論を学ぶ意義、講義の進め方、課題レポート、評価について説明		
		【予習内容】 Preparation	春学期の総括（振り返り）、サービス産業論を学ぶ意義を再設定する	120	分
		【復習内容】 Review	秋学期のサービス産業論を学ぶ意義、目標・ゴールイメージをまとめ提出する	120	分
	No2	サービス産業における経営課題（１） 情報技術（IT)の発展とサービス産業の進化	通信・情報産業、ITの発展がサービス産業に与える影響とその進化、サービス産業の国際化戦略を理解する		
		【予習内容】 Preparation	ITの発展がサービス産業に与える影響を調べ発表の準備をする	120	分
		【復習内容】 Review	講義内容をまとめ復習する。課題を提出する	120	分
	No3	サービス産業における経営課題（２）	様々な経営課題の事例を研究する（１） カスタマージャーニー・マップを活用したグループ演習等		
		【予習内容】 Preparation	カスタマージャーニーについて調べる	120	分
		【復習内容】 Review	講義内容をまとめ復習する。課題を提出する	120	分
	No4	サービス産業における経営課題（３）	様々な経営課題の事例を研究する（２） カスタマージャーニー・マップを活用したグループ演習等		
		【予習内容】 Preparation	研究内容を予習する	120	分
		【復習内容】 Review	講義内容をまとめ復習する。課題を提出する	120	分

【授業計画】
Course Schedule

No5	サービス産業における経営課題（４）	様々な経営課題の事例を研究する（３） カスタマージャーニー・マップを活用したグループ演習等		
	【予習内容】 Preparation	研究内容を予習する	120	分
	【復習内容】 Review	講義内容をまとめ復習する。課題を提出する	120	分
	No6	サービス産業における経営課題（５）	様々な経営課題の事例を研究する（４） カスタマージャーニー・マップを活用したグループ演習等	
		【予習内容】 Preparation	研究内容を予習する	120 分
		【復習内容】 Review	講義内容をまとめ復習する。課題を提出する	120 分
	No7	サービス産業業界研究（１）	サービス産業業界研究（１） 飲食業等 業界研究シートをグループ・ワークショップで作成する（発表、解説）	
		【予習内容】 Preparation	研究する業界について調べ発表の準備をする	120 分
		【復習内容】 Review	講義内容をまとめ復習する。課題を提出する	120 分
	No8	サービス産業業界研究（２）	サービス産業業界研究（２） 生活関連サービス等 業界研究シートをグループ・ワークショップで作成する（発表、解説）	
		【予習内容】 Preparation	研究する業界について調べ発表の準備をする	120 分
		【復習内容】 Review	講義内容をまとめ復習する。課題を提出する	120 分
	No9	サービス産業業界研究（３）	サービス産業業界研究（３） スポーツビジネス、コンテンツビジネス等 業界研究シートをグループ・ワークショップで作成する（発表、解説）	
		【予習内容】 Preparation	研究する業界について調べ発表の準備をする	120 分
		【復習内容】 Review	講義内容をまとめ復習する。課題を提出する	120 分
	No10	サービス産業業界研究（４）	サービス産業業界研究（４） 小売業、保険金融業等 業界研究シートをグループ・ワークショップで作成する（発表、解説）	
		【予習内容】 Preparation	研究する業界について調べ発表の準備をする	120 分
		【復習内容】 Review	講義内容をまとめ復習する。課題を提出する	120 分

	No11	サービス産業業界研究（５）	サービス産業業界研究（５） 観光・旅行業、運輸業等 業界研究シートをグループ・ワークショップで作成する（発表、解説）		
		【予習内容】 Preparation	研究する業界について調べ発表の準備をする	120	分
		【復習内容】 Review	講義内容をまとめ復習する。課題を提出する	120	分
	No12	サービス産業業界研究（６）	サービス産業業界研究（６） 教育、医療・福祉業等 業界研究シートをグループ・ワークショップで作成する（発表、解説）		
		【予習内容】 Preparation	研究する業界について調べ発表の準備をする	120	分
		【復習内容】 Review	講義内容をまとめ復習する。課題を提出する	120	分
	No13	サービス産業業界研究（７）	サービス産業業界研究（７） イベント業等 業界研究シートをグループ・ワークショップで作成する（発表、解説）		
		【予習内容】 Preparation	研究する業界について調べ発表の準備をする	120	分
		【復習内容】 Review	講義内容をまとめ復習する。課題を提出する	120	分
	No14	サービス産業論Ⅱ総括	今までの授業の総括		
		【予習内容】 Preparation	秋学期の授業の総括をする	120	分
		【復習内容】 Review	講義内容をまとめ復習する。本試験の準備をする	120	分

分野系列 Area of Study	基礎科目
カリキュラム Curriculum	経営学部 イベント(留学2024)、経営学部 イベント(2024)、経営学部 イベント(留学2023)、経営学部 イベント(2023)、経営学部 イベント(留学2022)、経営学部 イベント(2022)、 経営学部 イベント(留学2021)、経営学部 イベント(2021)、経営学部 イベント(留学2020)、経営学部 イベント(2020)、経営学部 イベント(留学2019)、経営学部 イベント(2019)、 経営学部 イベント(留学2018)、経営学部 イベント(2018)
配当学年 (履修対象) Year of Study	1 年
講義名 Name of Subject	イベント学 I E-A
講義名 (英語表記) Name of Subject (English)	Eventology I
担当教員 Instructor	北原 隆
必修／選択 Compulsory／Elective	選択必修
開講期 Course Period	春(前)期
単位数 Credits	2
実務経験のある教員 (実務経験と授業内容の関係)	エンターテインメントイベントのディレクターや舞台監督としての30年以上の現場経験を元に、イベントに関わる様々な事柄について具体例を示しながらわかりやすく講義します。

【授業概要・本科目で取り扱うテーマ】 Course Description	イベント学の入門編。まずはイベントとは何かを知る。 イベントの定義・形態・意義・機能・役割等について理解する。さらに日本におけるイベント業界の構造と仕事の流れについて知り、そしてその上でイベントが持つ社会や地域や産業における存在について検証する。 続いて、イベントの持つ非日常性・世界観・体験性などにスポットライトをあてて新たなイベントを創造していくための方法を探り、イベントイノベーションへと考察を進めていく。																						
【到達目標】 Course Objectives	イベントに関する基礎的知識を理解する イベントとは何かイベントとは何か、イベントに必要な要素について答えられる イベントが起こす波及効果と果たすべき目的について説明できる 幅広いイベントカテゴリーを説明できる イベントには多くの分野が存在する その分野ごとに成立する機能と役割について、基本的な構造を答えられる イベント人として日常生活を送る術と心構えを身につける イベント人として生きる意義と、目指す目標について自分の言葉で表現できる																						
【履修条件・受講推奨者】 Course Conditions	◇幅広くイベントに興味を持ち、その仕組みを知りたいと考えていること																						
【教育方法】 Teaching Method	実務で実際に使用された資料などを使用し、教科書にはないリアルなイベント現場の今を体感してもらう。																						
【指定教科書・参考資料等】 Textbooks ・ Reference Books	◇教科書は使用せず、授業時に資料を配布する																						
【実務 I Q 修得目標】 Learning objective based on practical applicability	<table><tr><td>自制力 self-control</td><td></td><td>思考力 ability to think</td><td>○</td><td>突破力 The power to break</td><td>○</td><td>忍耐力 endurance</td><td></td></tr><tr><td>協働力 ability to cooperate</td><td></td><td>主張力 assertiveness</td><td></td><td>創造力 creativity</td><td>○</td><td colspan="2"></td></tr></table>							自制力 self-control		思考力 ability to think	○	突破力 The power to break	○	忍耐力 endurance		協働力 ability to cooperate		主張力 assertiveness		創造力 creativity	○		
自制力 self-control		思考力 ability to think	○	突破力 The power to break	○	忍耐力 endurance																	
協働力 ability to cooperate		主張力 assertiveness		創造力 creativity	○																		

【成績評価・評価上の留意事項（試験方法、単位修得要件）】 Evaluation	評価項目と割合		評価方法		
	イベントに関する基礎的知識を理解する	40%	日々の課題提出と講義への参加意識、期末試験で総合的に評価します。		
	幅広いイベントカテゴリーを説明できる	30%			
	イベント人として日常生活を送る術と心構えを身につける	30%			
	合計	100%			
【その他の注意事項】 Others	◇特になし				
	【週】 Week	【テーマ】 Theme	【学習内容】 Study Contents		
	No1	遊びが仕事で仕事遊び	北原のこれまでの仕事について 講義の構成について ポイント制について 15分間 プランニングについて やり方と提出方法について イベントレポートについて 書き方と提出方法について 15分間 プランニング例題にチャレンジ		
		【予習内容】 Preparation	日常的イベント情報収集とイベントへの積極的な参加	120	分
		【復習内容】 Review	講義内容の振り返り	120	分
		No2	大学でイベントを学ぶということ	15分間 プランニング先週の振り返り 15分間 プランニング今日のお題 大学での学び方はどう違うのか イベントを学ぶということはどういうことなのか 日々オーデション	
	【予習内容】 Preparation		日常的イベント情報収集とイベントへの積極的な参加	120	分
	【復習内容】 Review		講義内容の振り返り	120	分
	No3		イベントに関わる人々	15分間 プランニング先週の振り返り 15分間 プランニング今日のお題 仕事の流れとそれに関わる仕事のジャンル 会社＆関わる人々について プロデューサーとディレクターの違い	
		【予習内容】 Preparation	日常的イベント情報収集とイベントへの積極的な参加	120	分
		【復習内容】 Review	講義内容の振り返り	120	分
		No4	寸法＆サイズを知る	15分間 プランニング先週の振り返り 15分間 プランニング今日のお題 紙のサイズについて知る 自分にとっての広さの物差しを持つことの重要性 人体寸法について知る 自分の目線の高さなどを知ることの意味	
	【予習内容】 Preparation		日常的イベント情報収集とイベントへの積極的な参加	120	分
	【復習内容】 Review		講義内容の振り返り	120	分

【授業計画】
Course Schedule

No5	専門用語	15分間プランニング先週の振り返り 15分間プランニング今日のお題 専門用語と業界用語 仕事別知っておきたい専門用語 現場別服装の違い		
	【予習内容】 Preparation	日常的イベント情報収集とイベントへの積極的な参加	120	分
	【復習内容】 Review	講義内容の振り返り	120	分
	プロとアマの違い	15分間プランニング先週の振り返り 15分間プランニング今日のお題 初めて出くわすこと 「どうしよう」ではなくて 正解のない問いに答えを出すということ 自転車に乗れる感じ 足のつくプールで溺れている感じとは		
	【予習内容】 Preparation	日常的イベント情報収集とイベントへの積極的な参加	120	分
	【復習内容】 Review	講義内容の振り返り	120	分
	イベントツアー	15分間プランニング先週の振り返り 15分間プランニング今日のお題 ツアーの成り立ちの違いについて 大きなセットを組んでバラしてまた組んで トランポとは		
	【予習内容】 Preparation	日常的イベント情報収集とイベントへの積極的な参加	120	分
	【復習内容】 Review	講義内容の振り返り	120	分
	フェスを作る	15分間プランニング先週のお題 15分間プランニング今日のお題 イベントの作り方 6W2Hについて 日本で一番遠い東京都「小笠原」について 小笠原でやる音楽フェスとは フェスを作るということとその楽しさ		
	【予習内容】 Preparation	日常的イベント情報収集とイベントへの積極的な参加	120	分
	【復習内容】 Review	講義内容の振り返り	120	分
No9	イベントと生きる	15分間プランニング先週の振り返り 15分間プランニング今日のお題 いつかは来ない ボツはバツじゃない 脳内リハーサル マルチタスク 同時並行でどう優先順位をつけて取り組むのか		
	【予習内容】 Preparation	日常的イベント情報収集とイベントへの積極的な参加	120	分
	【復習内容】 Review	講義内容の振り返り	120	分
No10	くす玉事件とワンチャンス 様々な失敗例	15分間プランニング先週の振り返り 15分間プランニング今日のお題 参加者が素人であることが多いイベントの例 起こりがちな失敗例の宝庫-くす玉 カウントダウンなどその一瞬が重要なイベント 様々な失敗例		
	【予習内容】 Preparation	日常的イベント情報収集とイベントへの積極的な参加	120	分
	【復習内容】 Review	講義内容の振り返り	120	分

	No11	イベントで使う道具	15分間プランニング先週の振り返り 15分間プランニング今日のお題 テーブル類・結束バンド・ベルクロ・Sカン 展示用具・紙脚・工具・台車・脚立などなど		
		【予習内容】 Preparation	日常的イベント情報収集とイベントへの積極的な参加	120	分
		【復習内容】 Review	講義内容の振り返り	120	分
	No12	イベント企画と計画の核心	15分間プランニング先週の振り返り 15分間プランニング今日のお題 コンセプトワークとは/イキ・ピカ・スジ 基本構想と基本計画と実施計画		
		【予習内容】 Preparation	日常的イベント情報収集とイベントへの積極的な参加	120	分
		【復習内容】 Review	講義内容の振り返り	120	分
	No13	ラフと適当は全く違う	15分間プランニング先週の振り返り 15分間プランニング今日のお題 手描き表現の重要性を知る ラフスケッチの書き方 その場で描くことのスピード感 イメージ共有の大切さ		
		【予習内容】 Preparation	日常的イベント情報収集とイベントへの積極的な参加	120	分
		【復習内容】 Review	講義内容の振り返り	120	分
	No14	イベントは大勢で決めるものじゃない	15分間プランニング先週の振り返り 学生の委員会や学園祭がうまくいかない理由 プロジェクトチームについて プロメンバーの集まり＝責任者の集まり		
		【予習内容】 Preparation	日常的イベント情報収集とイベントへの積極的な参加	120	分
		【復習内容】 Review	講義内容の振り返り	120	分

分野系列 Area of Study	基礎科目
カリキュラム Curriculum	経営学部 イベント(留学2024)、経営学部 イベント(2024)、経営学部 イベント(留学2023)、経営学部 イベント(2023)、経営学部 イベント(留学2022)、経営学部 イベント(2022)、経営学部 イベント(留学2021)、経営学部 イベント(2021)、経営学部 イベント(留学2020)、経営学部 イベント(2020)、経営学部 イベント(留学2019)、経営学部 イベント(2019)、経営学部 イベント(留学2018)、経営学部 イベント(2018)
配当学年（履修対象） Year of Study	1 年
講義名 Name of Subject	イベント学Ⅱ E-K
講義名（英語表記） Name of Subject (English)	Eventology II
担当教員 Instructor	北原 隆
必修／選択 Compulsory／Elective	選択必修
開講期 Course Period	秋(後)期
単位数 Credits	2
実務経験のある教員 (実務経験と授業内容の関係)	エンターテインメントイベントのディレクターや舞台監督としての30年以上の現場経験を元に、イベントに関わる様々な事柄について具体例を示しながらわかりやすく講義します。

【授業概要・本科目で取り扱うテーマ】 Course Description	イベント学の実用編。イベントを学問として捉える。 イベントについて深めた理解の上に、イベントの意義とその構造への理解を深めていく。 イベントを学問として捉え、問題解決のための手法としてのイベントを理解し、コミュニケーションサービスとしてのイベントをかんがえ、その構成や構造&効果を 知る。 さらに研究分野としての広がりを知り、自分が研究すべきテーマを見つけ出し、それを調査研究する術と心構えを身につける。
【到達目標】 Course Objectives	イベント学に関する知識を理解する イベント学とは何か、イベント成立させる構造について答えられる。6W2Hについて正しく説明できる 幅広いイベント学の研究分野を説明できる 学問としてのイベントを学び、研究分野としてイベントを捉えて、自己の興味分野を明確に説明できる イベントのプロとして日常生活を送る術と心構えを身につける イベントのプロとして生きる意義と、目指す目標について自分の言葉で表現できる
【履修条件・受講推奨者】 Course Conditions	◇幅広くイベントに興味を持ち、その仕組みを知りたいと考えていること
【教育方法】 Teaching Method	実務で実際に使用された資料などを使用し、教科書にはないリアルなイベント現場の今を体感してもらう。
【指定教科書・参考資料等】 Textbooks ・ Reference Books	◇教科書は使用せず、授業時に資料を配布する
【実務！Q 修得目標】 Learning objective based on practical applicability	自制力 self-control 思考力 ability to think ○ 突破力 The power to break ○ 忍耐力 endurance 協働力 ability to cooperate 主張力 assertiveness 創造力 creativity ○

【成績評価・評価上の留意事項（試験方法、単位修得要件）】 Evaluation	評価項目と割合		評価方法		
	イベント学に関する知識を理解する	30	日々の課題提出と講義への参加意識、期末試験で総合的に評価します。		
	幅広いイベント学の研究分野を説明できる	30			
	イベントのプロとして日常生活を送る術と心構えを身につける	40			
	合計	100%			
【その他の注意事項】 Others	◇特になし				
	【週】 Week	【テーマ】 Theme	【学習内容】 Study Contents		
	No1	イベント学とは 分類と定義	15分間 プランニング先週の振り返り 15分間 プランニング今日のお題 学問＆研究分野としてのイベントとは イベント学の構成 専門学校と大学の違いについて イベントの意義と機能		
		【予習内容】 Preparation	日常的イベント情報収集とイベントへの積極的な参加	120	分
		【復習内容】 Review	講義内容の振り返り	120	分
	No2	企画書とは	15分間 プランニング先週の振り返り 15分間 プランニング今日のお題 エンターテインメント系の企画種は楽しさ命 企画書の作り方の基礎 / トンマナ/まずは100個 フォーマットの統一と四角い文章からの脱却 出てきたアイデアのまとめ方＆つなげ方		
		【予習内容】 Preparation	日常的イベント情報収集とイベントへの積極的な参加	120	分
		【復習内容】 Review	講義内容の振り返り	120	分
	No3	運営マニュアルとは	15分間 プランニング先週の振り返り 15分間 プランニング今日のお題 運営マニュアルとは何か その重要性と構成 備品リストの意義と重要性 共通認識のためのルール		
		【予習内容】 Preparation	日常的イベント情報収集とイベントへの積極的な参加	120	分
		【復習内容】 Review	講義内容の振り返り	120	分
	No4	進行台本とは	15分間 プランニング先週の振り返り 15分間 プランニング今日のお題 進行台本とは何か その重要性と構成 イベントは計画通りにいかない イベントは時間通りにいかない		
		【予習内容】 Preparation	日常的イベント情報収集とイベントへの積極的な参加	120	分
		【復習内容】 Review	講義内容の振り返り	120	分

【授業計画】
Course Schedule

No5	図面のルールと空間把握	15分間プランニング先週の振り返り 15分間プランニング今日のお題 図面の規則を知る 三次元レイアウトを考える 空間を意識したデザイン構成 ウィンドウディスプレイで舞台デザインを学ぶ		
	【予習内容】 Preparation	日常的イベント情報収集とイベントへの積極的な参加	120	分
	【復習内容】 Review	講義内容の振り返り	120	分
	No6	ロゴの話	15分間プランニング先週の振り返り 15分間プランニング今日のお題 名刺を作ってみよう CIとは何か ロゴ使用規定の実例 ロゴの規則を知りロゴの意味を考える	
		【予習内容】 Preparation	日常的イベント情報収集とイベントへの積極的な参加	120 分
		【復習内容】 Review	講義内容の振り返り	120 分
	No7	イベント業界のキャリアデザイン ～業界研究編～	15分間プランニング先週の振り返り 15分間プランニング今日のお題 キャリアデザインについて イベント業界の構造と特殊性について	
		【予習内容】 Preparation	日常的イベント情報収集とイベントへの積極的な参加	120 分
		【復習内容】 Review	講義内容の振り返り	120 分
	No8	イベント業界のキャリアデザイン ～就職活動編～	15分間プランニング先週の振り返り 15分間プランニング今日のお題 キャリアデザインについて イベント業界への就職活動の特殊性について 転職の意味と後悔しない会社の辞め方 独立起業という形	
		【予習内容】 Preparation	日常的イベント情報収集とイベントへの積極的な参加	120 分
		【復習内容】 Review	講義内容の振り返り	120 分
	No9	ゼミと実習	15分間プランニング先週の振り返り 15分間プランニング今日のお題 ゼミ活動について イベント実習とは カレーは嫌いにならない	
		【予習内容】 Preparation	日常的イベント情報収集とイベントへの積極的な参加	120 分
		【復習内容】 Review	講義内容の振り返り	120 分
No10	No10	イベントとコミュニケーション	15分間プランニング先週の振り返り 15分間プランニング今日のお題 コミュニケーションとメディア 経験共有の場としてのイベント イベントとパブリシティ戦略	
		【予習内容】 Preparation	日常的イベント情報収集とイベントへの積極的な参加	120 分
		【復習内容】 Review	講義内容の振り返り	120 分

	No11	イベントと文化	15分間 プランニング先週の振り返り 15分間 プランニング今日のお題 文化記号装置としてのイベント 情報の非対称性とギャップマネジメント イベント文化の構造		
		【予習内容】 Preparation	日常的イベント情報収集とイベントへの積極的な参加	120	分
		【復習内容】 Review	講義内容の振り返り	120	分
	No12	イベントと資格	15分間 プランニング先週の振り返り 15分間 プランニング今日のお題 イベント現場で役に立つ資格とは EIMイベントクリエイターについて		
		【予習内容】 Preparation	日常的イベント情報収集とイベントへの積極的な参加	120	分
		【復習内容】 Review	講義内容の振り返り	120	分
	No13	イベントとサービス	15分間 プランニング先週の振り返り 15分間 プランニング今日のお題 イベントの意義と機能 日常と非日常（ハレとケ）について		
		【予習内容】 Preparation	日常的イベント情報収集とイベントへの積極的な参加	120	分
		【復習内容】 Review	講義内容の振り返り	120	分
	No14	情報集めと人脈作り	15分間 プランニング先週の振り返り 人と違った情報をどこから得るか 人脈は財産 プロの目で日常を過ごすこと 引き出しの増やし方		
		【予習内容】 Preparation	日常的イベント情報収集とイベントへの積極的な参加	120	分
		【復習内容】 Review	講義内容の振り返り	120	分

分野系列 Area of Study	応用科目
カリキュラム Curriculum	経営学部 イベント(留学2022)、経営学部 イベント(2022)、経営学部 イベント(留学2021)、経営学部 イベント(2021)、経営学部 イベント(留学2020)、経営学部 イベント(2020)、経営学部 イベント(留学2019)、経営学部 イベント(2019)、経営学部 イベント(留学2018)、経営学部 イベント(2018)
配当学年（履修対象） Year of Study	2 年
講義名 Name of Subject	イベントデザイン E-K
講義名（英語表記） Name of Subject (English)	Designing Events
担当教員 Instructor	清宮 浩一
必修／選択 Compulsory／Elective	なし
開講期 Course Period	秋(後)期
単位数 Credits	2
実務経験のある教員 （実務経験と授業内容の関係）	東京五輪やラグビーW杯、都市ブランディング、地域振興や復興支援事業等の過去の実務経験を活かし、イベントが有する価値創造の仕組みと、その価値を活かしたイベントのデザインング手法をわかりやすく講義します。

【授業概要・本科目で取り扱うテーマ】 Course Description	イベントは、人々の日常の中に起きる（あるいは訪れる）非日常の瞬間です。 イベントを事業としてデザインングする上では、大小様々なイベントがどのような仕組みや構造で成り立ち、どんなゴール（＝成果目標）を達成することが重要であるのかを理解することが必要です。 ここではイベントをプロデュースする視点に立ってイベントデザインの世界を概観し、様々な事例を通じてイベント事業の役割や全体構造を理解してもらい、イベントプランナーとして求められるスキルの高め方を修得します。										
【到達目標】 Course Objectives	イベント事業が成立するまでの過程や基本的な流れ、構成等を簡素に説明できる。 イベント事業におけるソーシャルデザインの意味と価値を簡素に説明できる。 イベント事業が社会やまちづくり、人々の暮らしにどう役立つのかを説明できる。										
【履修条件・受講推奨者】 Course Conditions	◇イベントについて興味・関心を持ち、将来、事業に携わりたいと思っていること。 ◇イベントに関するプランニング能力を幅広く習得したいと考えていること。 ◇イベントが社会を元気にし、また社会課題の解決に役立つと考えていること。										
【教育方法】 Teaching Method	イベント事業が有する二つの価値（事業的価値と社会的価値）を理解し、経済活性化から地方創生、さらには社会課題解消にも寄与するイベントデザインの重要性を理解する。										
【指定教科書・参考資料等】 Textbooks ・ Reference Books	なし										
【実務 I Q 修得目標】 Learning objective based on practical applicability	自制力 self-control		思考力 ability to think	○	突破力 The power to break		忍耐力 endurance				
	協働力 ability to cooperate		主張力 assertiveness		創造力 creativity	○					
【成績評価・評価上の留意事項（試験方法、単位修得要件）】 Evaluation	評価項目と割合						評価方法				
	授業態度						45%	出席回数や各種レポートの記載内容、期末試験結果で総合評価。			
	中間レポート						25%				
	期末試験						30%				
	合計						100%				

【その他の注意事項】 Others					
	【週】 Week	【テーマ】 Theme	【学習内容】 Study Contents		
	No1	プロローグ	「概説」 イベントデザインを学ぶ上で、改めて、非日常へと誘うイベントの魅力、価値、種類などを概観する。特に、イベントを広義に解釈し、特定個人、特定少数、特定多数、不特定多数に帰属する様々なイベントの形態を理解するとともに、イベントが事業として成立する領域などへの理解を深める。		
			【予習内容】 事前配布された講義資料を一読して講義のために準備する。		
			120分		
			【復習内容】 イベントを広義に捉えた際の世界観を理解する。		
			120分		
	No2	イベントデザインとは	「イベントをデザインすることの意味と価値」 イベントデザインに求められる外的要素と内的要素の違いを知り、花火大会などの具体的なイベント事業を事例に、イベントとして事業が成立するまでの各種要件、仕組みなどを理解する。また、6W5Hを活用して事業を成立させるためのシナリオ要件などを理解する。		
			【予習内容】 事前配布された講義資料を一読して講義のために準備する。		
			120分		
			【復習内容】 内的要素、外的要素の考え方を理解する。		
			120分		
	No3	イベント事業の業務プロセス	「イベントが実施されるまでの過程と全体像」 イベント事業を実現するまでの流れ（原案作成→基本構想→基本計画→実施計画→施工→実施）を理解するとともに、公的組織が主催するイベント事業を例題に、入れの仕組み、概要や提案された企画の評価などの概要を理解する。		
			【予習内容】 事前配布された講義資料を一読して講義のために準備する。		
			120分		
			【復習内容】 構想段階、計画段階、実施段階で求められる業務内容の基礎を理解する。		
			120分		
	No4	価値創造の仕組み	「事業価値を高めるためのデザインingの考え方」 主催者によって異なるイベント事業の性格を事業の目的や協賛者等から理解するとともに、花火大会やリーグなどのスポーツイベント等の事例を通じて、イベント事業の価値創造（事業的価値、社会的価値）のあり方、プロジェクトのデザイン手法の重要性を理解する。		
			【予習内容】 事前配布された講義資料を一読して講義のために準備する。		
			120分		
			【復習内容】 イベント事業の価値創造の大切さを理解する。		
			120分		
	No5	事例学習①：大規模イベント	「国際的イベントにみるイベントデザイのあり方」 1851年の第1回ロンドン万博や明治時代の内国勸業博覧会、1964年に開催された大阪国際万博などの事例を通じて博覧会事業の歴史や役割を知るとともに、博覧会事業の持続可能性を高めるためのイベントデザインの仕組み・考え方・事業化手法等のポイントを理解する。		
			【予習内容】 事前配布された講義資料を一読して講義のために準備する。		
			120分		
			【復習内容】 万博事業を打ち出す意味や価値について理解する。		
			120分		

【授業計画】
Course Schedule

No6	事例学習②：国民運動	「国民運動にみるイベントデザインのあり方」 クールジャパンや観光支援など、国が主導的に打ち出す国策事業（広報、キャンペーン、イベント等）の意味やプロジェクト推進の背景を知るとともに、官民連携を基軸とした国民運動的イベントが、地域や経済、暮らしをどのようにデザインしていくのか、その可能性を考え国策事業の必要性を理解する。		
	【予習内容】 Preparation	事前配布された講義資料を一読して講義のために準備する。	120	分
	【復習内容】 Review	国が民間事業を支援することの意味、目的を理解する。	120	分
No7	事例学習③：プロモーション	「コンテンツ価値を育むコミュニケーション戦略」 自社商品をプロモーションしていく過程の中でイベント事業が果たす役割を考えるとともに、事業の価値を可視化するためのコミュニケーション戦略の手法（広報、広告、PR等）や役割、重要性について理解する。また、ブランド形成に不可欠なポイントなどについて、各種事例を通じて理解する。		
	【予習内容】 Preparation	事前配布された講義資料を一読して講義のために準備する。	120	分
	【復習内容】 Review	広報、広告、PRの仕組みやコミュニケーション戦略の重要性を理解する。	120	分
No8	事例学習④：地域密着型事業	「草の根的に社会的機運を醸成するイベントデザインの仕組み」 一度限りのイベントでは訴求できない重要なメッセージを中長期に渡って社会や生活者に伝え、国民意識や行動変容を促すイベントデザインの考え方を理解するとともに、吉本興業の「住みます芸人」や厚労省が打ち出す「がん検診企業アクション」等の事例を通じてプロジェクトの進め方や手法について理解する。		
	【予習内容】 Preparation	事前配布された講義資料を一読して講義のために準備する。	120	分
	【復習内容】 Review	国民や生活者の社会意識の転換、行動変容を促すイベント事業の役割を理解する。	120	分
No9	プロジェクト・デザイン①	「イベント事業の価値を育む戦略的思考」 イベント事業の質的向上に向けて、企画段階で考えるべき「現状把握」や「課題分析」の重要性について理解する。特に、T型思考（取り上げる対象のテーマ領域を広げる力、テーマを深掘りする力）に基づく物事の捉え方や、ロジカルシンキング（論理的思考）に基づくシナリオプランニングの重要性について理解する。		
	【予習内容】 Preparation	事前配布された講義資料を一読して講義のために準備する。	120	分
	【復習内容】 Review	物事を多面的角度から捉えるプランニングスキルの重要性を理解する。	120	分
No10	プロジェクト・デザイン②	「イベント事業の価値創造への取り組み」 イベント事業の直接的価値（＝内的要素のデザインに基づく事業的価値）と間接的価値（＝外的要素に基づく社会的価値）の違いを理解するとともに、TOKYO2020や大阪・関西万博2025等を題材に、大規模イベントを推進する際に、社会や都市、地域経済や地域文化の醸成をも視野に入れたプロジェクトデザインの手法や価値創造のあり方を理解する。		
	【予習内容】 Preparation	事前配布された講義資料を一読して講義のために準備する。	120	分
	【復習内容】 Review	イベント事業の直接的価値の創出と、間接的価値の創出の違いを理解する。	120	分
No11	ソーシャル・デザイン①	「社会課題の解消に寄与するソーシャルビジネス」 1980年代以降に注目された「ソーシャルビジネス」（社会的課題をビジネスの手法で解決する考え方。ノーベル平和賞を受賞したムハマド・ユヌス博士が提唱した概念）の意味と重要性を理解するとともに、パブリックセクターとプライベートセクターが担う各種役割を再認識する。また、3.11伝承ロード（被災地復興支援事業）を題材に、具体的なソーシャルビジネスの手法や考え方を理解する。		
	【予習内容】 Preparation	事前配布された講義資料を一読して講義のために準備する。	120	分
	【復習内容】 Review	ソーシャルビジネスの意味を理解する。	120	分

	No12	ソーシャル・デザイン②	「地域・都市の再活性に寄与するイベント事業」 スポーツ事業、万博事業、アート事業、映画祭事業等の各種イベント事業は、都市の再生や地域活性とどのような関係性を有しているのか、具体的な事例を通じて理解するとともに、英国の「文化都市構想」などを題材に、文化イベントを基軸に欧州の都市がどのように再生を果たしたのか、イベント事業の価値やインパクトを知る。		
		【予習内容】 Preparation	事前配布された講義資料を一読して講義のために準備する。	120	分
		【復習内容】 Review	イベント事業と都市、地域づくりとの関係を理解する。	120	分
	No13	ソーシャル・デザイン③	「健康づくりや国民の福祉の改善に寄与するイベント事業」 人々の健康で豊かな暮らしづくりに向けてイベント事業がどのように関与することができるのか、「笑」（健康づくりに重要な価値を有する要素）や「健ロスマイル事業」（＝山口県県民運動）を例題にその役割を理解する。また、国家予算（支出と収入）の内訳を概観しながら、医療費削減に向けたイベント事業の意味と価値（未来への投資を活性するための課題解消事業としての意味合い）を改めて理解する。		
		【予習内容】 Preparation	事前配布された講義資料を一読して講義のために準備する。	120	分
		【復習内容】 Review	健康づくりにも寄与するイベント事業の価値を理解する。	120	分
	No14	これまでの総括	「これまでの講義内容の再整理」 イベントデザインの重要性を過去の講義内容のポイントを振り返りながら理解するとともに、イベント事業が社会、都市、暮らしをデザインしていく可能性を秘めていることを再認識する。		
		【予習内容】 Preparation	事前配布された講義資料を一読して講義のために準備する。	120	分
		【復習内容】 Review	講義内容で重要だと感じるポイントを自分なりに整理する。	120	分

分野系列 Area of Study	応用科目
カリキュラム Curriculum	経営学部 イベント(留学2023)、経営学部 イベント(2023)
配当学年（履修対象） Year of Study	2 年
講義名 Name of Subject	イベントデザイン論 E-K
講義名（英語表記） Name of Subject (English)	Designing Events Theory
担当教員 Instructor	清 宮 浩一
必修／選択 Compulsory／Elective	なし
開講期 Course Period	秋(後)期
単位数 Credits	2
実務経験のある教員 （実務経験と授業内容の関係）	東京五輪やラグビーW杯、都市ブランディング、地域振興や復興支援事業等の過去の実務経験を活かし、イベントが有する価値創造の仕組みと、その価値を活かしたイベントのデザインing手法をわかりやすく講義します。

【授業概要・本科目で取り扱うテーマ】 Course Description	イベントは、人々の日常の中に起きる（あるいは訪れる）非日常の瞬間です。 イベントを事業としてデザインingする上では、大小様々なイベントがどのような仕組みや構造で成り立ち、どんなゴール（＝成果目標）を達成することが重要であるのかを理解することが必要です。 ここではイベントをプロデュースする視点に立ってイベントデザインの世界を概観し、様々な事例を通じてイベント事業の役割や全体構造を理解してもらい、イベントプランナーとして求められるスキルの高め方を修得します。										
【到達目標】 Course Objectives	イベント事業が成立するまでの過程や基本的な流れ、構成等を簡素に説明できる。 イベント事業におけるソーシャルデザインの意味と価値を簡素に説明できる。 イベント事業が社会やまちづくり、人々の暮らしにどう役立つのかを説明できる。										
【履修条件・受講推奨者】 Course Conditions	○イベントについて興味・関心を持ち、将来、事業に携わりたいと思っていること。 ○イベントに関するプランニング能力を幅広く習得したいと考えていること。 ○イベントが社会を元気にし、また社会課題の解決に役立つと考えていること。										
【教育方法】 Teaching Method	イベント事業が有する二つの価値（事業的価値と社会的価値）を理解し、経済活性から地方創生、さらには社会課題解消にも寄与するイベントデザインの重要性を理解する。										
【指定教科書・参考資料等】 Textbooks ・ Reference Books	なし										
【実務！Q 修得目標】 Learning objective based on practical applicability	自制力 self-control		思考力 ability to think	○	突破力 The power to break		忍耐力 endurance				
	協働力 ability to cooperate		主張力 assertiveness		創造力 creativity	○					
【成績評価・評価上の留意事項（試験方法、単位修得要件）】 Evaluation	評価項目と割合						評価方法				
	授業態度						45%	出席回数や各種レポートの記載内容、期末試験結果で総合評価。			
	中間レポート						25%				
	期末試験						30%				
	合計						100%				

【その他の注意事項】 Others					
	【週】 Week	【テーマ】 Theme	【学習内容】 Study Contents		
	No1	プロローグ	「概説」 イベントデザインを学ぶ上で、改めて、非日常へと誘うイベントの魅力、価値、種類などを概観する。特に、イベントを広義に解釈し、特定個人、特定少数、特定多数、不特定多数に帰属する様々なイベントの形態を理解するとともに、イベントが事業として成立する領域などへの理解を深める。		
			【予習内容】 事前配布された講義資料を一読して講義のために準備する。		
			120分		
			【復習内容】 イベントを広義に捉えた際の世界観を理解する。		
			120分		
	No2	イベントデザインとは	「イベントをデザインすることの意味と価値」 イベントデザインに求められる外的要素と内的要素の違いを知り、花火大会などの具体的なイベント事業を事例に、イベントとして事業が成立するまでの各種要件、仕組みなどを理解する。また、6W5Hを活用して事業を成立させるためのシナリオ要件などを理解する。		
			【予習内容】 事前配布された講義資料を一読して講義のために準備する。		
			120分		
			【復習内容】 内的要素、外的要素の考え方を理解する。		
			120分		
	No3	イベント事業の業務プロセス	「イベントが実施されるまでの過程と全体像」 イベント事業を実現するまでの流れ（原案作成→基本構想→基本計画→実施計画→施工→実施）を理解するとともに、公的組織が主催するイベント事業を例題に、入れの仕組み、概要や提案された企画の評価などの概要を理解する。		
			【予習内容】 事前配布された講義資料を一読して講義のために準備する。		
			120分		
			【復習内容】 構想段階、計画段階、実施段階で求められる業務内容の基礎を理解する。		
			120分		
	No4	価値創造の仕組み	「事業価値を高めるためのデザインingの考え方」 主催者によって異なるイベント事業の性格を事業の目的や協賛者等から理解するとともに、花火大会やリーグなどのスポーツイベント等の事例を通じて、イベント事業の価値創造（事業的価値、社会的価値）のあり方、プロジェクトのデザイン手法の重要性を理解する。		
			【予習内容】 事前配布された講義資料を一読して講義のために準備する。		
			120分		
			【復習内容】 イベント事業の価値創造の大切さを理解する。		
			120分		
	No5	事例学習①：大規模イベント	「国際的イベントにみるイベントデザイのあり方」 1851年の第1回ロンドン万博や明治時代の内国勸業博覧会、1964年に開催された大阪国際万博などの事例を通じて博覧会事業の歴史や役割を知るとともに、博覧会事業の持続可能性を高めるためのイベントデザインの仕組み・考え方・事業化手法等のポイントを理解する。		
			【予習内容】 事前配布された講義資料を一読して講義のために準備する。		
			120分		
			【復習内容】 万博事業を打ち出す意味や価値について理解する。		
			120分		

【授業計画】
Course Schedule

No6	事例学習②：国民運動	「国民運動にみるイベントデザインのあり方」 クールジャパンや観光支援など、国が主導的に打ち出す国策事業（広報、キャンペーン、イベント等）の意味やプロジェクト推進の背景を知るとともに、官民連携を基軸とした国民運動的イベントが、地域や経済、暮らしをどのようにデザインしていくのか、その可能性を考え国策事業の必要性を理解する。		
	【予習内容】 Preparation	事前配布された講義資料を一読して講義のために準備する。	120	分
	【復習内容】 Review	国が民間事業を支援することの意味、目的を理解する。	120	分
	事例学習③：プロモーション	「コンテンツ価値を育むコミュニケーション戦略」 自社商品をプロモーションしていく過程の中でイベント事業が果たす役割を考えるとともに、事業の価値を可視化するためのコミュニケーション戦略の手法（広報、広告、PR等）や役割、重要性について理解する。また、ブランド形成に不可欠なポイントなどについて、各種事例を通じて理解する。		
	【予習内容】 Preparation	事前配布された講義資料を一読して講義のために準備する。	120	分
	【復習内容】 Review	広報、広告、PRの仕組みやコミュニケーション戦略の重要性を理解する。	120	分
	事例学習④：地域密着型事業	「草の根的に社会的機運を醸成するイベントデザインの仕組み」 一度限りのイベントでは訴求できない重要なメッセージを中長期に渡って社会や生活者に伝え、国民意識や行動変容を促すイベントデザインの考え方を理解するとともに、吉本興業の「住みます芸人」や厚労省が打ち出す「がん検診企業アクション」等の事例を通じてプロジェクトの進め方や手法について理解する。		
	【予習内容】 Preparation	事前配布された講義資料を一読して講義のために準備する。	120	分
	【復習内容】 Review	国民や生活者の社会意識の転換、行動変容を促すイベント事業の役割を理解する。	120	分
	プロジェクト・デザイン①	「イベント事業の価値を育む戦略的思考」 イベント事業の質的向上に向けて、企画段階で考えるべき「現状把握」や「課題分析」の重要性について理解する。特に、T型思考（取り上げる対象のテーマ領域を広げる力、テーマを深掘りする力）に基づく物事の捉え方や、ロジカルシンキング（論理的思考）に基づくシナリオプランニングの重要性について理解する。		
	【予習内容】 Preparation	事前配布された講義資料を一読して講義のために準備する。	120	分
	【復習内容】 Review	物事を多面的角度から捉えるプランニングスキルの重要性を理解する。	120	分
No9	プロジェクト・デザイン②	「イベント事業の価値創造への取り組み」 イベント事業の直接的価値（＝内的要素のデザインに基づく事業的価値）と間接的価値（＝外的要素に基づく社会的価値）の違いを理解するとともに、TOKYO2020や大阪・関西万博2025等を題材に、大規模イベントを推進する際に、社会や都市、地域経済や地域文化の醸成をも視野に入れたプロジェクトデザインの手法や価値創造のあり方を理解する。		
	【予習内容】 Preparation	事前配布された講義資料を一読して講義のために準備する。	120	分
	【復習内容】 Review	イベント事業の直接的価値の創出と、間接的価値の創出の違いを理解する。	120	分

	No11	ソーシャル・デザイン①	「社会課題の解消に寄与するソーシャルビジネス」 1980年代以降に注目された「ソーシャルビジネス」（社会的課題をビジネスの手法で解決する考え方。ノーベル平和賞を受賞したムハマド・ユヌス博士が提唱した概念）の意味と重要性を理解するとともに、パブリックセクターとプライベートセクターが担う各種役割を再認識する。また、3.11伝承ロード（被災地復興支援事業）を題材に、具体的なソーシャルビジネスの手法や考え方を理解する。		
		【予習内容】 Preparation	事前配布された講義資料を一読して講義のために準備する。	120	分
		【復習内容】 Review	ソーシャルビジネスの意味を理解する。	120	分
	No12	ソーシャル・デザイン②	「地域・都市の再活性に寄与するイベント事業」 スポーツ事業、万博事業、アート事業、映画祭事業等の各種イベント事業は、都市の再生や地域活性とどのような関係性を有しているのか、具体的な事例を通じて理解するとともに、英国の「文化都市構想」などを題材に、文化イベントを基軸に欧州の都市がどのように再生を果たしたのか、イベント事業の価値やインパクトを知る。		
		【予習内容】 Preparation	事前配布された講義資料を一読して講義のために準備する。	120	分
		【復習内容】 Review	イベント事業と都市、地域づくりとの関係を理解する。	120	分
	No13	ソーシャル・デザイン③	「健康づくりや国民の福祉の改善に寄与するイベント事業」 人々の健康で豊かな暮らしづくりに向けてイベント事業がどのように関与することができるのか、「笑」（健康づくりに重要な価値を有する要素）や「健ロスマイル事業」（＝山口県県民運動）を例題にその役割を理解する。また、国家予算（支出と収入）の内訳を概観しながら、医療費削減に向けたイベント事業の意味と価値（未来への投資を活性するための課題解消事業としての意味合い）を改めて理解する。		
		【予習内容】 Preparation	事前配布された講義資料を一読して講義のために準備する。	120	分
		【復習内容】 Review	健康づくりにも寄与するイベント事業の価値を理解する。	120	分
	No14	これまでの総括	「これまでの講義内容の再整理」 イベントデザインの重要性を過去の講義内容のポイントを振り返りながら理解するとともに、イベント事業が社会、都市、暮らしをデザインしていく可能性を秘めていることを再認識する。		
		【予習内容】 Preparation	事前配布された講義資料を一読して講義のために準備する。	120	分
		【復習内容】 Review	講義内容で重要だと感じるポイントを自分なりに整理する。	120	分

分野系列 Area of Study	応用科目
カリキュラム Curriculum	経営学部 イベント(留学2022)、経営学部 イベント(2022)、経営学部 イベント(留学2021)、経営学部 イベント(2021)、経営学部 イベント(留学2020)、経営学部 イベント(2020)、経営学部 イベント(留学2019)、経営学部 イベント(2019)、経営学部 イベント(留学2018)、経営学部 イベント(2018)
配当学年（履修対象） Year of Study	2 年
講義名 Name of Subject	イベントデザイン E-A
講義名（英語表記） Name of Subject (English)	Designing Events
担当教員 Instructor	神谷 勇輝
必修／選択 Compulsory／Elective	なし
開講期 Course Period	春(前)期
単位数 Credits	2
実務経験のある教員 (実務経験と授業内容の関係)	イベントプロデュース事業に8年間携わっている担当教員が、イベント企画関連業務経験を授業に活かしている。授業では、実際にビジネスシーンで使える内容をワークショップ形式で行い、イベント企画力を養うように工夫する。

【授業概要・本科目で取り扱うテーマ】 Course Description	イベント企画設計の習得							
【到達目標】 Course Objectives	社会に出ても通用する、イベントの企画設計を作ることが出来る。							
	世に出ているイベントを、正しく分析することが出来る。							
	現場の仕事を体感し、イベント業界のリアルを知ることが出来る。							
【履修条件・受講推奨者】 Course Conditions	イベント業界に興味がある方。 その中でも、主催・制作会社への就職を考えている方を受講推奨者とする。							
【教育方法】 Teaching Method	講義の後、ワークショップで技術習得を目指す。							
【指定教科書・参考資料等】 Textbooks ・ Reference Books	未定							
【実務 I Q 修得目標】 Learning objective based on practical applicability	自制力 self-control		思考力 ability to think	○	突破力 The power to break		忍耐力 endurance	
	協働力 ability to cooperate		主張力 assertiveness	○	創造力 creativity	○		

【成績評価・評価上の留意事項（試験方法、単位修得要件）】 Evaluation	評価項目と割合		評価方法		
	イベント企画設計を理解しているか	50%			
	イベント企画設計を作るか	30%			
	最終テスト（イベント企画設計の記入形式）	20%			
	合計	100%			
【その他の注意事項】 Others	特に無し				
	【週】 Week	【テーマ】 Theme	【学習内容】 Study Contents		
	No1	企画設計の全体像	イベント企画設計を構成する5W2Hを理解していただく。 ・ WHY「主催の目的」を明確に設定してその目的を達成するためには・・・ ・ WHO「どんな参加者」に来てほしいか？そして、その参加者の気持ちを「どう変えたいか？」を細かく設定する。 ではそれを「どういう手段」で叶えるか？これがHOW 最後に、最適なイベント手段に適した・・・ ・ WHERE「最適な会場」 ・ WHEN「最適な日時」 ・ WHAT「最適な名称」 ・ HOW MUCH「最適な予算」を決める。 この全体の流れについて細かく解説していきます。		
		【予習内容】 Preparation	好きなイベントを一つ選んで、5W2Hに分析。	120	分
		【復習内容】 Review	企画設計の順番を記憶	120	分
	No2	WHY（目的設定）	イベント企画の目的設定の具体的な手順について理解を深めていただく。 ●目指す理想（将来叶えたい"理想の姿"のために） ●現状の課題（現状こんな課題がある） ●具体的な目標（どうなったらイベントが成功？） この3つの細かい中身について順を追って、一つ一つ解説していきます。		
		【予習内容】 Preparation	好きなイベントを一つ選んで、目的を分析	120	分
		【復習内容】 Review	例題に沿って目的図を作成	120	分
	No3	WHO（参加者分析）	参加者分析の具体的な手順について理解を深めていただく。 ①感情のBEFORE→AFTER →その目的は、イベント後に、どういう感情になってもらったら達成できそう？か分析 ②グループ →その目的は、どういう人の気持ちを変えたら達成できそう？か分析 ③感動POINT →その目的を達成するグループは、どんなポイントで心が動くのか？を分析 この3つの細かい中身について順を追って、一つ一つ解説していきます。		
		【予習内容】 Preparation	好きなイベントを一つ選んで、参加者を分析	120	分
		【復習内容】 Review	例題に沿って参加者分析表を作成	120	分

No4	HOW（コンセプト設計）	イベントコンセプトを設計する上での 具体的な手順について 理解を深めていただく。 演出コンセプトは・・・ 目的の解決方法＋参加者のワクワク で出来ている。 その手順や細かい中身について 順を追って、一つ一つ解説していきます。		
	【予習内容】 Preparation	好きなイベントを一つ選んで、コンセプトを分析	120	分
	【復習内容】 Review	例題に沿ってコンセプトを設計	120	分
	HOW（イベント形式）	イベント形式を設計する上での 具体的な手順について 理解を深めていただく。 色々回って楽しめるフェス形式にするのか・・・ パフォーマンス中心のコンサート形式にするのか・・・など 形式の全種類について紹介した上で イベントコンセプトに沿った、最適な イベント形式について解説していきます。		
	【予習内容】 Preparation	好きなイベントを一つ選んで、イベント形式を分析	120	分
	【復習内容】 Review	例題に沿ってイベント形式を設計	120	分
	WHERE（開催会場）	開催会場の最適な決め方について 理解を深めていただく。 ① 場所決め ② 座席形式 ③ 会場種類 ④ 会場検索 この4つの細かい中身について 順を追って、一つ一つ解説していきます。		
	【予習内容】 Preparation	好きなイベントを一つ選んで、開催会場を分析	120	分
	【復習内容】 Review	例題に沿って開催会場を策定	120	分
	WHEN（開催日時）	開催日時の最適な決め方について 理解を深めていただく。 興行、PRイベントであれば、 “参加者”を1番集客できそうな 日時をベースに クローズドなインナーイベントであれば “参加者”が1番集まりやすい日時をベースに考えていく その内容や考え方の手順を細かく解説していきます。		
	【予習内容】 Preparation	好きなイベントを一つ選んで、開催日時を分析	120	分
	【復習内容】 Review	例題に沿って開催日時を策定	120	分
No8	WHAT（名称を決める）	開催名称の最適な決め方について 理解を深めていただく。 ① イベント形式 ② 主張ワード この2つの細かい中身について 順を追って、一つ一つ解説していきます。		
	【予習内容】 Preparation	好きなイベントを一つ選んで、名称を分析	120	分
	【復習内容】 Review	例題に沿って開催名称を策定	120	分

	No9	HOW MUCH（予算）	イベント予算の考え方について理解を深めていただく。 ① イベント形式 ② 会場種類 に沿って予算を決めていく。 この2つの細かい中身について順を追って、一つ一つ解説していきます。		
		【予習内容】 Preparation	好きなイベントを一つ選んで、予算を分析	120	分
		【復習内容】 Review	例題に沿って予算を策定	120	分
	No10	プログラム設計	プログラム設計について理解を深めていただく。 プログラムを分解すると大きくは5区分け。 ① 共通 ② 回遊性／パーティ／ポップアップ ③ パフォーマンス ④ 会議／発表／表彰 ⑤ スポーツ この5つの細かい中身について順を追って、一つ一つ解説していきます。		
		【予習内容】 Preparation	好きなイベントを一つ選んで、プログラム設計を分析	120	分
		【復習内容】 Review	例題に沿ってプログラムを設計	120	分
	No11	ステージ設計	ステージ設計について理解を深めていただく。 ステージとは プログラムコンテンツを「最大化」させるもの。 ① ステージパーツを選定 ② コンテンツを決める この2つの細かい中身について順を追って、一つ一つ解説していきます。		
		【予習内容】 Preparation	好きなイベントを一つ選んで、ステージ設計を分析	120	分
		【復習内容】 Review	例題に沿ってステージを設計	120	分
	No12	デザイン設計	デザイン設計について理解を深めていただく。 デザインというのは・・・ ストーリー設計・プログラム設計・ステージ設計を具体的なカタチにすること。 ① 想起させたい感情を決める ② デザインの方向性を決める ③ 入れたい要素を決める この3つの細かい中身について順を追って、一つ一つ解説していきます。		
		【予習内容】 Preparation	好きなイベントを一つ選んで、デザイン設計を分析	120	分
		【復習内容】 Review	例題に沿ってデザインを設計	120	分
	No13	企画実践	一つのテーマを決め、企画設計を作成。		
		【予習内容】 Preparation	好きなイベントを一つ選んで、企画設計を作成	120	分
		【復習内容】 Review	例題に沿って企画設計を作成	120	分

	No14	作品発表＋総括	これまでの講義の集大成。 企画実践の成果発表。		
		【予習内容】 Preparation	好きなイベントを一つ選んで、企画設計を作成	120	分
		【復習内容】 Review	例題に沿って企画設計を作成	120	分

分野系列 Area of Study	応用科目
カリキュラム Curriculum	経営学部 イベント(留学2022)、経営学部 イベント(2022)、経営学部 イベント(留学2021)、経営学部 イベント(2021)、経営学部 イベント(留学2020)、経営学部 イベント(2020)、経営学部 イベント(留学2019)、経営学部 イベント(2019)、経営学部 イベント(留学2018)、経営学部 イベント(2018)
配当学年（履修対象） Year of Study	2 年
講義名 Name of Subject	イベントデザイン論 E-A
講義名（英語表記） Name of Subject (English)	Designing Events theory
担当教員 Instructor	神谷 勇輝
必修／選択 Compulsory／Elective	なし
開講期 Course Period	春(前)期
単位数 Credits	2
実務経験のある教員 (実務経験と授業内容の関係)	イベントプロデュース事業に8年間携わっている担当教員が、イベント企画関連業務経験を授業に活かしている。授業では、実際にビジネスシーンで使える内容をワークショップ形式で行い、イベント企画力を養うように工夫する。

【授業概要・本科目で取り扱うテーマ】 Course Description	イベント企画設計の習得							
【到達目標】 Course Objectives	社会に出ても通用する、イベントの企画設計をすることが出来る。							
	世に出ているイベントを、正しく分析することが出来る。							
	現場の仕事を体感し、イベント業界のリアルを知ることが出来る。							
【履修条件・受講推奨者】 Course Conditions	イベント業界に興味がある方。 その中でも、主催・制作会社への就職を考えている方を受講推奨者とする。							
【教育方法】 Teaching Method	講義の後、ワークショップで技術習得を目指す。							
【指定教科書・参考資料等】 Textbooks ・ Reference Books	未定							
【実務！Q修得目標】 Learning objective based on practical applicability	自制力 self-control		思考力 ability to think	○	突破力 The power to break		忍耐力 endurance	
	協働力 ability to cooperate		主張力 assertiveness	○	創造力 creativity	○		

【成績評価・評価上の留意事項（試験方法、単位修得要件）】 Evaluation	評価項目と割合		評価方法		
	イベント企画設計を理解しているか		50%		
	イベント企画設計を作るか		30%		
	最終テスト（イベント企画設計の記入形式）		20%		
	合計		100%		
【その他の注意事項】 Others	特に無し				
	【週】 Week	【テーマ】 Theme	【学習内容】 Study Contents		
	No1	企画設計の全体像	イベント企画設計を構成する5W2Hを理解していただく。 ・ WHY「主催の目的」を明確に設定してその目的を達成するためには・・・ ・ WHO「どんな参加者」に来てほしいか？そして、その参加者の気持ちを「どう変えたいか？」を細かく設定する。 ではそれを「どういう手段」で叶えるか？これがHOW 最後に、最適なイベント手段に適した・・・ ・ WHERE「最適な会場」 ・ WHEN「最適な日時」 ・ WHAT「最適な名称」 ・ HOW MUCH「最適な予算」を決める。 この全体の流れについて細かく解説していきます。		
		【予習内容】 Preparation	好きなイベントを一つ選んで、5W2Hに分析。	120	分
		【復習内容】 Review	企画設計の順番を記憶	120	分
	No2	WHY（目的設定）	イベント企画の目的設定の具体的な手順について理解を深めていただく。 ●目指す理想（将来叶えたい"理想の姿"のために） ●現状の課題（現状こんな課題がある） ●具体的な目標（どうなったらイベントが成功？） この3つの細かい中身について順を追って、一つ一つ解説していきます。		
		【予習内容】 Preparation	好きなイベントを一つ選んで、目的を分析	120	分
		【復習内容】 Review	例題に沿って目的図を作成	120	分
	No3	WHO（参加者分析）	参加者分析の具体的な手順について理解を深めていただく。 ◎感情のBEFORE→AFTER →その目的は、イベント後に、どういう感情になってもらったら達成できそう？か分析 ◎グループ →その目的は、どういう人の気持ちを変えたら達成できそう？か分析 ◎感動POINT →その目的を達成するグループは、どんなポイントで心が動くのか？を分析 この3つの細かい中身について順を追って、一つ一つ解説していきます。		
		【予習内容】 Preparation	好きなイベントを一つ選んで、参加者を分析	120	分
		【復習内容】 Review	例題に沿って参加者分析表を作成	120	分

No4	HOW（コンセプト設計）	イベントコンセプトを設計する上での 具体的な手順について 理解を深めていただく。 演出コンセプトは・・・ 目的の解決方法＋参加者のワクワク で出来ている。 その手順や細かい中身について順を追って、一つ一つ解説していきます。		
	【予習内容】 Preparation	好きなイベントの一つ選んで、コンセプトを分析	120	分
	【復習内容】 Review	例題に沿ってコンセプトを設計	120	分
No5	HOW（イベント形式）	イベント形式を設計する上での 具体的な手順について 理解を深めていただく。 色々回って楽しめるフェス形式にするのか・・・ パフォーマンス中心のコンサート形式にするのか・・・など 形式の全種類について紹介した上で イベントコンセプトに沿った、最適なイベント形式について解説していきます。		
	【予習内容】 Preparation	好きなイベントの一つ選んで、イベント形式を分析	120	分
	【復習内容】 Review	例題に沿ってイベント形式を設計	120	分
No6	WHERE（開催会場）	開催会場の最適な決め方について 理解を深めていただく。 ① 場所決め ② 座席形式 ③ 会場種類 ④ 会場検索 この4つの細かい中身について 順を追って、一つ一つ解説していきます。		
	【予習内容】 Preparation	好きなイベントの一つ選んで、開催会場を分析	120	分
	【復習内容】 Review	例題に沿って開催会場を策定	120	分
No7	WHEN（開催日時）	開催日時の最適な決め方について 理解を深めていただく。 興行、PRイベントであれば、 “参加者”を1番集客できそうな 日時をベースに クローズドなインナーイベントであれば “参加者”が1番集まりやすい日時をベースに考えていく その内容や考え方の 手順を細かく解説していきます。		
	【予習内容】 Preparation	好きなイベントの一つ選んで、開催日時を分析	120	分
	【復習内容】 Review	例題に沿って開催日時を策定	120	分
No8	WHAT（名称を決める）	開催名称の最適な決め方について 理解を深めていただく。 ●イベント形式 ●主張ワード この2つの細かい中身について 順を追って、一つ一つ解説していきます。		
	【予習内容】 Preparation	好きなイベントの一つ選んで、名称を分析	120	分
	【復習内容】 Review	例題に沿って開催名称を策定	120	分

	No9	HOW MUCH（予算）	イベント予算の考え方について理解を深めていただく。 ① イベント形式 ② 会場種類 に沿って予算を決めていく。 この2つの細かい中身について順を追って、一つ一つ解説していきます。		
		【予習内容】 Preparation	好きなイベントを一つ選んで、予算を分析	120	分
		【復習内容】 Review	例題に沿って予算を策定	120	分
	No10	プログラム設計	プログラム設計について理解を深めていただく。 プログラムを分解すると大きくは5区分け。 ① 共通 ② 回遊性／パーティ／ポップアップ ③ パフォーマンス ④ 会議／発表／表彰 ⑤ スポーツ この5つの細かい中身について順を追って、一つ一つ解説していきます。		
		【予習内容】 Preparation	好きなイベントを一つ選んで、プログラム設計を分析	120	分
		【復習内容】 Review	例題に沿ってプログラムを設計	120	分
	No11	ステージ設計	ステージ設計について理解を深めていただく。 ステージとはプログラムコンテンツを「最大化」させるもの。 ① ステージパーツを選定 ② コンテンツを決める この2つの細かい中身について順を追って、一つ一つ解説していきます。		
		【予習内容】 Preparation	好きなイベントを一つ選んで、ステージ設計を分析	120	分
		【復習内容】 Review	例題に沿ってステージを設計	120	分
	No12	デザイン設計	デザイン設計について理解を深めていただく。 デザインというのは・・・ストーリー設計・プログラム設計・ステージ設計を具体的なカタチにすること。 ① 想起させたい感情を決める ② デザインの方向性を決める ③ 入れたい要素を決める この3つの細かい中身について順を追って、一つ一つ解説していきます。		
		【予習内容】 Preparation	好きなイベントを一つ選んで、デザイン設計を分析	120	分
		【復習内容】 Review	例題に沿ってデザインを設計	120	分
	No13	企画実践	一つのテーマを決め、企画設計を作成。		
		【予習内容】 Preparation	好きなイベントを一つ選んで、企画設計を作成	120	分
		【復習内容】 Review	例題に沿って企画設計を作成	120	分

	No14	作品発表＋総括	これまでの講義の集大成。 企画実践の成果発表。		
		【予習内容】 Preparation	好きなイベントを一つ選んで、企画設計を作成	120	分
		【復習内容】 Review	例題に沿って企画設計を作成	120	分

分野系列 Area of Study	発展科目
カリキュラム Curriculum	経営学部 イベント(留学2022)、経営学部 イベント(2022)、経営学部 イベント(留学2021)、経営学部 イベント(2021)、経営学部 イベント(留学2020)、経営学部 イベント(2020)、経営学部 経営学科(留学2019)、経営学部 イベント(留学2019)、経営学部 イベント(2019)、経営学部 経営学科(留学2018)、経営学部 イベント(留学2018)、経営学部 イベント(2018)
配当学年（履修対象） Year of Study	2 年
講義名 Name of Subject	イベント企画・演出 E-K
講義名（英語表記） Name of Subject (English)	Designing & Producing Events
担当教員 Instructor	大山 利栄
必修／選択 Compulsory／Elective	選択必修
開講期 Course Period	秋(後)期
単位数 Credits	2
実務経験のある （実務経験と授業内容の関係）	イベントプロモーション最大手会社(上場企業)にて25年間イベントプロデューサーとして従事した経験を持ち、また、取締役として経営にも参画。 その経験を活かし、イベント企画の考え方及びステージを中心とした演出について具体例を紹介しながらわかりやすく講義します。

【授業概要・本科目で取り扱うテーマ】 Course Description	前半はイベント企画。イベントの企画には創造性が最も重要です。人々へサプライズを与えるアイデア、マンネリを打破する発想が求められます。イベント企画の基本である「6W2H」と企画の発想法について学習します。 後半はイベント演出。コンサートやファッションショー等のエンターテインメントイベント、企業や団体におけるPRおよびキャンペーンイベントや展示会、式典などさまざまな イベントには全て「演出」が必要です。舞台美術、音響、照明、映像、キャスト、特殊効果、環境演出といったイベントに関わるすべてのパートを理解し、具体的な演出プランの組み立て方についてそれぞれのイベント形態ごとに検証していきます。
【到達目標】 Course Objectives	イベント企画の構成要素について理解する イベント演出に関わるパートの役割を理解する 演出プランの作成および台本・進行表による指示方法を理解する
【履修条件・受講推奨者】 Course Conditions	「イベント学Ⅰ」「イベント学Ⅱ」「イベントプロデュース論Ⅰ」「イベントプロデュース論Ⅱ」を履修していることが望ましい
【教育方法】 Teaching Method	基本的には講義形式で行うが、ワークショップ形式で実際に企画書作成や進行表の作成なども行う
【指定教科書・参考資料等】 Textbooks ・ Reference Books	使用せず

【実務 I Q 修得目標】 Learning objective based on practical applicability	<table><tr><td>自制力 self-control</td><td></td><td>思考力 ability to think</td><td>○</td><td>突破力 The power to break</td><td>○</td><td>忍耐力 endurance</td><td></td></tr><tr><td>協働力 ability to cooperate</td><td></td><td>主張力 assertiveness</td><td>○</td><td>創造力 creativity</td><td>○</td><td colspan="2"></td></tr></table>					自制力 self-control		思考力 ability to think	○	突破力 The power to break	○	忍耐力 endurance		協働力 ability to cooperate		主張力 assertiveness	○	創造力 creativity	○																					
自制力 self-control		思考力 ability to think	○	突破力 The power to break	○	忍耐力 endurance																																		
協働力 ability to cooperate		主張力 assertiveness	○	創造力 creativity	○																																			
【成績評価・評価上の留意事項（試験方法、単位修得要件）】 Evaluation	<table><tr><td colspan="5">評価項目と割合</td><td colspan="2">評価方法</td></tr><tr><td colspan="5">授業態度及びレポート提出</td><td>30%</td><td colspan="2" rowspan="4">2/3程度の出席は必須。 それぞれの評価項目を得点に応じて数値化し評価する</td></tr><tr><td colspan="5">成果物(企画書・進行表)</td><td>30%</td></tr><tr><td colspan="5">期末テスト</td><td>40%</td></tr><tr><td colspan="5">合計</td><td>100%</td></tr></table>							評価項目と割合					評価方法		授業態度及びレポート提出					30%	2/3程度の出席は必須。 それぞれの評価項目を得点に応じて数値化し評価する		成果物(企画書・進行表)					30%	期末テスト					40%	合計					100%
評価項目と割合					評価方法																																			
授業態度及びレポート提出					30%	2/3程度の出席は必須。 それぞれの評価項目を得点に応じて数値化し評価する																																		
成果物(企画書・進行表)					30%																																			
期末テスト					40%																																			
合計					100%																																			
【その他の注意事項】 Others	特になし																																							
	【週】 Week	【テーマ】 Theme			【学習内容】 Study Contents																																			
	No1	イントロダクション			授業概要の説明 「イベント企画」、「イベント演出」とは何か																																			
		【予習内容】 Preparation			これまで参加したイベントの演出について書き出しておく	120	分																																	
		【復習内容】 Review			「伝言ゲーム」レポート作成	120	分																																	
	No2	イベント企画①発想力			イベントアイデア発想法(SCAMPER、ださくにたおち、など)																																			
		【予習内容】 Preparation			カラーバス実践	120	分																																	
		【復習内容】 Review			SCAMPERについての整理	120	分																																	
	No3	イベント企画②骨格力			イベントの構造6W2Hの詳細																																			
		【予習内容】 Preparation			6W2Hについて確認しておく	120	分																																	
		【復習内容】 Review			そもそも理論分析レポート作成	120	分																																	
	No4	イベント企画③分析力			イベント企画のマーケティング																																			
		【予習内容】 Preparation			テーマとコンセプトの違いについて調べる	120	分																																	
		【復習内容】 Review			自分のコンセプトについて設定しレポート作成	120	分																																	

No5	イベント企画④目的力	イベント企画のゴール		
	【予習内容】 Preparation	これまで参加したイベントの目的について考える	120	分
	【復習内容】 Review	テーマに応じたアイデアを6W2Hで整理しレポート作成	120	分
No6	イベント企画⑤構成力	イベント企画書作成		
	【予習内容】 Preparation	レポートの6W2Hにおけるストロングポイントの抽出	120	分
	【復習内容】 Review	1枚企画書のブラッシュアップ	120	分
	演出の構成要素①	イベント演出を構成する要素について 美術施工 美術プランと舞台美術、ブース施工		
No7	【予習内容】 Preparation	DVDやYouTubeなどでステージ造形について好きなものをピックアップしておく	120	分
	【復習内容】 Review	サブロクについてのレポートを作成	120	分
	演出の構成要素②	音響・照明 音響・照明の考え方 その効果と機材について		
No8	【予習内容】 Preparation	DVDやYouTubeなどでステージ演出における照明演出についてチェックする	120	分
	【復習内容】 Review	音響システムの構成についてレポート	120	分
	演出の構成要素③	映像 映像の考え方 ハード(機材)とソフト(素材)、オペレーションについて		
No9	【予習内容】 Preparation	DVDやYouTubeなどでステージ演出における映像機材についてチェックする	120	分
	【復習内容】 Review	大型映像におけるプロジェクターとLEDの違いについてレポート	120	分
	演出の構成要素④	特殊効果 特殊効果の種類と使い方 その他各種のギミックについて		
No10	【予習内容】 Preparation	DVDやYouTubeなどでステージ演出における特殊効果の使い方についてチェックする	120	分
	【復習内容】 Review	テーマパークのバレードにおける特効の使い方についてレポート	120	分

	No11	演出の構成要素⑤	環境演出と空間演出 考え方の違いと見せ方の違いについて		
		【予習内容】 Preparation	テーマパークにおける環境演出について調べる	120	分
		【復習内容】 Review	テーマパークのパレードにおける特効の使い方についてレポートまたはイベント会場の環境演出を見に行く	120	分
	No12	演出の構成要素⑥	演出・進行スタッフとその役割 演出家、舞台監督、進行スタッフの役割 司会、キャスト、出演者について		
		【予習内容】 Preparation	自分の知っている演出家について調べる	120	分
		【復習内容】 Review	テーマに応じた出演者をピックアップしレポート	120	分
	No13	演出プラン	ステージイベントにおける演出プラン 演出プランと進行表、台本について		
		【予習内容】 Preparation	身近にあるイベントの演出プランについて考える	120	分
		【復習内容】 Review	演出プランと進行表、台本の違いについて整理する	120	分
	No14	台本制作	進行表、台本制作の実作業 各テクニカルパートの理解と進行表、台本のつくり方		
		【予習内容】 Preparation	各テクニカルパートの続くわれについて整理しておく	120	分
		【復習内容】 Review	進行表を作成しレポート	120	分

分野系列 Area of Study	発展科目
カリキュラム Curriculum	経営学部 イベント(留学2023)、経営学部 イベント(2023)
配当学年（履修対象） Year of Study	2 年
講義名 Name of Subject	イベント企画・演出論 E-K
講義名（英語表記） Name of Subject (English)	Designing & Producing Events Theory
担当教員 Instructor	大山 利栄
必修／選択 Compulsory／Elective	選択必修
開講期 Course Period	秋(後)期
単位数 Credits	2
実務経験のある (実務経験と授業内容の関係)	イベントプロモーション最大手会社(上場企業)にて25年間イベントプロデューサーとして従事した経験を持ち、また、取締役として経営にも参画。 その経験を活かし、イベント企画の考え方及びステージを中心とした演出について具体例を紹介しながらわかりやすく講義します。

【授業概要・本科目で取り扱うテーマ】 Course Description	前半はイベント企画。イベントの企画には創造性が最も重要です。人々へサプライズを与えるアイデア、マンネリを打破する発想が求められます。イベント企画の基本である「6W2H」と企画の発想法について学習します。 後半はイベント演出。コンサートやファッションショー等のエンターテインメントイベント、企業や団体におけるPRおよびキャンペーンイベントや展示会、式典などさまざまな イベントには全て「演出」が必要です。舞台美術、音響、照明、映像、キャスト、特殊効果、環境演出といったイベントに関わるすべてのパートを理解し、具体的な演出プランの組み立て方についてそれぞれのイベント形態ごとに検証していきます。
【到達目標】 Course Objectives	イベント企画の構成要素について理解する イベント演出に関わるパートの役割を理解する 演出プランの作成および台本・進行表による指示方法を理解する
【履修条件・受講推奨者】 Course Conditions	「イベント学Ⅰ」「イベント学Ⅱ」「イベントプロデュース論Ⅰ」「イベントプロデュース論Ⅱ」を履修していることが望ましい
【教育方法】 Teaching Method	基本的には講義形式で行うが、ワークショップ形式で実際に企画書作成や進行表の作成なども行う
【指定教科書・参考資料等】 Textbooks ・ Reference Books	使用せず

【実務 I Q 修得目標】 Learning objective based on practical applicability	<table><tr><td>自制力 self-control</td><td></td><td>思考力 ability to think</td><td>○</td><td>突破力 The power to break</td><td>○</td><td>忍耐力 endurance</td><td></td></tr><tr><td>協働力 ability to cooperate</td><td></td><td>主張力 assertiveness</td><td>○</td><td>創造力 creativity</td><td>○</td><td colspan="2"></td></tr></table>					自制力 self-control		思考力 ability to think	○	突破力 The power to break	○	忍耐力 endurance		協働力 ability to cooperate		主張力 assertiveness	○	創造力 creativity	○																																																																															
自制力 self-control		思考力 ability to think	○	突破力 The power to break	○	忍耐力 endurance																																																																																												
協働力 ability to cooperate		主張力 assertiveness	○	創造力 creativity	○																																																																																													
【成績評価・評価上の留意事項（試験方法、単位修得要件）】 Evaluation	<table><tr><td colspan="5">評価項目と割合</td><td colspan="2">評価方法</td></tr><tr><td colspan="5">授業態度及びレポート提出</td><td>30%</td><td colspan="2" rowspan="4">2/3程度の出席は必須。 それぞれの評価項目を得点に応じて数値化し評価する</td></tr><tr><td colspan="5">成果物(企画書・進行表)</td><td>30%</td></tr><tr><td colspan="5">期末テスト</td><td>40%</td></tr><tr><td colspan="5">合計</td><td>100%</td></tr></table>							評価項目と割合					評価方法		授業態度及びレポート提出					30%	2/3程度の出席は必須。 それぞれの評価項目を得点に応じて数値化し評価する		成果物(企画書・進行表)					30%	期末テスト					40%	合計					100%																																																										
評価項目と割合					評価方法																																																																																													
授業態度及びレポート提出					30%	2/3程度の出席は必須。 それぞれの評価項目を得点に応じて数値化し評価する																																																																																												
成果物(企画書・進行表)					30%																																																																																													
期末テスト					40%																																																																																													
合計					100%																																																																																													
【その他の注意事項】 Others	特になし																																																																																																	
	<table><tr><td>【週】 Week</td><td>【テーマ】 Theme</td><td colspan="5">【学習内容】 Study Contents</td></tr><tr><td rowspan="4">No1</td><td>イントロダクション</td><td colspan="5">授業概要の説明 「イベント企画」、「イベント演出」とは何か</td></tr><tr><td>【予習内容】 Preparation</td><td colspan="4">これまで参加したイベントの演出について書き出しておく</td><td>120</td><td>分</td></tr><tr><td>【復習内容】 Review</td><td colspan="4">「伝言ゲーム」レポート作成</td><td>120</td><td>分</td></tr><tr><td rowspan="4">No2</td><td>イベント企画①発想力</td><td colspan="5">イベントアイデア発想法(SCAMPER、ださくにたおち、など)</td></tr><tr><td>【予習内容】 Preparation</td><td colspan="4">カラーバス実践</td><td>120</td><td>分</td></tr><tr><td>【復習内容】 Review</td><td colspan="4">SCAMPERについての整理</td><td>120</td><td>分</td></tr><tr><td rowspan="4">No3</td><td>イベント企画②骨格力</td><td colspan="5">イベントの構造6W2Hの詳細</td></tr><tr><td>【予習内容】 Preparation</td><td colspan="4">6W2Hについて確認しておく</td><td>120</td><td>分</td></tr><tr><td>【復習内容】 Review</td><td colspan="4">そもそも理論分析レポート作成</td><td>120</td><td>分</td></tr><tr><td rowspan="4">No4</td><td>イベント企画③分析力</td><td colspan="5">イベント企画のマーケティング</td></tr><tr><td>【予習内容】 Preparation</td><td colspan="4">テーマとコンセプトの違いについて調べる</td><td>120</td><td>分</td></tr><tr><td>【復習内容】 Review</td><td colspan="4">自分のコンセプトについて設定しレポート作成</td><td>120</td><td>分</td></tr></table>							【週】 Week	【テーマ】 Theme	【学習内容】 Study Contents					No1	イントロダクション	授業概要の説明 「イベント企画」、「イベント演出」とは何か					【予習内容】 Preparation	これまで参加したイベントの演出について書き出しておく				120	分	【復習内容】 Review	「伝言ゲーム」レポート作成				120	分	No2	イベント企画①発想力	イベントアイデア発想法(SCAMPER、ださくにたおち、など)					【予習内容】 Preparation	カラーバス実践				120	分	【復習内容】 Review	SCAMPERについての整理				120	分	No3	イベント企画②骨格力	イベントの構造6W2Hの詳細					【予習内容】 Preparation	6W2Hについて確認しておく				120	分	【復習内容】 Review	そもそも理論分析レポート作成				120	分	No4	イベント企画③分析力	イベント企画のマーケティング					【予習内容】 Preparation	テーマとコンセプトの違いについて調べる				120	分	【復習内容】 Review	自分のコンセプトについて設定しレポート作成				120	分
【週】 Week	【テーマ】 Theme	【学習内容】 Study Contents																																																																																																
No1	イントロダクション	授業概要の説明 「イベント企画」、「イベント演出」とは何か																																																																																																
	【予習内容】 Preparation	これまで参加したイベントの演出について書き出しておく				120	分																																																																																											
	【復習内容】 Review	「伝言ゲーム」レポート作成				120	分																																																																																											
	No2	イベント企画①発想力	イベントアイデア発想法(SCAMPER、ださくにたおち、など)																																																																																															
【予習内容】 Preparation		カラーバス実践				120	分																																																																																											
【復習内容】 Review		SCAMPERについての整理				120	分																																																																																											
No3		イベント企画②骨格力	イベントの構造6W2Hの詳細																																																																																															
	【予習内容】 Preparation	6W2Hについて確認しておく				120	分																																																																																											
	【復習内容】 Review	そもそも理論分析レポート作成				120	分																																																																																											
	No4	イベント企画③分析力	イベント企画のマーケティング																																																																																															
【予習内容】 Preparation		テーマとコンセプトの違いについて調べる				120	分																																																																																											
【復習内容】 Review		自分のコンセプトについて設定しレポート作成				120	分																																																																																											

No5	イベント企画④目的力	イベント企画のゴール		
	【予習内容】 Preparation	これまで参加したイベントの目的について考える	120	分
	【復習内容】 Review	テーマに応じたアイデアを6W2Hで整理しレポート作成	120	分
	イベント企画⑤構成力	イベント企画書作成		
	【予習内容】 Preparation	レポートの6W2Hにおけるストロングポイントの抽出	120	分
	【復習内容】 Review	1枚企画書のブラッシュアップ	120	分
	演出の構成要素①	イベント演出を構成する要素について 美術施工 美術プランと舞台美術、ブース施工		
	【予習内容】 Preparation	DVDやYouTubeなどでステージ造形について好きなものをピックアップしておく	120	分
	【復習内容】 Review	サブプロットについてのレポートを作成	120	分
	演出の構成要素②	音響・照明 音響・照明の考え方 その効果と機材について		
	【予習内容】 Preparation	DVDやYouTubeなどでステージ演出における照明演出についてチェックする	120	分
	【復習内容】 Review	音響システムの構成についてレポート	120	分
	演出の構成要素③	映像 映像の考え方 ハード(機材)とソフト(素材)、オペレーションについて		
	【予習内容】 Preparation	DVDやYouTubeなどでステージ演出における映像機材についてチェックする	120	分
	【復習内容】 Review	大型映像におけるプロジェクターとLEDの違いについてレポート	120	分
No10	演出の構成要素④	特殊効果 特殊効果の種類と使い方 その他各種のギミックについて		
	【予習内容】 Preparation	DVDやYouTubeなどでステージ演出における特殊効果の使い方についてチェックする	120	分
	【復習内容】 Review	テーマパークのバレードにおける特効の使い方についてレポート	120	分

	No11	演出の構成要素⑤	環境演出と空間演出 考え方の違いと見せ方の違いについて		
		【予習内容】 Preparation	テーマパークにおける環境演出について調べる	120	分
		【復習内容】 Review	テーマパークのバレードにおける特効の使い方についてレポートまたはイベント会場の環境演出を見に行く	120	分
	No12	演出の構成要素⑥	演出・進行スタッフとその役割 演出家、舞台監督、進行スタッフの役割 司会、キャスト、出演者について		
		【予習内容】 Preparation	自分の知っている演出家について調べる	120	分
		【復習内容】 Review	テーマに応じた出演者をピックアップしレポート	120	分
	No13	演出プラン	ステージイベントにおける演出プラン 演出プランと進行表、台本について		
		【予習内容】 Preparation	身近にあるイベントの演出プランについて考える	120	分
		【復習内容】 Review	演出プランと進行表、台本の違いについて整理する	120	分
	No14	台本制作	進行表、台本制作の実作業 各テクニカルパートの理解と進行表、台本のつくり方		
		【予習内容】 Preparation	各テクニカルパートの続くわれについて整理しておく	120	分
		【復習内容】 Review	進行表を作成しレポート	120	分

分野系列 Area of Study	発展科目
カリキュラム Curriculum	経営学部 イベント(留学2022)、経営学部 イベント(2022)、経営学部 イベント(留学2021)、経営学部 イベント(2021)、経営学部 イベント(留学2020)、経営学部 イベント(2020)、経営学部 経営学科(留学2019)、経営学部 イベント(留学2019)、経営学部 イベント(2019)、経営学部 経営学科(留学2018)、経営学部 イベント(留学2018)、経営学部 イベント(2018)
配当学年（履修対象） Year of Study	2 年
講義名 Name of Subject	イベント企画・演出 E-A
講義名（英語表記） Name of Subject (English)	Designing & Producing Events
担当教員 Instructor	清宮 浩一
必修／選択 Compulsory/Elective	選択必修
開講期 Course Period	春(前)期
単位数 Credits	2
実務経験のある教員 （実務経験と授業内容の関係）	過去、様々な業務で作成した企画書（約2,000件）や現場実務等の経験値をベースに、イベントで必要とされる三要素（企画、演出、運営）の考え方や、そこで必要とされるスキルをわかりやすく講義します。

【授業概要・本科目で取り扱うテーマ】 Course Description	イベントは、人々の日常の中に起きる（あるいは訪れる）非日常の瞬間です。 そのイベントを仕掛ける・仕込む側に立った時にどのような視点からプランニングして、大切な人や多くの参加者に喜びや感動を与えることが出来るのか、「企画」「演出」「運営」という3大要素の重要性を具体的な事例を通じて学び、事業が成立するまでの世界観を理解してもらいます。 また、企画・演出・運営で必要とされる実践的なプランニング手法や、地域の経済活性や地方創生に役立つイベント事業の価値創造の手法等も修得してもらいます。
【到達目標】 Course Objectives	イベントの概念や種類・役割、事業化の経緯・過程などを簡素に説明できる。 イベント事業の三大要素（企画・演出・運営）の役割や内容を簡素に説明できる。 企画書作成の構成要素や基本的な流れ、事業の価値化について簡素に説明できる
【履修条件・受講推奨者】 Course Conditions	◇イベントについて興味・関心を持ち、将来、事業に携わりたいと思っていること。 ◇イベントに関するプランニング能力を幅広く習得したいと考えていること。
【教育方法】 Teaching Method	ロジカルシンキング（論理的思考）に基づくイベントプロデュースの重要性や、各種事例を通じてイベント事業の概念を理解し、学生自身に「自分で考える力」を養ってもらう。
【指定教科書・参考資料等】 Textbooks ・ Reference Books	特になし
【実務 I Q 修得目標】 Learning objective based on practical applicability	自制力 self-control 協働力 ability to cooperate 思考力 ability to think 主張力 assertiveness ○ ○ 突破力 The power to break 創造力 creativity ○ 忍耐力 endurance
【成績評価・評価上の留意事項（試験方法、単位修得要件）】 Evaluation	評価項目と割合 授業態度 45% 中間レポート 25% 期末試験 30% 合計 1 0 0 % 評価方法 授業態度：45% → 出席回数＋授業レポートの提出回数と内容評価 中間レポート：25% → 提出の有無＋内容評価 期末試験：30% → 設問（選択）＋小論文内容評価

【その他の注意事項】
Others

--

【週】	【テーマ】	【学習内容】		
Week	Theme	Study Contents		
No1	ブローグ	「概説」 イベントの定義（＝日常に起きる非日常の瞬間）や広義のイベントの種類や世界観を理解するとともに、各種事例などを通じてイベントの価値を再認識する。また、イベント事業に携わるプレイヤーの構成（営業、プロデューサー、プランナー、リサーチャー、音響・照明・演出デザイン、施工、運営管理等）や役割を理解する。		
	【予習内容】 Preparation	事前配布された講義資料を一読して講義のために準備する。	120	分
	【復習内容】 Review	イベントを広義に捉え、その種類、概念などを整理してみる。	120	分
No2	イベントの魅力とは	「イベントの魅力・インパクト」 イベントはどのようなタイプの事業に分類されるのか、また、イベントを事業として成立させるためにどのような事業者・組織・団体が関与するのかを理解するとともに、各タイプで異なるイベント事業の目的、協力体制等（共催・協力・後援等）の基本要素を理解する。		
	【予習内容】 Preparation	事前配布された講義資料を一読して講義のために準備する。	120	分
	【復習内容】 Review	イベント事業の主催、共催、協力、後援の違いを理解する。	120	分
No3	イベント事業を構成する3大要素	「企画力・演出力・運営力」 イベント事業を構成する三つの要素（企画力、演出力、運営力）の重要性について理解するとともに、三つの要素がどのようにイベントの価値を規定するのかを知る。また、事業を実施するまでの業務の工程（依頼→基本構想→基本計画→実施計画→施工→実施）に関する一般的概念を理解する。		
	【予習内容】 Preparation	事前配布された講義資料を一読して講義のために準備する。	120	分
	【復習内容】 Review	企画力、演出力、運営力の概要を理解する。	120	分
No4	企画のイロハ①	「クライアントを説得するための企画書の作成手法、基本的要素」 イベント事業を検討する際に、最初の取り組みとなる企画書。その企画書はどのような項目から構成され完成するのか、企画書作成に必要とされる考え方や、クライアントを説得するために欠かせないシナリオの作り方を、具体的な事例を通じて学び理解する。		
	【予習内容】 Preparation	事前配布された講義資料を一読して講義のために準備する。	120	分
	【復習内容】 Review	企画書作成の意味や価値を自分なりに整理する。	120	分
No5	企画のイロハ②	「事業が発注されるまでの流れ」 公的な組織がイベント事業を発注する際の、公示の仕組みや種類（一般競争入札、指名競争入札、随意契約等）、採択されるための評価手法などを具体的な事例から知るとともに、仮想のプロジェクトを題材にして、チーム編成の手法やシナリオプランニングのイロハを理解する。		
	【予習内容】 Preparation	事前配布された講義資料を一読して講義のために準備する。	120	分
	【復習内容】 Review	企画を立案するための必要人材（＝チーム編成）について理解する。	120	分

【授業計画】
Course Schedule

No6	演出の考え方	「人に感動を与える環境づくり、演出手法」 結婚式や民間のイベント事業などを題材に、来場者・参加者に喜びや感動を与えるための演出手法や導入技術（VR/AR、プロジェクションマッピング等）等の一般的な活用手法を、チームラボなどが取り組む具体的な事例を通じて知るとともに、リアルなイベント空間とバーチャルなイベント空間で、今後、演出手法がどのように変化していく可能性があるのか、最近関心を集めているメタバースの世界観から共に考える。		
	【予習内容】 Preparation	事前配布された講義資料を一読して講義のために準備する。	120	分
	【復習内容】 Review	リアルイベントとバーチャルイベントの違い・意味等を理解する。	120	分
No7	運営の考え方	「広報計画・動員計画の考え方」 広報、広告、PRに関する基礎的な役割を理解するとともに、イベント事業に多くの参加者を集めるため、メディア接触形態の変容を理解し、適切なコミュニケーション戦略を打ち出すことの重要性を知る。また、イベント事業の価値を高めるための運営手法のあり方やイベント空間の価値を最大化するための最新のトレンドなどを知る。		
	【予習内容】 Preparation	事前配布された講義資料を一読して講義のために準備する。	120	分
	【復習内容】 Review	コミュニケーション戦略や運営手法の概要を理解する。	120	分
No8	プランニング力の養成①	「プランニングスキルを高めるイロハ」 企画を検討する際の「現状把握」→「課題抽出」→「将来展望」→「具体策の検討」というプランニング手法のイロハを知るとともに、T型思考（テーマ領域を広げる力、テーマを掘り下げる力）で物事を幅広く捉えシナリオの内容を充実させる意味を理解する。また、情報分析、状況分析に適した図解の作り方、解釈の仕方などのイロハを知る。		
	【予習内容】 Preparation	事前配布された講義資料を一読して講義のために準備する。	120	分
	【復習内容】 Review	T型思考で物事を捉えることの重要性を理解する。	120	分
No9	プランニング力の養成②	「客観的要素を積み上げたロジカルシンキング」 様々な事象をロジカルシンキング（論理的思考）で整理する方法論（＝様々な関係性を図解で表現）や、図解をベースに因果関係の作り方でも多様な文脈（＝シナリオ）が作れることを理解する。		
	【予習内容】 Preparation	事前配布された講義資料を一読して講義のために準備する。	120	分
	【復習内容】 Review	物事の関係性を客観的に整理することの重要性を理解する。	120	分
No10	プランニング力の養成③	「特定テーマから考える現状・課題の整理手法」 物事を客観的に捉え整理するための具体的な手法を、特定テーマを設定しながらグループ単位で実際に学習していく。例えば、「生産者」「流通事業者」「消費者」の三つの立場で、農業を取り巻く社会情勢等をグループ討議し、その世界観を整理しながら、これからの農業や食文化などで必要とされる論点などを導く。		
	【予習内容】 Preparation	事前配布された講義資料を一読して講義のために準備する。	120	分
	【復習内容】 Review	情報整理の基本的な手法や役割・意味を理解する。	120	分
No11	プレゼンテーション技法	「効果的なプレゼンを行うための準備と対策」 相手を説得するために必要とされるプレゼン資料の作り方やデータを用いた資料づくりに関わる基礎的要素を理解する。特に、データをグラフ等でわかりやすく可視化しシナリオの正当性を訴える手法や、各種データを組み合わせながらテーマや課題を洗い出す手法などを学ぶ。		
	【予習内容】 Preparation	事前配布された講義資料を一読して講義のために準備する。	120	分
	【復習内容】 Review	データを用いたプレゼン手法の重要性を理解する。	120	分

	No12	イベントの価値創造①	「二つの価値（事業的価値と社会的価値）創造の重要性」 規模が大きいイベント事業では様々な投資を必要とする。イベント事業を成立させるために、例えば「リーグやオリンピックはどのような手法を用いて事業を発展させてきたのか、投資してもらった関係者が納得するイベント事業の価値の作り方、シナリオの描き方を理解するとともに、イベント事業の価値を可視化するための事業的価値、社会的価値の考え方や重要性について理解する。		
		【予習内容】 Preparation	事前配布された講義資料を一読して講義のために準備する。	120	分
		【復習内容】 Review	事業的価値と社会的価値の意味を自分なりに整理する。	120	分
	No13	イベントの価値創造②	「地域や暮らしをデザインするイベント事業の効用」 大規模イベントの開催が、都市の魅力づくりやブランド戦略、地域経済の活性化にどのように寄与するのか、その仕組みを各種事例（2012ロンドンオリンピックのカルチュラルオリンピアド事業やオリンピックパークの整備、東京2020における江戸川区の取り組み等）を通じて理解する。		
		【予習内容】 Preparation	事前配布された講義資料を一読して講義のために準備する。	120	分
		【復習内容】 Review	大規模イベントとまちづくりとの関係を理解する	120	分
	No14	これまでの総括	「これまでの講義内容の再整理」 イベント企画・演出の重要性を過去の講義内容のポイントを振り返りながら理解するとともに、イベント事業を円滑に推進するために企画力、演出力、運営力が不可欠であることを再認識する。		
		【予習内容】 Preparation	事前配布された講義資料を一読して講義のために準備する。	120	分
		【復習内容】 Review	講義内容で重要だと感じるポイントを自分なりに整理する。	120	分

分野系列 Area of Study	発展科目
カリキュラム Curriculum	経営学部 イベント(留学2023)、経営学部 イベント(2023)
配当学年（履修対象） Year of Study	2 年
講義名 Name of Subject	イベント企画・演出論 E-A
講義名（英語表記） Name of Subject (English)	Designing & Producing Events Theory
担当教員 Instructor	清 宮 浩 一
必修／選択 Compulsory／Elective	選択必修
開講期 Course Period	春(前)期
単位数 Credits	2
実務経験のある教員 （実務経験と授業内容の関係）	過去、様々な業務で作成した企画書（約2,000件）や現場実務等の経験値をベースに、イベントで必要とされる三要素（企画、演出、運営）の考え方や、そこで必要とされるスキルをわかりやすく講義します。

【授業概要・本科目で取り扱うテーマ】 Course Description	イベントは、人々の日常の中に起きる（あるいは訪れる）非日常の瞬間です。 そのイベントを仕掛ける・仕込む側に立った時にどのような視点からプランニングして、大切な人や多くの参加者に喜びや感動を与えることが出来るのか、「企画」「演出」「運営」という3大要素の重要性を具体的な事例を通じて学び、事業が成立するまでの世界観を理解してもらいます。 また、企画・演出・運営で必要とされる実践的なプランニング手法や、地域の経済活性や地方創生に役立つイベント事業の価値創造の手法等も修得してもらいます。
【到達目標】 Course Objectives	イベントの概念や種類・役割、事業化の経緯・過程などを簡素に説明できる。 イベント事業の三大要素（企画・演出・運営）の役割や内容を簡素に説明できる。 企画書作成の構成要素や基本的な流れ、事業の価値化について簡素に説明できる
【履修条件・受講推奨者】 Course Conditions	◇イベントについて興味・関心を持ち、将来、事業に携わりたいと思っていること。 ◇イベントに関するプランニング能力を幅広く習得したいと考えていること。
【教育方法】 Teaching Method	ロジカルシンキング（論理的思考）に基づくイベントプロデュースの重要性や、各種事例を通じてイベント事業の概念を理解し、学生自身に「自分で考える力」を養ってもらう。
【指定教科書・参考資料等】 Textbooks ・ Reference Books	特になし
【実務 I Q 修得目標】 Learning objective based on practical applicability	自制力 self-control 思考力 ability to think ○ 突破力 The power to break 忍耐力 endurance 協働力 ability to cooperate 主張力 assertiveness 創造力 creativity ○

【成績評価・評価上の留意事項 （試験方法、単位修得要件）】 Evaluation	評価項目と割合		評価方法		
	授業態度	45%	授業態度：45% → 出席回数＋授業レポートの提出回数と内容評価		
	中間レポート	25%	中間レポート：25% → 提出の有無＋内容評価		
	期末試験	30%	期末試験：30% → 設問（選択）＋小論文内容評価		
	合計	100%			
【その他の注意事項】 Others					
	【週】 Week	【テーマ】 Theme	【学習内容】 Study Contents		
	No1	ブローグ	「概説」 イベントの定義（＝日常に起きる非日常の瞬間）や広義のイベントの種類や世界観を理解するとともに、各種事例などを通じてイベントの価値を再認識する。 また、イベント事業に携わるプレイヤーの構成（営業、プロデューサー、プランナー、リサーチャー、音響・照明・演出デザイン、施工、運営管理等）や役割を理解する。		
		【予習内容】 Preparation	事前配布された講義資料を一読して講義のために準備する。	120	分
		【復習内容】 Review	イベントを広義に捉え、その種類、概念などを整理してみる。	120	分
	No2	イベントの魅力とは	「イベントの魅力・インパクト」 イベントはどのようなタイプの事業に分類されるのか、また、イベントを事業として成立させるためにどのような事業者・組織・団体に関与するのかを理解するとともに、各タイプで異なるイベント事業の目的、協力体制等（共催・協力・後援等）の基本要素を理解する。		
		【予習内容】 Preparation	事前配布された講義資料を一読して講義のために準備する。	120	分
		【復習内容】 Review	イベント事業の主催、共催、協力、後援の違いを理解する。	120	分
	No3	イベント事業を構成する3大要素	「企画力・演出力・運営力」 イベント事業を構成する三つの要素（企画力、演出力、運営力）の重要性について理解するとともに、三つの要素がどのようにイベントの価値を規定するのかを知る。 また、事業を実施するまでの業務の工程（依頼→基本構想→基本計画→実施計画→施工→実施）に関する一般的概念を理解する。		
		【予習内容】 Preparation	事前配布された講義資料を一読して講義のために準備する。	120	分
		【復習内容】 Review	企画力、演出力、運営力の概要を理解する。	120	分
	No4	企画のイロハ①	「クライアントを説得するための企画書の作成手法、基本的要素」 イベント事業を検討する際に、最初の取り組みとなる企画書。その企画書はどのような項目から構成され完成するのか、企画書作成に必要とされる考え方や、クライアントを説得するために欠かせないシナリオの作り方を、具体的な事例を通じて学び理解する。		
		【予習内容】 Preparation	事前配布された講義資料を一読して講義のために準備する。	120	分
		【復習内容】 Review	企画書作成の意味や価値を自分なりに整理する。	120	分
	No5	企画のイロハ②	「事業が発注されるまでの流れ」 公的な組織がイベント事業を発注する際の、公示の仕組みや種類（一般競争入札、指名競争入札、随意契約等）、採択されるための評価手法などを具体的な事例から知るとともに、仮想のプロジェクトを題材にして、チーム編成の手法やシナリオプランニングのイロハを理解する。		
		【予習内容】 Preparation	事前配布された講義資料を一読して講義のために準備する。	120	分
		【復習内容】 Review	企画を立案するための必要人材（＝チーム編成）について理解する。	120	分

【授業計画】
Course Schedule

No6	演出の考え方	「人に感動を与える環境づくり・演出手法」 結婚式や民間のイベント事業などを題材に、来場者・参加者に喜びや感動を与えるための演出手法や導入技術（VR/AR、プロジェクションマッピング等）等の一般的な活用手法を、チームラボなどが取り組む具体的な事例を通じて知るとともに、リアルなイベント空間とバーチャルなイベント空間で、今後、演出手法がどのように変化していく可能性があるのか、最近関心を集めているメタバースの世界観から共に考える。		
	【予習内容】 Preparation	事前配布された講義資料を一読して講義のために準備する。	120	分
	【復習内容】 Review	リアルイベントとバーチャルイベントの違い・意味等を理解する。	120	分
	運営の考え方	「広報計画・動員計画の考え方」 広報、広告、PRに関する基礎的な役割を理解するとともに、イベント事業に多くの参加者を集めるため、メディア接触形態の変容を理解し、適切なコミュニケーション戦略を打ち出すことの重要性を知る。また、イベント事業の価値を高めるための運営手法のあり方やイベント空間の価値を最大化するための最新のトレンドなどを知る。		
No7	【予習内容】 Preparation	事前配布された講義資料を一読して講義のために準備する。	120	分
	【復習内容】 Review	コミュニケーション戦略や運営手法の概要を理解する。	120	分
	プランニング力の養成①	「プランニングスキルを高めるイロハ」 企画を検討する際の「現状把握」→「課題抽出」→「将来展望」→「具体策の検討」というプランニング手法のイロハを知るとともに、T型思考（テーマ領域を広げる力、テーマを掘り下げる力）で物事を幅広く捉えシナリオの内容を充実させる意味を理解する。また、情報分析、状況分析に適した図解の作り方、解釈の仕方などのイロハを知る。		
	【予習内容】 Preparation	事前配布された講義資料を一読して講義のために準備する。	120	分
No8	【復習内容】 Review	T型思考で物事を捉えることの重要性を理解する。	120	分
	プランニング力の養成②	「客観的要素を積み上げたロジカルシンキング」 様々な事象をロジカルシンキング（論理的思考）で整理する方法論（＝様々な関係性を図解で表現）や、図解をベースに因果関係の作り方でも様々な文脈（＝シナリオ）が作れることを理解する。		
	【予習内容】 Preparation	事前配布された講義資料を一読して講義のために準備する。	120	分
	【復習内容】 Review	物事の関係性を客観的に整理することの重要性を理解する。	120	分
No9	プランニング力の養成③	「特定テーマから考える現状・課題の整理手法」 物事を客観的に捉え整理するための具体的な手法を、特定テーマを設定しながらグループ単位で実際に学習していく。例えば、「生産者」「流通事業者」「消費者」の三つの立場で、農業を取り巻く社会情勢等をグループ討議し、その世界観を整理しながら、これからの農業や食文化などで必要とされる論点などを導く。		
	【予習内容】 Preparation	事前配布された講義資料を一読して講義のために準備する。	120	分
	【復習内容】 Review	情報整理の基本的な手法や役割・意味を理解する。	120	分
	プレゼンテーション技法	「効果的なプレゼンを行うための準備と対策」 相手を説得するために必要とされるプレゼン資料の作り方やデータを用いた資料づくりに関わる基礎的要素を理解する。特に、データをグラフ等でわかりやすく可視化しシナリオの正当性を訴える手法や、各種データを組み合わせながらテーマや課題を洗い出す手法などを学ぶ。		
No11	【予習内容】 Preparation	事前配布された講義資料を一読して講義のために準備する。	120	分
	【復習内容】 Review	データを用いたプレゼン手法の重要性を理解する。	120	分

	No12	イベントの価値創造①	「二つの価値（事業的価値と社会的価値）創造の重要性」 規模が大きいイベント事業では様々な投資を必要とする。イベント事業を成立させるために、例えばリーグやオリンピックはどのような手法を用いて事業を発展させてきたのか、投資してもらった関係者が納得するイベント事業の価値の作り方、シナリオの描き方を理解するとともに、イベント事業の価値を可視化するための事業的価値、社会的価値の考え方や重要性について理解する。		
		【予習内容】 Preparation	事前配布された講義資料を一読して講義のために準備する。	120	分
		【復習内容】 Review	事業的価値と社会的価値の意味を自分なりに整理する。	120	分
	No13	イベントの価値創造②	「地域や暮らしをデザインするイベント事業の効用」 大規模イベントの開催が、都市の魅力づくりやブランド戦略、地域経済の活性化にどのように寄与するのか、その仕組みを各種事例（2012ロンドンオリンピックのカルチュラルオリンピックアード事業やオリンピックパークの整備、東京2020における江戸川区の取り組み等）を通じて理解する。		
		【予習内容】 Preparation	事前配布された講義資料を一読して講義のために準備する。	120	分
		【復習内容】 Review	大規模イベントとまちづくりとの関係を理解する	120	分
	No14	これまでの総括	「これまでの講義内容の再整理」 イベント企画・演出の重要性を過去の講義内容のポイントを振り返りながら理解するとともに、イベント事業を円滑に推進するために企画力、演出力、運営力が不可欠であることを再認識する。		
		【予習内容】 Preparation	事前配布された講義資料を一読して講義のために準備する。	120	分
		【復習内容】 Review	講義内容で重要だと感じるポイントを自分なりに整理する。	120	分

分野系列 Area of Study	応用科目
カリキュラム Curriculum	経営学部 イベント(留学2023)、経営学部 イベント(2023)
配当学年（履修対象） Year of Study	2 年
講義名 Name of Subject	イベント管理会計論 E-A
講義名（英語表記） Name of Subject (English)	Event Management Accounting Theory
担当教員 Instructor	大山 利栄
必修／選択 Compulsory／Elective	なし
開講期 Course Period	春(前)期
単位数 Credits	2
実務経験のある (実務経験と授業内容の関係)	イベントプロモーション最大手会社(上場企業)にて25年間イベントプロデューサーとして従事した経験を持ち、また、取締役として経営にも参画。 その経験を活かし、イベントに関わる費用について管理会計としてひも解くと同時に、原価の調整や利益率の設定など経営者目線からわかりやすく講義します。

【授業概要・本科目で取り扱うテーマ】 Course Description	イベントにおける管理会計とは、それぞれのイベント単体での予算管理(Budgeting)と原価計算(Costing)の事を指します。製品製造とは異なり、それぞれのイベントごとに科目や単価が大きく違うため、イベントの性質や内容を正しく理解することが非常に重要となります。またイベント全体の予算に対する各パートの予算配分によっては結果的に大きな差となりクライアントや来場者からの評価に影響することとなります。ここでは具体的なケースをもとに、リスクマネジメントも視野に入れながら各パートの原価を理解すると共に、売上、原価、原価率について学び、最適にイベントの実施に向けた管理会計を学びます。
【到達目標】 Course Objectives	イベントを企画・実施するにおいて必要な基礎項目と各パートの役割について理解すること イベントに係る各パートごとの予算感とそれぞれの原価について正しく理解すること イベントにおける管理会計と原価計算の基礎知識を理解し、コストマネジメントに必要な原価計算の方法を正しく理解すること
【履修条件・受講推奨者】 Course Conditions	「イベント学Ⅰ」「イベント学Ⅱ」「イベントプロデュース論Ⅰ」「イベントプロデュース論Ⅱ」を履修している事
【教育方法】 Teaching Method	基本的には講義形式で行うが、必要に応じてワークショップ形式を莉入れる
【指定教科書・参考資料等】 Textbooks ・ Reference Books	使用せず

【実務 I Q 修得目標】 Learning objective based on practical applicability	<table><tr><td>自制力 self-control</td><td>○</td><td>思考力 ability to think</td><td></td><td>突破力 The power to break</td><td>○</td><td>忍耐力 endurance</td><td></td></tr><tr><td>協働力 ability to cooperate</td><td></td><td>主張力 assertiveness</td><td></td><td>創造力 creativity</td><td>○</td><td></td><td></td></tr></table>	自制力 self-control	○	思考力 ability to think		突破力 The power to break	○	忍耐力 endurance		協働力 ability to cooperate		主張力 assertiveness		創造力 creativity	○																																											
自制力 self-control	○	思考力 ability to think		突破力 The power to break	○	忍耐力 endurance																																																				
協働力 ability to cooperate		主張力 assertiveness		創造力 creativity	○																																																					
【成績評価・評価上の留意事項（試験方法、単位修得要件）】 Evaluation	<table><tr><td colspan="2">評価項目と割合</td><td>評価方法</td></tr><tr><td>授業態度</td><td>30%</td><td rowspan="4">2/3程度の出席は必須。 それぞれの評価項目を得点に応じて数値化し評価する。</td></tr><tr><td>成果物、レポート提出</td><td>30%</td></tr><tr><td>期末テスト</td><td>40%</td></tr><tr><td>合計</td><td>100%</td></tr></table>	評価項目と割合		評価方法	授業態度	30%	2/3程度の出席は必須。 それぞれの評価項目を得点に応じて数値化し評価する。	成果物、レポート提出	30%	期末テスト	40%	合計	100%																																													
評価項目と割合		評価方法																																																								
授業態度	30%	2/3程度の出席は必須。 それぞれの評価項目を得点に応じて数値化し評価する。																																																								
成果物、レポート提出	30%																																																									
期末テスト	40%																																																									
合計	100%																																																									
【その他の注意事項】 Others	必ず電卓を持参すること。 スマートフォンは不可。																																																									
	<table><tr><td>【週】 Week</td><td>【テーマ】 Theme</td><td colspan="3">【学習内容】 Study Contents</td></tr><tr><td rowspan="3">No1</td><td rowspan="3">iイントロダクション</td><td colspan="3">授業概要の説明 「イベント管理会計」とは何か</td></tr><tr><td>【予習内容】 Preparation</td><td>会計とは何かについて調べる</td><td>120</td><td>分</td></tr><tr><td>【復習内容】 Review</td><td>イベントに係る各パートについて整理する</td><td>120</td><td>分</td></tr><tr><td rowspan="3">No2</td><td rowspan="3">原価計算</td><td colspan="3">原価計算の目的、役割と原価計算のステップ</td></tr><tr><td>【予習内容】 Preparation</td><td>イベントに関する各パートについて調べる</td><td>120</td><td>分</td></tr><tr><td>【復習内容】 Review</td><td>工業製品の原価計算についてレポート</td><td>120</td><td>分</td></tr><tr><td rowspan="3">No3</td><td rowspan="3">役割と原価項目①</td><td colspan="3">美術施工</td></tr><tr><td>【予習内容】 Preparation</td><td>イベントにステージや受付などの装飾がどう使われているのかを調べる</td><td>120</td><td>分</td></tr><tr><td>【復習内容】 Review</td><td>イベントの種類ごとの美術施工の役割と予算について整理する</td><td>120</td><td>分</td></tr><tr><td rowspan="3">No4</td><td rowspan="3">役割と原価項目②</td><td colspan="3">音響、照明、映像装置、映像ソフト、特殊効果</td></tr><tr><td>【予習内容】 Preparation</td><td>イベントに各テクニカルパートがどう使われているかを調べる</td><td>120</td><td>分</td></tr><tr><td>【復習内容】 Review</td><td>各テクニカルパートについて整理する</td><td>120</td><td>分</td></tr></table>	【週】 Week	【テーマ】 Theme	【学習内容】 Study Contents			No1	iイントロダクション	授業概要の説明 「イベント管理会計」とは何か			【予習内容】 Preparation	会計とは何かについて調べる	120	分	【復習内容】 Review	イベントに係る各パートについて整理する	120	分	No2	原価計算	原価計算の目的、役割と原価計算のステップ			【予習内容】 Preparation	イベントに関する各パートについて調べる	120	分	【復習内容】 Review	工業製品の原価計算についてレポート	120	分	No3	役割と原価項目①	美術施工			【予習内容】 Preparation	イベントにステージや受付などの装飾がどう使われているのかを調べる	120	分	【復習内容】 Review	イベントの種類ごとの美術施工の役割と予算について整理する	120	分	No4	役割と原価項目②	音響、照明、映像装置、映像ソフト、特殊効果			【予習内容】 Preparation	イベントに各テクニカルパートがどう使われているかを調べる	120	分	【復習内容】 Review	各テクニカルパートについて整理する	120	分
【週】 Week	【テーマ】 Theme	【学習内容】 Study Contents																																																								
No1	iイントロダクション	授業概要の説明 「イベント管理会計」とは何か																																																								
		【予習内容】 Preparation	会計とは何かについて調べる	120	分																																																					
		【復習内容】 Review	イベントに係る各パートについて整理する	120	分																																																					
No2	原価計算	原価計算の目的、役割と原価計算のステップ																																																								
		【予習内容】 Preparation	イベントに関する各パートについて調べる	120	分																																																					
		【復習内容】 Review	工業製品の原価計算についてレポート	120	分																																																					
No3	役割と原価項目①	美術施工																																																								
		【予習内容】 Preparation	イベントにステージや受付などの装飾がどう使われているのかを調べる	120	分																																																					
		【復習内容】 Review	イベントの種類ごとの美術施工の役割と予算について整理する	120	分																																																					
No4	役割と原価項目②	音響、照明、映像装置、映像ソフト、特殊効果																																																								
		【予習内容】 Preparation	イベントに各テクニカルパートがどう使われているかを調べる	120	分																																																					
		【復習内容】 Review	各テクニカルパートについて整理する	120	分																																																					

【授業計画】
Course Schedule

No5	役割と原価項目③	その他の演出パートと運営パート		
	【予習内容】 Preparation	運営パートでの必要な要素について調べる	120	分
	【復習内容】 Review	運営パートでの必要な原価項目について整理する	120	分
No6	役割と原価項目④	その他各パートの役割		
	【予習内容】 Preparation	イベントを実施するにあたり、どんな項目が必要か調べる	120	分
	【復習内容】 Review	運営パートの原価項目について整理する	120	分
	管理会計①	イベントにおける管理会計		
No7	【予習内容】 Preparation	パーセント、割合、百分率について整理しておく	120	分
	【復習内容】 Review	工業製品とイベントでの管理会計の違いを整理する	120	分
	管理会計②	売上と原価、利益と利益率、利益計算の考え方		
No8	【予習内容】 Preparation	利益率とは何かについて調べる	120	分
	【復習内容】 Review	売上と原価、利益の関係について整理する	120	分
	意思決定会計①	具体的なイベント例をもとに売上と原価、利益額、利益率について理解する		
No9	【予習内容】 Preparation	イベントにおける原価について整理する	120	分
	【復習内容】 Review	利益率の割り出しについて整理する	120	分
	意思決定会計②	具体的なイベント例をもとに売上と原価、利益額、利益率について理解する		
No10	【予習内容】 Preparation	具体例をもとにイベントにおける原価について整理する	120	分
	【復習内容】 Review	具体例をもとに利益率の割り出しについて整理する	120	分

	No11	意思決定会計③	具体的なイベント例をもとに利益率から原価を割り出し、売上(予算・見積り)を算出する		
		【予習内容】 Preparation	利益率の設定について調べる	120	分
		【復習内容】 Review	利益率からの売上げ(予算)設定することについて整理する	120	分
	No12	意思決定会計④	具体的なイベント例をもとに利益率から原価を割り出し、売上(予算・見積り)を算出する		
		【予習内容】 Preparation	利益率からの売上げ(予算)設定することについて練習する	120	分
		【復習内容】 Review	具体的な問題をレポート提出	120	分
	No13	予算構築①	イベントの種類ごとの予算の組み立て		
		【予習内容】 Preparation	これまでの原価パートについて整理する	120	分
		【復習内容】 Review	イベントごとの予算の考え方を整理する	120	分
	No14	予算構築②	具体的に設定するイベント予算の組み立て		
		【予習内容】 Preparation	学園祭についての原価欄目を洗い出す	120	分
		【復習内容】 Review	学園祭についての予算について整理する	120	分

分野系列 Area of Study	応用科目
カリキュラム Curriculum	経営学部 イベント(留学2022)、経営学部 イベント(2022)、経営学部 イベント(留学2021)、経営学部 イベント(2021)、経営学部 イベント(留学2020)、経営学部 イベント(2020)、経営学部 経営学科(留学2019)、経営学部 イベント(留学2019)、経営学部 イベント(2019)、経営学部 経営学科(留学2018)、経営学部 イベント(留学2018)、経営学部 イベント(2018)
配当学年（履修対象） Year of Study	2 年
講義名 Name of Subject	スポーツイベント E-A
講義名（英語表記） Name of Subject (English)	Sporting Events
担当教員 Instructor	佐藤 潤
必修／選択 Compulsory／Elective	なし
開講期 Course Period	春(前)期
単位数 Credits	2
実務経験のある教員 （実務経験と授業内容の関係）	スポーツビジネスに20年以上の長い経験を有する教員が、スポーツイベントに関わる様々な現状・課題について、スポーツマーケティング、スポーツマネジメントの視点より分かりやすく講義します。

【授業概要・本科目で取り扱うテーマ】 Course Description	イベント領域で大きな位置を占めるスポーツイベントについての現状と構造についていろいろな視点を通して知る							
【到達目標】 Course Objectives	スポーツの歴史、成り立ちと現代におけるスポーツの価値について知る							
	スポーツイベントならではの企画、準備、実施について知る							
	スポーツイベントビジネスの構造とこれからの可能性について知る							
【履修条件・受講推奨者】 Course Conditions	スポーツが好きな人、スポーツイベント・ビジネスに興味がある人							
【教育方法】 Teaching Method	教員が準備したオリジナル資料をベースに講義形式で行う。必要に応じて課題を出しインタラクティブに授業を進めていく。							
【指定教科書・参考資料等】 Textbooks ・ Reference Books	特になし。推薦図書については授業の中で紹介する。							
【実務 I Q 修得目標】 Learning objective based on practical applicability	自制力 self-control		思考力 ability to think	○	突破力 The power to break		忍耐力 endurance	
	協働力 ability to cooperate		主張力 assertiveness	○	創造力 creativity			

【成績評価・評価上の留意事項（試験方法、単位修得要件）】 Evaluation	評価項目と割合		評価方法		
	毎授業後のリアクションペーパー	4 5 %	リアクションペーパーは講義の内容を踏まえた自分の考えと裏付け根拠を提示すること。		
	中間試験	2 0 %			
	期末試験	3 5 %			
	合計	1 0 0 %			
【その他の注意事項】 Others	授業にはリスペクトを持って、受け身でなく積極的な態度で臨むこと。				
	【週】 Week	【テーマ】 Theme	【学習内容】 Study Contents		
	No1	ガイダンス：「スポーツイベント」の概略を知る	イベントにおけるスポーツの位置づけ、スポーツイベント業界について知る		
		【予習内容】 Preparation	事前の質問について調べる	120	分
		【復習内容】 Review	授業資料をもう一度見直す 興味を持ったところは自分で調べる	120	分
	No2	スポーツの歴史を学ぶ	スポーツは人類の歴史のなかでどのように発展してきたかを学ぶ		
		【予習内容】 Preparation	事前の質問について調べる	120	分
		【復習内容】 Review	授業資料をもう一度見直す 興味を持ったところは自分で調べる	120	分
	No3	スポーツビジネスの歴史を学ぶ	いかにしてスポーツはビジネスとなってきたのか、その生成過程を知る		
		【予習内容】 Preparation	事前の質問について調べる	120	分
		【復習内容】 Review	授業資料をもう一度見直す 興味を持ったところは自分で調べる	120	分
	No4	するスポーツの現状を様々な数字から読み解くⅠ	現在の社会においてスポーツはどのような位置を占めているか。「する」の視点から知る		
		【予習内容】 Preparation	事前の質問について調べる	120	分
		【復習内容】 Review	授業資料をもう一度見直す 興味を持ったところは自分で調べる	120	分

【授業計画】
Course Schedule

No5	するスポーツの現状を様々な数字から読み解くⅡ	現在の社会においてスポーツはどのような位置を占めているか。「する」の視点から知る（続き）		
	【予習内容】 Preparation	事前の質問について調べる	120	分
	【復習内容】 Review	授業資料をもう一度見直す 興味を持ったところは自分で調べる	120	分
	No6	見るスポーツの現状を様々な数字から読み解く	現在の社会においてスポーツはどのような位置を占めているか。「みる」の視点から知る	
		【予習内容】 Preparation	事前の質問について調べる	120 分
		【復習内容】 Review	授業資料をもう一度見直す 興味を持ったところは自分で調べる	120 分
		スポーツイベントを支える施設について知る	「みる」、「する」スポーツにとって競技場、スタジアム、アリーナは大切なインフラである。 現在の状況について知る	
	No7	【予習内容】 Preparation	事前の質問について調べる	120 分
		【復習内容】 Review	授業資料をもう一度見直す 興味を持ったところは自分で調べる	120 分
		前半を振り返る 確認のための中間テストを行う	これまでの授業を改めて復習し確認のためのテストを行う	
	No8	【予習内容】 Preparation	事前の質問について調べる	120 分
		【復習内容】 Review	授業資料をもう一度見直す 興味を持ったところは自分で調べる	120 分
		スポーツイベントの経済効果について学ぶ	スポーツイベントが世の中にどのような影響を与えているか、経済の視点から学ぶ	
	No9	【予習内容】 Preparation	事前の質問について調べる	120 分
		【復習内容】 Review	授業資料をもう一度見直す 興味を持ったところは自分で調べる	120 分
		スポーツイベントの企画・運営とリスクについて学ぶ	スポーツイベントを実施担当者としての視点でどのように進めていけばよいか、リスクにはどのようなものがあり防ぐにはどうすればよいかを学ぶ	
	No10	【予習内容】 Preparation	事前の質問について調べる	120 分
		【復習内容】 Review	授業資料をもう一度見直す 興味を持ったところは自分で調べる	120 分

	No11	スポーツイベントビジネスの構造を学ぶ	スポーツの持っている・生み出す価値はなにか。その価値をいかにビジネスに変換していくのかについて学ぶ		
		【予習内容】 Preparation	事前の質問について調べる	120	分
		【復習内容】 Review	授業資料をもう一度見直す 興味を持ったところは自分で調べる	120	分
	No12	スポーツイベントに関わる知的財産権について知る	知的財産権について基本的な知識を身に付け、それを活用したマーケティングについて学ぶ		
		【予習内容】 Preparation	事前の質問について調べる	120	分
		【復習内容】 Review	授業資料をもう一度見直す 興味を持ったところは自分で調べる	120	分
	No13	スポーツイベントのマーケティングについて学ぶ	スポーツイベントの価値を最大化するマーケティングについて具体的事例を通して学ぶ		
		【予習内容】 Preparation	事前の質問について調べる	120	分
		【復習内容】 Review	授業資料をもう一度見直す	120	分
	No14	スポーツイベントのスポンサーシップについて学ぶ	マーケティング視点で企業のスポーツのスポンサーシップについて学ぶ		
		【予習内容】 Preparation	事前の質問について調べる	120	分
		【復習内容】 Review	授業資料をもう一度見直す 興味を持ったところは自分で調べる	120	分

分野系列 Area of Study	応用科目
カリキュラム Curriculum	経営学部 イベント(留学2023)、経営学部 イベント(2023)
配当学年（履修対象） Year of Study	2 年
講義名 Name of Subject	スポーツイベント論Ⅰ E-A
講義名（英語表記） Name of Subject (English)	Sporting Events TheoryⅠ
担当教員 Instructor	佐藤 潤
必修／選択 Compulsory／Elective	なし
開講期 Course Period	春(前)期
単位数 Credits	2
実務経験のある教員 （実務経験と授業内容の関係）	スポーツビジネスに20年以上の長い経験を有する教員が、スポーツイベントに関わる様々な現状・課題について、スポーツマーケティング、スポーツマネジメントの視点より分かりやすく講義します。

【授業概要・本科目で取り扱うテーマ】 Course Description	イベント領域で大きな位置を占めるスポーツイベントについての現状と構造についていろいろな視点を通して知る							
【到達目標】 Course Objectives	スポーツの歴史、成り立ちと現代におけるスポーツの価値について知る							
	スポーツイベントならではの企画、準備、実施について知る							
	スポーツイベントビジネスの構造とこれからの可能性について知る							
【履修条件・受講推奨者】 Course Conditions	スポーツが好きな人、スポーツイベント・ビジネスに興味がある人							
【教育方法】 Teaching Method	教員が準備したオリジナル資料をベースに講義形式で行う。必要に応じて課題を出しインタラクティブに授業を進めていく。							
【指定教科書・参考資料等】 Textbooks ・ Reference Books	特になし。推薦図書については授業の中で紹介する。							
【実務 I Q 修得目標】 Learning objective based on practical applicability	自制力 self-control		思考力 ability to think	○	突破力 The power to break		忍耐力 endurance	
	協働力 ability to cooperate		主張力 assertiveness	○	創造力 creativity			

【成績評価・評価上の留意事項（試験方法、単位修得要件）】 Evaluation	評価項目と割合		評価方法		
	毎授業後のリアクションペーパー	4 5	リアクションペーパーは講義の内容を踏まえた自分の考えと裏付け根拠を提示すること。		
	中間試験	20			
	期末試験	35			
	合計	1 0 0 %			
【その他の注意事項】 Others	授業にはリスペクトを持って、受け身でなく積極的な態度で臨むこと。				
	【週】 Week	【テーマ】 Theme	【学習内容】 Study Contents		
	No1	ガイダンス：「スポーツイベント」の概略を知る	イベントにおけるスポーツの位置づけ、スポーツイベント業界について知る		
		【予習内容】 Preparation	事前の質問について調べる	120	分
		【復習内容】 Review	授業資料をもう一度見直す 興味を持ったところは自分で調べる	120	分
	No2	スポーツの歴史を学ぶ	スポーツは人類の歴史のなかでどのように発展してきたかを学ぶ		
		【予習内容】 Preparation	事前の質問について調べる	120	分
		【復習内容】 Review	授業資料をもう一度見直す 興味を持ったところは自分で調べる	120	分
	No3	スポーツビジネスの歴史を学ぶ	いかにしてスポーツはビジネスとなってきたのか、その生成過程を知る		
		【予習内容】 Preparation	事前の質問について調べる	120	分
		【復習内容】 Review	授業資料をもう一度見直す 興味を持ったところは自分で調べる	120	分
	No4	するスポーツの現状を様々な数字から読み解くⅠ	現在の社会においてスポーツはどのような位置を占めているか。「する」の視点から知る		
		【予習内容】 Preparation	事前の質問について調べる	120	分
		【復習内容】 Review	授業資料をもう一度見直す 興味を持ったところは自分で調べる	120	分

【授業計画】
Course Schedule

No5	するスポーツの現状を様々な数字から読み解くⅡ	現在の社会においてスポーツはどのような位置を占めているか。「する」の視点から知る（続き）		
	【予習内容】 Preparation	事前の質問について調べる	120	分
	【復習内容】 Review	授業資料をもう一度見直す 興味を持ったところは自分で調べる	120	分
	No6	見るスポーツの現状を様々な数字から読み解く	現在の社会においてスポーツはどのような位置を占めているか。「みる」の視点から知る	
		【予習内容】 Preparation	120	分
		【復習内容】 Review	120	分
	No7	スポーツイベントを支える施設について知る	「みる」、「する」スポーツにとって競技場、スタジアム、アリーナは大切なインフラである。 現在の状況について知る	
		【予習内容】 Preparation	120	分
		【復習内容】 Review	120	分
	No8	前半を振り返る 確認のための中間テストを行う	これまでの授業を改めて復習し確認のためのテストを行う	
		【予習内容】 Preparation	120	分
		【復習内容】 Review	120	分
	No9	スポーツイベントの経済効果について学ぶ	スポーツイベントが世の中にどのような影響を与えているか、経済の視点から学ぶ	
		【予習内容】 Preparation	120	分
		【復習内容】 Review	120	分
	No10	スポーツイベントの企画・運営とリスクについて学ぶ	スポーツイベントを実施担当者としての視点でどのように進めていけばよいか、リスクにはどのようなものがあり防ぐにはどうすればよいかを学ぶ	
		【予習内容】 Preparation	120	分
		【復習内容】 Review	120	分

	No11	スポーツイベントビジネスの構造を学ぶ	スポーツの持っている・生み出す価値はなにか。その価値をいかにビジネスに変換していくのかについて学ぶ		
		【予習内容】 Preparation	事前の質問について調べる	120	分
		【復習内容】 Review	授業資料をもう一度見直す 興味を持ったところは自分で調べる	120	分
	No12	スポーツイベントに関わる知的財産権について知る	知的財産権について基本的な知識を身に付け、それを活用したマーケティングについて学ぶ		
		【予習内容】 Preparation	事前の質問について調べる	120	分
		【復習内容】 Review	授業資料をもう一度見直す 興味を持ったところは自分で調べる	120	分
	No13	スポーツイベントのマーケティングについて学ぶ	スポーツイベントの価値を最大化するマーケティングについて具体的事例を通して学ぶ		
		【予習内容】 Preparation	事前の質問について調べる	120	分
		【復習内容】 Review	授業資料をもう一度見直す	120	分
	No14	スポーツイベントのスポンサーシップについて学ぶ	マーケティング視点で企業のスポーツのスポンサーシップについて学ぶ		
		【予習内容】 Preparation	事前の質問について調べる	120	分
		【復習内容】 Review	授業資料をもう一度見直す 興味を持ったところは自分で調べる	120	分

分野系列 Area of Study	応用科目
カリキュラム Curriculum	経営学部 イベント(留学2023)、経営学部 イベント(2023)
配当学年（履修対象） Year of Study	2 年
講義名 Name of Subject	スポーツイベント論Ⅱ E-K
講義名（英語表記） Name of Subject (English)	Sporting Events Theory II
担当教員 Instructor	佐藤 潤
必修／選択 Compulsory／Elective	なし
開講期 Course Period	秋(後)期
単位数 Credits	2
実務経験のある教員 (実務経験と授業内容の関係)	スポーツビジネスに20年以上の長い経験を有する教員が、スポーツイベントに関わる様々な現状・課題について、スポーツマーケティング、スポーツマネジメントの視点より分かりやすく講義します。

【授業概要・本科目で取り扱うテーマ】 Course Description	春学期の講義を踏まえて様々なタイプのスポーツイベントのビジネス構造や今後の可能性についていろいろな視点を通して学ぶ							
【到達目標】 Course Objectives	代表的なプロスポーツイベントビジネス（野球、サッカー、ゴルフ、相撲）について他競技と相互比較をしながらその競技特性を理解しそれぞれのビジネスの構造について知る							
	三大メガスポートイベントといわれるオリンピック、FIFAワールドカップサッカー、ラグビーワールドカップについてその歴史と現状、可能性と課題について知る							
	スポーツIT、スポーツツーリズムなどスポーツビジネスの新潮流現状との課題、これからの可能性について知る							
【履修条件・受講推奨者】 Course Conditions	スポーツが好きな人、スポーツイベント・ビジネスに興味がある人							
【教育方法】 Teaching Method	教員が準備したオリジナル資料をベースに講義形式で行う。必要に応じて課題を出しインタラクティブに授業を進めていく。							
【指定教科書・参考資料等】 Textbooks ・ Reference Books	特になし。推薦図書については授業の中で紹介する。							
【実務 I Q 修得目標】 Learning objective based on practical applicability	自制力 self-control		思考力 ability to think	○	突破力 The power to break		忍耐力 endurance	
	協働力 ability to cooperate		主張力 assertiveness	○	創造力 creativity			

【成績評価・評価上の留意事項（試験方法、単位修得要件）】 Evaluation	評価項目と割合			評価方法	
	毎授業後のリアクションペーパー	4	5	リアクションペーパーは講義の内容を踏まえた自分の考えと裏付け根拠を提示すること。	
	中間試験	2	0		
	期末試験	3	5		
	合計	1	0	0	%
【その他の注意事項】 Others	授業にはリスペクトを持って、受け身でなく積極的な態度で臨むこと。				
	【週】 Week	【テーマ】 Theme	【学習内容】 Study Contents		
	No1	ガイダンス：「スポーツイベント」の概略を知る	イベントにおけるスポーツの位置づけ、スポーツイベント業界について知る		
		【予習内容】 Preparation	事前の質問について調べる	120	分
		【復習内容】 Review	授業資料をもう一度見直す 興味を持ったところは自分で調べる	120	分
	No2	プロスポーツビジネスの構造Ⅰ（野球型）	日本を代表するプロスポーツである「野球」についてそのビジネスの構造について学ぶ		
		【予習内容】 Preparation	事前の質問について調べる	120	分
		【復習内容】 Review	授業資料をもう一度見直す 興味を持ったところは自分で調べる	120	分
	No3	プロスポーツビジネスの構造Ⅱ（サッカー型）	日本を代表するプロスポーツである「サッカー」についてそのビジネスの構造について学ぶ		
		【予習内容】 Preparation	事前の質問について調べる	120	分
		【復習内容】 Review	授業資料をもう一度見直す 興味を持ったところは自分で調べる	120	分
	No4	プロスポーツビジネスの構造Ⅲ（ゴルフ型）	個人競技で日本を代表するプロスポーツである「ゴルフ」についてそのビジネスの構造について学ぶ		
		【予習内容】 Preparation	事前の質問について調べる	120	分
		【復習内容】 Review	授業資料をもう一度見直す 興味を持ったところは自分で調べる	120	分

【授業計画】
Course Schedule

No5	プロスポーツビジネスの構造Ⅳ（相撲型）	日本の「国技」と称されるプロスポーツである「相撲」についてそのビジネスの構造について学ぶ		
	【予習内容】 Preparation	事前の質問について調べる	120	分
	【復習内容】 Review	授業資料をもう一度見直す 興味を持ったところは自分で調べる	120	分
	No6	三大メガスポーツイベント「オリンピック」について学ぶⅠ	世界の3大メガスポーツイベントの中で最大といわれる「オリンピック」について学ぶ	
		【予習内容】 Preparation	事前の質問について調べる	120 分
		【復習内容】 Review	授業資料をもう一度見直す 興味を持ったところは自分で調べる	120 分
	No7	三大メガスポーツイベント「オリンピック」について学ぶⅡ	世界の3大メガスポーツイベントの中で最大といわれる「オリンピック」について学ぶ（続）	
		【予習内容】 Preparation	事前の質問について調べる	120 分
		【復習内容】 Review	授業資料をもう一度見直す 興味を持ったところは自分で調べる	120 分
	No8	三大メガスポーツイベント「FIFAワールドカップ」について学ぶ	「オリンピック」と並ぶ世界最大級のスポーツイベントである「FIFAワールドカップサッカー」について学ぶ	
		【予習内容】 Preparation	事前の質問について調べる	120 分
		【復習内容】 Review	授業資料をもう一度見直す 興味を持ったところは自分で調べる	120 分
	No9	三大メガスポーツイベントⅢ：ラグビーワールドカップについて学ぶ	日本でも注目が高くなった「ラグビーワールドカップ」について学ぶ	
		【予習内容】 Preparation	事前の質問について調べる	120 分
		【復習内容】 Review	授業資料をもう一度見直す 興味を持ったところは自分で調べる	120 分
	No10	前半を振り返る 確認のための中間テストを行う	これまでの授業を改めて復習し確認のためのテストを行う	
		【予習内容】 Preparation	事前の質問について調べる	120 分
		【復習内容】 Review	授業資料をもう一度見直す 興味を持ったところは自分で調べる	120 分

	No11	スポーツメディアについて学ぶⅠ	スポーツの発展にメディアはどのような役割を果たしてきたか　メディアの歴史を知り、現在の状況と今後の変化について学ぶ		
		【予習内容】 Preparation	事前の質問について調べる	120	分
		【復習内容】 Review	授業資料をもう一度見直す　興味を持ったところは自分で調べる	120	分
	No12	スポーツメディアについて学ぶⅡ	スポーツの発展にメディアはどのような役割を果たしてきたか　メディアの歴史を知り、現在の状況と今後の変化について学ぶ（続）		
		【予習内容】 Preparation	事前の質問について調べる	120	分
		【復習内容】 Review	授業資料をもう一度見直す　興味を持ったところは自分で調べる	120	分
	No13	スポーツツーリズムについて学ぶ	近年注目を集めるインバウンドのうちスポーツツーリズムについて学ぶ		
		【予習内容】 Preparation	事前の質問について調べる	120	分
		【復習内容】 Review	授業資料をもう一度見直す	120	分
	No14	これからのスポーツイベントの展望と課題	今後のスポーツにの発展を考えるに際し現状と課題について学ぶ		
		【予習内容】 Preparation	事前の質問について調べる	120	分
		【復習内容】 Review	授業資料をもう一度見直す　興味を持ったところは自分で調べる	120	分

分野系列 Area of Study	発展科目
カリキュラム Curriculum	経営学部 イベント(留学2022)、経営学部 イベント(2022)、経営学部 イベント(留学2021)、経営学部 イベント(2021)、経営学部 イベント(留学2020)、経営学部 イベント(2020)、経営学部 イベント(留学2019)、経営学部 イベント(2019)、経営学部 イベント(留学2018)、経営学部 イベント(2018)
配当学年（履修対象） Year of Study	2 年
講義名 Name of Subject	イベントキャリア E-K
講義名（英語表記） Name of Subject (English)	Events & Career Advancement
担当教員 Instructor	佐藤 友紀子
必修／選択 Compulsory／Elective	選択必修
開講期 Course Period	秋(後)期
単位数 Credits	2
実務経験のある教員 (実務経験と授業内容の関係)	担当教員は、イベント制作会社に約6年勤務し、その後もイベント制作の知識を活かし様々な企業で勤めた経験を有します。 その実務経験を活かし、キャリアの考え方について講義します。

【授業概要・本科目で取り扱うテーマ】 Course Description	テーマ：「イベントのいろは」 概要： イベントと一言で言っても、その内容は様々。音楽・スポーツイベントなどが目につきがちですが、実際には発表会や展示会、企業の会議・コンベンションやパーティなど毎日様々なイベントが行われています。目的や課題に応じて、イベントの種類やその内容は大きく違ってきます。当プロフェッショナルセミナーでは、それぞれのイベントに必要なモノ・コトについての知識や、イベントの違いや特性などについて学ぶことで、課題を解決する手段としての「イベント」に対する理解を深めます。その後、社会に出た時に即戦力となれるよう、発想力・プレゼン力・協同力をより一層高めていくことを目指します。
【到達目標】 Course Objectives	【チームワークの重要性を知り、承認力を身に付ける】 ・具体的な課題への期限のある作業を通し、役割分担やサポートの大切さに気付く。 ・ひとつの事象に対して感じることは人それぞれ。それを否定せず認め合いながら自分の発想の糧にできる。 【PC作業力・想像力・発想力・プレゼンテーション力を育む】 ・イベントの種類に応じたプランニングのための情報収集とアイデア出しができ、自分のアイデア・企画を、わかりやすく、共感をもって伝えられる力を身に付ける。 ・座学で学んだ企画・演出・運営のポイントを理解しながらプランニング～資料作成～プレゼンテーションができる。 【自分が目指すキャリアのビジョンを表現できる】 目指す目標について考え、自分の言葉で表現する。
【履修条件・受講推奨者】 Course Conditions	◇幅広いイベントに興味を持ち、自身の将来について真剣に考えること。 ◇講義内で行うワークやディスカッションに積極的に参加できること。
【教育方法】 Teaching Method	講義ではスライドを使用し、イベント業界の仕事について学びます。 またワークも取り入れ、業種同士の関係や仕事内容について理解を深めていきます。
【指定教科書・参考資料等】 Textbooks ・ Reference Books	◇教科書は使用せず。必要に応じて資料配布する。
【実務 I Q 修得目標】 Learning objective based on practical applicability	自制力 self-control 思考力 ability to think ○ 突破力 The power to break ○ 忍耐力 endurance ○ 協働力 ability to cooperate ○ 主張力 assertiveness ○ 創造力 creativity

【成績評価・評価上の留意事項（試験方法、単位修得要件）】 Evaluation	評価項目と割合		評価方法	
	【イベントに携わる業種の種類について理解する】 授業中に行う質疑応答、ワーク、本試験の設問に対する回答によって評価。	30%	70%以上の出席を前提として、 授業態度30%、期末試験70% 講義への積極的な参加姿勢・ワークへの取り組みなど含め、総合的な学習成果に基づいて評価します。	
	【イベントに携わる人の役割・関係を理解する】 授業中に行う質疑応答、ワーク、本試験の設問に対する回答によって評価。	30%		
	【自分が目指すキャリアのビジョンを表現できる】 授業中に行う質疑応答、ワーク、本試験の設問に対する回答によって評価。	40%		
	合計		100%	

【その他の注意事項】 Others	◇講義中、他者に迷惑となる行為（私語等）厳に禁止する。講義に関係のない携帯電話の使用（メール・ウェブの閲覧も含む）もご遠慮ください。 ◇授業に使用する一部スライドの撮影はできません。また、スライドの配布はいたしません。			
----------------------	--	--	--	--

	【週】 Week	【テーマ】 Theme	【学習内容】 Study Contents		
	No1	イントロダクション	イベントの種類とそれに関わる業種		
	【予習内容】 Preparation	イベントに関係する仕事について考察	120	分	
	【復習内容】 Review	当該講義内容について	120	分	
	No2	イベントの基礎	イベント制作の基本的な流れ（事業の発生～役割分担）		
	【予習内容】 Preparation	自身がイベント関連の仕事に勤めた想定で、誰に仕事を依頼し、依頼されるかを考察	120	分	
	【復習内容】 Review	当該講義内容について	120	分	
	No3	イベントに関わる会社（1）	施工会社の仕事・役割		
	【予習内容】 Preparation	イベントにおける施工の仕事・役割について考察	120	分	
	【復習内容】 Review	当該講義内容について	120	分	
	No4	イベントに関わる会社（2）	音響会社の仕事・役割		
	【予習内容】 Preparation	イベントにおける音響の仕事・役割について考察	120	分	
【復習内容】 Review	当該講義内容について	120	分		

【授業計画】
Course Schedule

No5	イベントに関わる会社 (3)	照明会社の仕事・役割		
	【予習内容】 Preparation	イベントにおける照明の仕事・役割について考察	120	分
	【復習内容】 Review	当該講義内容について	120	分
	イベントに関わる会社 (4)	モデル・コンパニオン手配会社の仕事・役割		
	【予習内容】 Preparation	イベントにおけるモデル・コンパニオンの仕事・役割について考察	120	分
	【復習内容】 Review	当該講義内容について	120	分
	イベントに関わる会社 (5)	WEB関連会社の仕事・役割		
	【予習内容】 Preparation	イベントにおけるWEB関連の仕事・役割について考察	120	分
	【復習内容】 Review	当該講義内容について	120	分
	イベントに関わる会社 (6)	運営会社の仕事・役割		
	【予習内容】 Preparation	イベントにおける運営の仕事・役割について考察	120	分
	【復習内容】 Review	当該講義内容について	120	分
No9	イベントに関わる会社 (7)	広告代理店の仕事・役割		
	【予習内容】 Preparation	イベントにおける広告代理店の仕事・役割について考察	120	分
	【復習内容】 Review	当該講義内容について	120	分
	イベントに関わる会社 (8)	施設の仕事・役割		
No10	【予習内容】 Preparation	イベントにおける施設の仕事・役割について考察	120	分
	【復習内容】 Review	当該講義内容について	120	分

	No11	イベントに関わる会社（9）	その他のイベントに関わる仕事（ケータリング、芸能事務所、レンタル会社など）		
		【予習内容】 Preparation	イベントにおけるケータリング・芸能事務所・レンタル会社の仕事について考察	120	分
		【復習内容】 Review	当該講義内容について	120	分
	No12	イベントに関わる会社（10）	その他のイベントに関わる仕事（SP制作、印刷会社、デザイナーなど）		
		【予習内容】 Preparation	イベントにおけるSP制作・印刷会社・デザイナーの仕事について考察	120	分
		【復習内容】 Review	当該講義内容について	120	分
	No13	イベント業界の成功・失敗	業界でよくあるやり取り、成功・失敗例、社会人としてのマナー		
		【予習内容】 Preparation	アルバイト・部活などにおける自身の成功・失敗体験について考察	120	分
		【復習内容】 Review	当該講義内容について	120	分
	No14	ネットワーク形成	人間関係を作る大切さ、今後のキャリア形成		
		【予習内容】 Preparation	自身の将来の目標、好きなことについて今一度考える	120	分
		【復習内容】 Review	当該講義内容について	120	分

分野系列 Area of Study	発展科目
カリキュラム Curriculum	経営学部 イベント(留学2023)、経営学部 イベント(2023)
配当学年（履修対象） Year of Study	2 年
講義名 Name of Subject	イベントキャリア論 E-K
講義名（英語表記） Name of Subject (English)	Events & Career Advancement Theory
担当教員 Instructor	佐藤 友紀子
必修／選択 Compulsory／Elective	選択必修
開講期 Course Period	秋(後)期
単位数 Credits	2
実務経験のある教員 (実務経験と授業内容の関係)	担当教員は、イベント制作会社に約6年勤務し、その後もイベント制作の知識を活かし様々な企業で働いた経験を有します。 その実務経験を活かし、キャリアの考え方について講義します。

【授業概要・本科目で取り扱うテーマ】 Course Description	テーマ：「イベントのいろは」 概要： イベントと言っても、その内容は様々。音楽・スポーツイベントなどが目につきがちですが、実際には発表会や展示会、企業の会議・コンベンションやパーティなど毎日様々なイベントが行われています。目的や課題に応じて、イベントの種類やその内容は大きく違ってきます。当プロフェッショナルセミナーでは、それぞれのイベントに必要なモノ・コトについての知識や、イベントの違いや特性などについて学ぶことで、課題を解決する手段としての「イベント」に対する理解を深めます。その後、社会に出た時に即戦力となれるよう、発想力・プレゼン力・協同力をより一層高めていくことを目指します。
【到達目標】 Course Objectives	【チームワークの重要性を知り、承認力を身に付ける】 ・具体的な課題への期限のある作業を通し、役割分担やサポートの大切さに気付く。 ・ひとつの事象に対して感じることは人それぞれ。それを否定せず認め合いながら自分の発想の糧にできる。 【PC作業力・想像力・発想力・プレゼンテーション力を育む】 ・イベントの種類に応じたプランニングのための情報収集とアイディア出しができ、 自分のアイディア・企画を、わかりやすく、共感をもって伝えられる力を身に付ける。 ・座学で学んだ企画・演出・運営のポイントを理解しながらプランニング～資料作成～プレゼンテーションができる。 【自分が目指すキャリアのビジョンを表現できる】 目指す目標について考え、自分の言葉で表現する。
【履修条件・受講推奨者】 Course Conditions	◇幅広いイベントに興味を持ち、自身の将来について真剣に考えること。 ◇講義内で行うワークやディスカッションに積極的に参加できること。
【教育方法】 Teaching Method	講義ではスライドを使用し、イベント業界の仕事について学びます。 またワークも取り入れ、業種同士の関係や仕事内容について理解を深めていきます。
【指定教科書・参考資料等】 Textbooks ・ Reference Books	◇教科書は使用せず。必要に応じて資料配布する。
【実務 I Q 修得目標】 Learning objective based on practical applicability	自制力 self-control 思考力 ability to think ○ 突破力 The power to break ○ 忍耐力 endurance ○ 協働力 ability to cooperate ○ 主張力 assertiveness ○ 創造力 creativity

【成績評価・評価上の留意事項（試験方法、単位修得要件）】 Evaluation	評価項目と割合		評価方法		
	【イベントに携わる業種の種類について理解する】 授業中に行う質疑応答、ワーク、本試験の設問に対する回答によって評価。	30%	70%以上の出席を前提として、 授業態度30%、期末試験70% 講義への積極的な参加姿勢・ワークへの取り組みなど含め、総合的な学習成果に基づいて評価します。		
	【イベントに携わる人の役割・関係を理解する】 授業中に行う質疑応答、ワーク、本試験の設問に対する回答によって評価。	30%			
	【自分が目指すキャリアのビジョンを表現できる】 授業中に行う質疑応答、ワーク、本試験の設問に対する回答によって評価。	40%			
	合計		100%		
【その他の注意事項】 Others					
	◇講義中、他者に迷惑となる行為（私語等）厳に禁止する。講義に関係のない携帯電話の使用（メール・ウェブの閲覧も含む）もご遠慮ください。 ◇授業に使用する一部スライドの撮影はできません。また、スライドの配布はいたしません。				
	【週】 Week	【テーマ】 Theme	【学習内容】 Study Contents		
	No1	イントロダクション	イベントの種類とそれに関わる業種		
		【予習内容】 Preparation	イベントに関係する仕事について考察	120	分
		【復習内容】 Review	当該講義内容について	120	分
	No2	イベントの基礎	イベント制作の基本的な流れ（事業の発生～役割分担）		
		【予習内容】 Preparation	自身がイベント関連の仕事に勤めた想定で、誰に仕事を依頼し、依頼されるかを考察	120	分
		【復習内容】 Review	当該講義内容について	120	分
	No3	イベントに関わる会社（1）	施工会社の仕事・役割		
		【予習内容】 Preparation	イベントにおける施工の仕事・役割について考察	120	分
		【復習内容】 Review	当該講義内容について	120	分
	No4	イベントに関わる会社（2）	音響会社の仕事・役割		
		【予習内容】 Preparation	イベントにおける音響の仕事・役割について考察	120	分
		【復習内容】 Review	当該講義内容について	120	分

【授業計画】
Course Schedule

No5	イベントに関わる会社（3）	照明会社の仕事・役割		
	【予習内容】 Preparation	イベントにおける照明の仕事・役割について考察	120	分
	【復習内容】 Review	当該講義内容について	120	分
	イベントに関わる会社（4）	モデル・コンパニオン手配会社の仕事・役割		
	【予習内容】 Preparation	イベントにおけるモデル・コンパニオンの仕事・役割について考察	120	分
	【復習内容】 Review	当該講義内容について	120	分
	イベントに関わる会社（5）	WEB関連会社の仕事・役割		
	【予習内容】 Preparation	イベントにおけるWEB関連の仕事・役割について考察	120	分
	【復習内容】 Review	当該講義内容について	120	分
	イベントに関わる会社（6）	運営会社の仕事・役割		
	【予習内容】 Preparation	イベントにおける運営の仕事・役割について考察	120	分
	【復習内容】 Review	当該講義内容について	120	分
No9	イベントに関わる会社（7）	広告代理店の仕事・役割		
	【予習内容】 Preparation	イベントにおける広告代理店の仕事・役割について考察	120	分
	【復習内容】 Review	当該講義内容について	120	分
	イベントに関わる会社（8）	施設の仕事・役割		
No10	【予習内容】 Preparation	イベントにおける施設の仕事・役割について考察	120	分
	【復習内容】 Review	当該講義内容について	120	分

	No11	イベントに関わる会社（9）	その他のイベントに関わる仕事（ケータリング、芸能事務所、レンタル会社など）		
		【予習内容】 Preparation	イベントにおけるケータリング・芸能事務所・レンタル会社の仕事について考察	120	分
		【復習内容】 Review	当該講義内容について	120	分
	No12	イベントに関わる会社（10）	その他のイベントに関わる仕事（SP制作、印刷会社、デザイナーなど）		
		【予習内容】 Preparation	イベントにおけるSP制作・印刷会社・デザイナーの仕事について考察	120	分
		【復習内容】 Review	当該講義内容について	120	分
	No13	イベント業界の成功・失敗	業界でよくあるやり取り、成功・失敗例、社会人としてのマナー		
		【予習内容】 Preparation	アルバイト・部活などにおける自身の成功・失敗体験について考察	120	分
		【復習内容】 Review	当該講義内容について	120	分
	No14	ネットワーク形成	人間関係を作る大切さ、今後のキャリア形成		
		【予習内容】 Preparation	自身の将来の目標、好きなことについて今一度考える	120	分
		【復習内容】 Review	当該講義内容について	120	分

分野系列 Area of Study	発展科目
カリキュラム Curriculum	経営学部 イベント(留学2022)、経営学部 イベント(2022)、経営学部 イベント(留学2021)、経営学部 イベント(2021)、経営学部 イベント(留学2020)、経営学部 イベント(2020)、経営学部 イベント(留学2019)、経営学部 イベント(2019)、経営学部 イベント(留学2018)、経営学部 イベント(2018)
配当学年（履修対象） Year of Study	2 年
講義名 Name of Subject	イベント実施運営 E-A
講義名（英語表記） Name of Subject (English)	Practical Event Operation
担当教員 Instructor	佐藤 友紀子
必修／選択 Compulsory／Elective	選択必修
開講期 Course Period	春(前)期
単位数 Credits	2
実務経験のある教員 (実務経験と授業内容の関係)	実際に、展示会・PRイベントなど様々なイベントを実施した経験のある教員が講義を行う。実際の事例を使いながら企画・運営のポイントを示し、スムーズな運営を行うために必要な細部に気付く力・想像力を養う。

【授業概要・本科目で取り扱うテーマ】 Course Description	テーマ：「イベントのいろは」 概要： イベントと一言で言っても、その内容は様々。音楽・スポーツイベントなどが目につきがちですが、実際には発表会や展示会、企業の会議・コンベンションやパーティなど毎日様々なイベントが行われています。目的や課題に応じて、イベントの種類やその内容は大きく違ってきます。当プロフェッショナルセミナーでは、それぞれのイベントに必要なモノ・コトについての知識や、イベントの違いや特性などについて学ぶことで、課題を解決する手段としての「イベント」に対する理解を深めます。その後、社会に出た時に即戦力となれるよう、発想力・プレゼン力・協同力をより一層高めていくことを目指します。
【到達目標】 Course Objectives	【チームワークの重要性を知り、承認力を身に付ける】 ・具体的な課題への期限のある作業を通し、役割分担やサポートの大切さに気付く。 ・ひとつの事象に対して感じることは人それぞれ。それを否定せず認め合いながら自分の発想の糧にできる。 【PC作業力・想像力・発想力・プレゼンテーション力を育む】 ・イベントの種類に応じたプランニングのための情報収集とアイデア出しができ、自分のアイデア・企画を、わかりやすく、共感をもって伝えられる力を身に付ける。 ・座学で学んだ企画・演出・運営のポイントを理解しながらプランニング～資料作成～プレゼンテーションができる。 【イベント実施運営の構成要素について発想・企画ができる】 イベントを企画する上で基本となる構成要素に基づいて、アイデア発想したり最適な会場・手法の提案ができる。
【履修条件・受講推奨者】 Course Conditions	◇幅広くイベントに興味を持ち、特にイベントの「運営」の仕組みを知りたいと考えていること。 ◇講義内で行うワークやディスカッションに積極的に参加できること。
【教育方法】 Teaching Method	講義ではスライドを使用し、イベント実施運営の基本を学びます。 またワークも取り入れ、実践に近いかたちでイベント運営のポイントを押さえていきます。
【指定教科書・参考資料等】 Textbooks ・ Reference Books	◇教科書は使用せず。必要に応じて資料配布する。

【実務 I Q 修得目標】 Learning objective based on practical applicability	<table><tr><td>自制力 self-control</td><td></td><td>思考力 ability to think</td><td>○</td><td>突破力 The power to break</td><td>○</td><td>忍耐力 endurance</td><td></td></tr><tr><td>協働力 ability to cooperate</td><td>○</td><td>主張力 assertiveness</td><td></td><td>創造力 creativity</td><td>○</td><td colspan="2"></td></tr></table>	自制力 self-control		思考力 ability to think	○	突破力 The power to break	○	忍耐力 endurance		協働力 ability to cooperate	○	主張力 assertiveness		創造力 creativity	○																																			
自制力 self-control		思考力 ability to think	○	突破力 The power to break	○	忍耐力 endurance																																												
協働力 ability to cooperate	○	主張力 assertiveness		創造力 creativity	○																																													
【成績評価・評価上の留意事項（試験方法、単位修得要件）】 Evaluation	<table><tr><td colspan="5">評価項目と割合</td><td colspan="3">評価方法</td></tr><tr><td colspan="5">【イベント全体像を想像・把握・理解できる】 授業中に行う質疑応答、ワーク、小テスト、本試験の設問に対する回答によって評価。</td><td>35%</td><td colspan="2" rowspan="4">70%以上の出席を前提として、 授業態度30%、提出物10%、期末試験60% 講義への積極的な参加姿勢・ワークへの取り組みなど含め、総合的な学習成果に基づいて評価します。</td></tr><tr><td colspan="5">【イベント実施運営において必要となる対応が考えられる】 授業中に行う質疑応答、ワーク、小テスト、本試験の設問に対する回答によって評価。</td><td>35%</td></tr><tr><td colspan="5">【イベント実施運営の構成要素について発想・企画ができる】 授業中に行う質疑応答、ワーク、小テスト、本試験の設問に対する回答によって評価。</td><td>30%</td></tr><tr><td colspan="5">合計</td><td>100%</td></tr></table>	評価項目と割合					評価方法			【イベント全体像を想像・把握・理解できる】 授業中に行う質疑応答、ワーク、小テスト、本試験の設問に対する回答によって評価。					35%	70%以上の出席を前提として、 授業態度30%、提出物10%、期末試験60% 講義への積極的な参加姿勢・ワークへの取り組みなど含め、総合的な学習成果に基づいて評価します。		【イベント実施運営において必要となる対応が考えられる】 授業中に行う質疑応答、ワーク、小テスト、本試験の設問に対する回答によって評価。					35%	【イベント実施運営の構成要素について発想・企画ができる】 授業中に行う質疑応答、ワーク、小テスト、本試験の設問に対する回答によって評価。					30%	合計					100%															
評価項目と割合					評価方法																																													
【イベント全体像を想像・把握・理解できる】 授業中に行う質疑応答、ワーク、小テスト、本試験の設問に対する回答によって評価。					35%	70%以上の出席を前提として、 授業態度30%、提出物10%、期末試験60% 講義への積極的な参加姿勢・ワークへの取り組みなど含め、総合的な学習成果に基づいて評価します。																																												
【イベント実施運営において必要となる対応が考えられる】 授業中に行う質疑応答、ワーク、小テスト、本試験の設問に対する回答によって評価。					35%																																													
【イベント実施運営の構成要素について発想・企画ができる】 授業中に行う質疑応答、ワーク、小テスト、本試験の設問に対する回答によって評価。					30%																																													
合計					100%																																													
【その他の注意事項】 Others	◇講義中、他者に迷惑となる行為（私語等）厳に禁止する。講義に関係のない携帯電話の使用（メール・ウェブの閲覧も含む）もご遠慮ください。 ◇ 授業に使用する一部スライドの撮影はできません。また、スライドの配布はいたしません。																																																	
	<table><tr><td>【週】 Week</td><td>【テーマ】 Theme</td><td colspan="3">【学習内容】 Study Contents</td></tr><tr><td rowspan="3">No1</td><td rowspan="3">ガイダンス</td><td colspan="3">イベントにおける実施運営の大切さ</td></tr><tr><td>【予習内容】 Preparation</td><td>自身が参加したイベントについて考察する</td><td>120分</td></tr><tr><td>【復習内容】 Review</td><td>当該講義内容について</td><td>120分</td></tr><tr><td rowspan="3">No2</td><td rowspan="3">6W2Hの考え方①</td><td colspan="3">イベントの基本構造</td></tr><tr><td>【予習内容】 Preparation</td><td>5W1Hについて</td><td>120分</td></tr><tr><td>【復習内容】 Review</td><td>当該講義内容について</td><td>120分</td></tr><tr><td rowspan="3">No3</td><td rowspan="3">6W2Hの考え方②</td><td colspan="3">イベントの基本構造 ～ 企画の考え方</td></tr><tr><td>【予習内容】 Preparation</td><td>自身が参加したイベントを6W2Hに当てはめ、なぜそう組み立てられたか理由を考察する</td><td>120分</td></tr><tr><td>【復習内容】 Review</td><td>当該講義内容について</td><td>120分</td></tr><tr><td rowspan="3">No4</td><td rowspan="3">企画を実現するために①</td><td colspan="3">不可能を可能にするために ～ 企画の実現に向けて考えること</td></tr><tr><td>【予習内容】 Preparation</td><td>考えた企画を実現するためには何を解決しなくてはならないかを考察</td><td>120分</td></tr><tr><td>【復習内容】 Review</td><td>当該講義内容について</td><td>120分</td></tr></table>	【週】 Week	【テーマ】 Theme	【学習内容】 Study Contents			No1	ガイダンス	イベントにおける実施運営の大切さ			【予習内容】 Preparation	自身が参加したイベントについて考察する	120分	【復習内容】 Review	当該講義内容について	120分	No2	6W2Hの考え方①	イベントの基本構造			【予習内容】 Preparation	5W1Hについて	120分	【復習内容】 Review	当該講義内容について	120分	No3	6W2Hの考え方②	イベントの基本構造 ～ 企画の考え方			【予習内容】 Preparation	自身が参加したイベントを6W2Hに当てはめ、なぜそう組み立てられたか理由を考察する	120分	【復習内容】 Review	当該講義内容について	120分	No4	企画を実現するために①	不可能を可能にするために ～ 企画の実現に向けて考えること			【予習内容】 Preparation	考えた企画を実現するためには何を解決しなくてはならないかを考察	120分	【復習内容】 Review	当該講義内容について	120分
【週】 Week	【テーマ】 Theme	【学習内容】 Study Contents																																																
No1	ガイダンス	イベントにおける実施運営の大切さ																																																
		【予習内容】 Preparation	自身が参加したイベントについて考察する	120分																																														
		【復習内容】 Review	当該講義内容について	120分																																														
No2	6W2Hの考え方①	イベントの基本構造																																																
		【予習内容】 Preparation	5W1Hについて	120分																																														
		【復習内容】 Review	当該講義内容について	120分																																														
No3	6W2Hの考え方②	イベントの基本構造 ～ 企画の考え方																																																
		【予習内容】 Preparation	自身が参加したイベントを6W2Hに当てはめ、なぜそう組み立てられたか理由を考察する	120分																																														
		【復習内容】 Review	当該講義内容について	120分																																														
No4	企画を実現するために①	不可能を可能にするために ～ 企画の実現に向けて考えること																																																
		【予習内容】 Preparation	考えた企画を実現するためには何を解決しなくてはならないかを考察	120分																																														
		【復習内容】 Review	当該講義内容について	120分																																														

No5	企画を実現するために②	不可能を可能にするために ～ 事前のトラブル回避		
	【予習内容】 Preparation	イベントにおいて考えられるトラブルを考察	120	分
	【復習内容】 Review	当該講義内容について	120	分
No6	イベント会場の選定	イベント会場の種類と考え方		
	【予習内容】 Preparation	自身が参加したイベントの「会場」について、なぜその会場だったのかを考察	120	分
	【復習内容】 Review	当該講義内容について	120	分
No7	受付の考え方	スムーズな受付業務とは		
	【予習内容】 Preparation	自身が体験した「受付」について、受付方法やスムーズさなど受付業務の流れを考察	120	分
	【復習内容】 Review	当該講義内容について	120	分
No8	客席の考え方	スクール、シアター、着席、ビュッフェの違いと目的		
	【予習内容】 Preparation	自身が参加したイベントの「席の作り」について、なぜその形だったのかについて考察	120	分
	【復習内容】 Review	当該講義内容について	120	分
No9	イベント現場のスタッフ	イベントに関わるスタッフの種類と違い		
	【予習内容】 Preparation	自身が参加したイベントで見かけた・接したスタッフの業務について考察	120	分
	【復習内容】 Review	当該講義内容について	120	分
No10	キャスティング	イベントゲストの選定と交渉		
	【予習内容】 Preparation	自身が参加したイベントや観た番組などに有名人が出演した経緯・交渉について考察	120	分
	【復習内容】 Review	当該講義内容について	120	分

	No11	実施計画①	実施計画の考え方 ～ 企画書の内容を現実にして考えてみる		
		【予習内容】 Preparation	自身が参加したイベント等で、ストレスを感じた様々な事象について思い返し、考察	120	分
		【復習内容】 Review	当該講義内容について	120	分
	No12	実施計画②	実施計画の考え方 ～ 企画の実現に向けて必要な資料		
		【予習内容】 Preparation	自身が参加したイベント等で見かけた、スタッフが配置されている箇所について考察	120	分
		【復習内容】 Review	当該講義内容について	120	分
	No13	運営マニュアル①	運営マニュアル制作 ～ なぜ運営マニュアルが必要なのか		
		【予習内容】 Preparation	運営マニュアルがある理由について考察	120	分
		【復習内容】 Review	当該講義内容について	120	分
	No14	運営マニュアル②	運営マニュアル制作 ～ 運営マニュアルの内容		
		【予習内容】 Preparation	自身のバイト先などにある教育マニュアルを思い返し、項目・内容について考察	120	分
		【復習内容】 Review	当該講義内容、これまでの講義内容について	120	分

分野系列 Area of Study	発展科目
カリキュラム Curriculum	経営学部 イベント(留学2023)、経営学部 イベント(2023)
配当学年（履修対象） Year of Study	2 年
講義名 Name of Subject	イベント実施運営論 E-A
講義名（英語表記） Name of Subject (English)	Practical Event Operation
担当教員 Instructor	佐藤 友紀子
必修／選択 Compulsory／Elective	選択必修
開講期 Course Period	春(前)期
単位数 Credits	2
実務経験のある教員 (実務経験と授業内容の関係)	実際に、展示会・PRイベントなど様々なイベントを実施した経験のある教員が講義を行う。実際の事例を使いながら企画・運営のポイントを示し、スムーズな運営を行うために必要な細部に気付く力・想像力を養う。

【授業概要・本科目で取り扱うテーマ】 Course Description	テーマ：「イベントのいろは」 概要： イベントと一言で言っても、その内容は様々。音楽・スポーツイベントなどが目につきがちですが、実際には発表会や展示会、企業の会議・コンベンションやパーティなど毎日様々なイベントが行われています。目的や課題に応じて、イベントの種類やその内容は大きく違ってきます。当プロフェッショナルセミナーでは、それぞれのイベントに必要なモノ・コトについての知識や、イベントの違いや特性などについて学ぶことで、課題を解決する手段としての「イベント」に対する理解を深めます。その後、社会に出た時に即戦力となれるよう、発想力・プレゼン力・協同力をより一層高めていくことを目指します。
【到達目標】 Course Objectives	【チームワークの重要性を知り、承認力を身に付ける】 ・具体的な課題への期限のある作業を通し、役割分担やサポートの大切さに気付く。 ・ひとつの事象に対して感じることは人それぞれ。それを否定せず認め合いながら自分の発想の糧にできる。 【PC作業力・想像力・発想力・プレゼンテーション力を育む】 ・イベントの種類に応じたプランニングのための情報収集とアイデア出しができ、自分のアイデア・企画を、わかりやすく、共感をもって伝えられる力を身に付ける。 ・座学で学んだ企画・演出・運営のポイントを理解しながらプランニング～資料作成～プレゼンテーションができる。 【イベント実施運営の構成要素について発想・企画ができる】 イベントを企画する上で基本となる構成要素に基づいて、アイデア発想したり最適な会場・手法の提案ができる。
【履修条件・受講推奨者】 Course Conditions	◇幅広くイベントに興味を持ち、特にイベントの「運営」の仕組みを知りたいと考えていること。 ◇講義内で行うワークやディスカッションに積極的に参加できること。
【教育方法】 Teaching Method	講義ではスライドを使用し、イベント実施運営の基本を学びます。 またワークも取り入れ、実践に近いかたちでイベント運営のポイントを押さえていきます。
【指定教科書・参考資料等】 Textbooks・Reference Books	◇教科書は使用せず。必要に応じて資料配布する。
【実務！Q 修得目標】 Learning objective based on practical applicability	自制力 self-control 思考力 ability to think ○ 突破力 The power to break ○ 忍耐力 endurance 協働力 ability to cooperate ○ 主張力 assertiveness 創造力 creativity ○

【成績評価・評価上の留意事項（試験方法、単位修得要件）】 Evaluation	評価項目と割合		評価方法		
	【イベント全体像を想像・把握・理解できる】 授業中に行う質疑応答、ワーク、小テスト、本試験の設問に対する回答によって評価。	35%	70%以上の出席を前提として、 授業態度30%、提出物10%、期末試験60% 講義への積極的な参加姿勢・ワークへの取り組みなど含め、総合的な学習成果に基づいて評価します。		
	【イベント実施運営において必要となる対応が考えられる】 授業中に行う質疑応答、ワーク、小テスト、本試験の設問に対する回答によって評価。	35%			
	【イベント実施運営の構成要素について発想・企画ができる】 授業中に行う質疑応答、ワーク、小テスト、本試験の設問に対する回答によって評価。	30%			
	合計		1 0 0 %		
【その他の注意事項】 Others					
	◇講義中、他者に迷惑となる行為（私語等）厳に禁止する。講義に関係のない携帯電話の使用（メール・ウェブの閲覧も含む）もご遠慮ください。 ◇ 授業に使用する一部スライドの撮影はできません。また、スライドの配布はいたしません。				
	【週】 Week	【テーマ】 Theme	【学習内容】 Study Contents		
	No1	ガイダンス	イベントにおける実施運営の大切さ		
	【予習内容】 Preparation		自身が参加したイベントについて考察する	120	分
	【復習内容】 Review		当該講義内容について	120	分
	No2	6W2Hの考え方①	イベントの基本構造		
	【予習内容】 Preparation		5W1Hについて	120	分
	【復習内容】 Review		当該講義内容について	120	分
	No3	6W2Hの考え方②	イベントの基本構造 ～ 企画の考え方		
	【予習内容】 Preparation		自身が参加したイベントを6W2Hに当てはめ、なぜそう組み立てられたか理由を考察する	120	分
	【復習内容】 Review		当該講義内容について	120	分
	No4	企画を実現するために①	不可能を可能にするために ～ 企画の実現に向けて考えること		
【予習内容】 Preparation		考えた企画を実現するためには何を解決しなくてはならないかを考察	120	分	
【復習内容】 Review		当該講義内容について	120	分	

No5	企画を実現するために②	不可能を可能にするために ～ 事前のトラブル回避		
	【予習内容】 Preparation	イベントにおいて考えられるトラブルを考察	120	分
	【復習内容】 Review	当該講義内容について	120	分
No6	イベント会場の選定	イベント会場の種類と考え方		
	【予習内容】 Preparation	自身が参加したイベントの「会場」について、なぜその会場だったのかを考察	120	分
	【復習内容】 Review	当該講義内容について	120	分
No7	受付の考え方	スムーズな受付業務とは		
	【予習内容】 Preparation	自身が体験した「受付」について、受付方法やスムーズさなど受付業務の流れを考察	120	分
	【復習内容】 Review	当該講義内容について	120	分
No8	客席の考え方	スクール、シアター、着席、ビュッフェの違いと目的		
	【予習内容】 Preparation	自身が参加したイベントの「席の作り」について、なぜその形だったのかについて考察	120	分
	【復習内容】 Review	当該講義内容について	120	分
No9	イベント現場のスタッフ	イベントに関わるスタッフの種類と違い		
	【予習内容】 Preparation	自身が参加したイベントで見かけた・接したスタッフの業務について考察	120	分
	【復習内容】 Review	当該講義内容について	120	分
No10	キャスティング	イベントゲストの選定と交渉		
	【予習内容】 Preparation	自身が参加したイベントや観た番組などに有名人が出演した経緯・交渉について考察	120	分
	【復習内容】 Review	当該講義内容について	120	分

	No11	実施計画①	実施計画の考え方 ～ 企画書の内容を現実にして考えてみる		
		【予習内容】 Preparation	自身が参加したイベント等で、ストレスを感じた様々な事象について 思い返し、考察	120	分
		【復習内容】 Review	当該講義内容について	120	分
	No12	実施計画②	実施計画の考え方 ～ 企画の実現に向けて必要な資料		
		【予習内容】 Preparation	自身が参加したイベント等で見かけた、スタッフが配置されている箇所について考察	120	分
		【復習内容】 Review	当該講義内容について	120	分
	No13	運営マニュアル①	運営マニュアル制作 ～ なぜ運営マニュアルが必要なのか		
		【予習内容】 Preparation	運営マニュアルがある理由について考察	120	分
		【復習内容】 Review	当該講義内容について	120	分
	No14	運営マニュアル②	運営マニュアル制作 ～ 運営マニュアルの内容		
		【予習内容】 Preparation	自身のバイト先などにある教育マニュアルを思い返し、項目・内容について考察	120	分
		【復習内容】 Review	当該講義内容、これまでの講義内容について	120	分

分野系列 Area of Study	応用科目
カリキュラム Curriculum	経営学部 イベント(留学2022)、経営学部 イベント(2022)、経営学部 イベント(留学2021)、経営学部 イベント(2021)、経営学部 イベント(留学2020)、経営学部 イベント(2020)、経営学部 イベント(留学2019)、経営学部 イベント(2019)、経営学部 イベント(留学2018)、経営学部 イベント(2018)
配当学年（履修対象） Year of Study	2 年
講義名 Name of Subject	セールスプロモーションイベント E-A
講義名（英語表記） Name of Subject (English)	Sales Promotion Event
担当教員 Instructor	佐野 孝行
必修／選択 Compulsory／Elective	なし
開講期 Course Period	春(前)期
単位数 Credits	2
実務経験のある教員 (実務経験と授業内容の関係)	担当教員は、ゲームメーカーにおいて、商品販売戦略や商品ライセンス部門などに30年従事した経験を有しております。その実務経験を活かして販売計画の立て方や販売戦略理論を分かりやすく講義します。

【授業概要・本科目で取り扱うテーマ】 Course Description	入場料を徴収する音楽コンサートのようなイベントを除けば、その多くは販売促進（セールスプロモーション）を目的に実施されています。流通店舗で行われる商品催事から始まり、昨今ではWEBやアプリを使用したセールスプロモーション事例も多くなってきており、その展開形態は多様性に富んでいます。販売促進の目的も、集客動員や使用体験の創出からイメージ訴求・意識喚起まで幅広く、経済活動の一環として行われているために、社会全般に対する影響力も大きいものです。セールスプロモーション全体の流れを、ゲームビジネスを中心としたエンターテインメント業界の仕組みとともに解説していきます。							
【到達目標】 Course Objectives	【セールスプロモーションの基本を理解する】 セールスプロモーション・販売促進の役割や重要性について答えられる 広報など関連する業務・役割も理解し、その相違点も理解出来る 【セールスプロモーションイベントの実施段階での理解を深める】 セールスプロモーションの種類や手法を理解出来る セールスプロモーションイベントに関連する業界や会社・業務を理解出来る 【セールスプロモーションイベントの戦略を説明出来る】 セールスプロモーションイベントの企画立案・予算策定のポイントを理解し自ら計画出来る							
【履修条件・受講推奨者】 Course Conditions	ゲームやアニメ・コミック・音楽など、エンターテインメントビジネスに興味があること							
【教育方法】 Teaching Method	実務事例や知見をもとに、各テーマにおけるポイントとなる点を重点的に講義する							
【指定教科書・参考資料等】 Textbooks ・ Reference Books	教科書は使用せず、授業時にテキストや資料を使用する							
【実務！Q修得目標】 Learning objective based on practical applicability	自制力 self-control	○	思考力 ability to think	○	突破力 The power to break		忍耐力 endurance	
	協働力 ability to cooperate		主張力 assertiveness	○	創造力 creativity	○		

【成績評価・評価上の留意事項（試験方法、単位修得要件）】 Evaluation	評価項目と割合		評価方法		
	授業への意欲	40%	期末レポートの提出は単位取得の必須要件とします。		
	日々の課題への対応	20%			
	期末レポート	40%			
	合計	100%			
【その他の注意事項】 Others	特になし				
	【週】 Week	【テーマ】 Theme	【学習内容】 Study Contents		
	No1	セールスプロモーションの基礎①	まず始めにセールスプロモーションとは何かを解説。マーケティングとは何かもあわせて解説します。		
		【予習内容】 Preparation	自分の好きなコンテンツで良いので情報収集を行うこと	120	分
		【復習内容】 Review	用語の理解など日常会話で使用出来るまで反芻すること	120	分
	No2	セールスプロモーションの基礎②	セールスプロモーションイベントに必要な、4つの「P」を解説します。		
		【予習内容】 Preparation	テーマに関し自分なりに推測してみる	120	分
		【復習内容】 Review	自分の立てた仮説との正誤を確認し、正しい認識を持つこと	120	分
	No3	セールスプロモーションの基礎③	多数あるセールスプロモーションイベントのジャンルや手法を解説します。		
		【予習内容】 Preparation	テーマに関し自分なりに推測してみる	120	分
		【復習内容】 Review	自分の立てた仮説との正誤を確認し、正しい認識を持つこと	120	分
	No4	エンターテインメント業界研究①	ゲーム業界を中心に、エンターテインメント会社の組織や部門の役割などを解説します。		
		【予習内容】 Preparation	自分の好きな作品を作ったメーカーのHPなどをあらかじめ確認すること	120	分
		【復習内容】 Review	用語の理解など日常会話で使用出来るまで反芻すること	120	分

【授業計画】
Course Schedule

No5	エンターテインメント業界研究②	広告宣伝と販売促進の違いやパブリシティと広報の違いなど、セールスプロモーションイベントに関連する業務について解説します。		
	【予習内容】 Preparation	テーマに関し自分なりに推測してみる	120	分
	【復習内容】 Review	用語の理解など日常会話で使用出来るまで反芻すること	120	分
	No6	セールスプロモーションイベント解説	WEBやモバイルを利用したセールスプロモーションイベントを解説します。	
		【予習内容】 Preparation	テーマに関し自分なりに推測してみる	120 分
		【復習内容】 Review	自分の立てた仮説との正誤を確認し、正しい認識を持つこと	120 分
		商流解説	百貨店とショッピングセンターの違いについて、買取と委託形式の違いについてなど、セールスプロモーションイベントを行う際に関係する小売店や流通関係の仕組みについて解説します。	
	No7	【予習内容】 Preparation	テーマに関し自分なりに推測してみる	120 分
		【復習内容】 Review	自分の立てた仮説との正誤を確認し、正しい認識を持つこと	120 分
		セールスプロモーションイベントの予算策定と企画立案①	ゲーム会社での事例を参考に、広告宣伝費や販売促進費の予算の立て方・企画の立て方について解説します。	
	No8	【予習内容】 Preparation	自分の好きな作品の専用サイトなどをあらかじめ確認すること	120 分
		【復習内容】 Review	講義を振り返り、自分なりに再度試算などを行うこと	120 分
		セールスプロモーションイベントの予算策定と企画立案②	メーカーと広告代理店やイベント制作会社・CM制作会社などの関係性や仕事の流れについて解説します。	
	No9	【予習内容】 Preparation	テーマに関係する企業のHPなどを確認しておくこと	120 分
		【復習内容】 Review	講義を振り返り、自分なりに相関図などを作成してみる	120 分
		セールスプロモーションイベントの具体例①	過去に行った印象的なセールスプロモーションイベントを事例を交えて解説します。	
	No10	【予習内容】 Preparation	指定された作品の専用サイトなどをあらかじめ確認しておくこと	120 分
		【復習内容】 Review	講義を振り返り、関連情報をあらかじめ収集・確認すること	120 分

	No11	セールスプロモーションイベントの具体例②	過去に行った印象的なセールスプロモーションイベントを事例を交えて解説します。		
		【予習内容】 Preparation	指定された作品の専用サイトなどをあらかじめ確認しておくこと	120	分
		【復習内容】 Review	講義を振り返り、関連情報をあらためて収集・確認すること	120	分
	No12	セールスプロモーションイベントの具体例③	ソーシャルゲームやeスポーツなど配信型セールスプロモーションイベントについて解説します。		
		【予習内容】 Preparation	指定された作品の専用サイトなどをあらかじめ確認しておくこと	120	分
		【復習内容】 Review	講義を振り返り、関連情報をあらためて収集・確認すること	120	分
	No13	セールスプロモーションイベントの歴史	阪急電鉄と宝塚歌劇団に代表される地域開発とセールスプロモーションイベントの関係や、セールスプロモーションイベントの歴史を解説します。		
		【予習内容】 Preparation	テーマに関係する企業のHPなどを確認しておくこと	120	分
		【復習内容】 Review	講義を振り返り、関連情報をあらためて収集・確認すること	120	分
	No14	今後のセールスプロモーションイベント	今後のセールスプロモーションイベントの変化・進化について展望します。		
		【予習内容】 Preparation	テーマに関し自分なりに推測してみること	120	分
		【復習内容】 Review	講義を振り返り、関連情報をあらためて収集・確認すること	120	分

分野系列 Area of Study	応用科目
カリキュラム Curriculum	経営学部 イベント(留学2022)、経営学部 イベント(2022)、経営学部 イベント(留学2021)、経営学部 イベント(2021)、経営学部 イベント(留学2020)、経営学部 イベント(2020)、経営学部 イベント(留学2019)、経営学部 イベント(2019)、経営学部 イベント(留学2018)、経営学部 イベント(2018)
配当学年（履修対象） Year of Study	2 年
講義名 Name of Subject	セールスプロモーションイベント論 I E-A
講義名（英語表記） Name of Subject (English)	Sales Promotion Event Theory I
担当教員 Instructor	佐野 孝行
必修／選択 Compulsory／Elective	なし
開講期 Course Period	春(前)期
単位数 Credits	2
実務経験のある教員 (実務経験と授業内容の関係)	担当教員は、ゲームメーカーにおいて、商品販売戦略や商品ライセンス部門などに30年従事した経験を有しております。その実務経験を活かして販売計画の立て方や販売戦略理論を分かりやすく講義します。

【授業概要・本科目で取り扱うテーマ】 Course Description	入場料を徴収する音楽コンサートのようなイベントを除けば、その多くは販売促進（セールスプロモーション）を目的に実施されています。流通店舗で行われる商品催事から始まり、昨今ではWEBやアプリを使用したセールスプロモーション事例も多くなってきており、その展開形態は多様性に富んでいます。販売促進の目的も、集客動員や使用体験の創出からイメージ訴求・意識喚起まで幅広く、経済活動の一環として行われているために、社会全般に対する影響力も大きいものです。セールスプロモーション全体の流れを、ゲームビジネスを中心としたエンターテインメント業界の仕組みとともに解説していきます。						
【到達目標】 Course Objectives	【セールスプロモーションの基本を理解する】 セールスプロモーション・販売促進の役割や重要性について答えられる 広報など関連する業務・役割も理解し、その相違点も理解出来る 【セールスプロモーションイベントの実施段階での理解を深める】 セールスプロモーションの種類や手法を理解出来る セールスプロモーションイベントに関連する業界や会社・業務を理解出来る 【セールスプロモーションイベントの戦略を説明出来る】 セールスプロモーションイベントの企画立案・予算策定のポイントを理解し自ら計画出来る						
【履修条件・受講推奨者】 Course Conditions	ゲームやアニメ・コミック・音楽など、エンターテインメントビジネスに興味があること						
【教育方法】 Teaching Method	実務事例や知見をもとに、各テーマにおけるポイントとなる点を重点的に講義する						
【指定教科書・参考資料等】 Textbooks ・ Reference Books	教科書は使用せず、授業時にテキストや資料を使用する						
【実務！Q修得目標】 Learning objective based on practical applicability	自制力 self-control	○	思考力 ability to think	○	突破力 The power to break	忍耐力 endurance	
	協働力 ability to cooperate		主張力 assertiveness	○	創造力 creativity	○	

【成績評価・評価上の留意事項（試験方法、単位修得要件）】 Evaluation	評価項目と割合		評価方法		
	授業への意欲	40%	期末レポートの提出は単位取得の必須要件とします。		
	日々の課題への対応	20%			
	期末レポート	40%			
	合計	100%			
【その他の注意事項】 Others	特になし				
	【週】 Week	【テーマ】 Theme	【学習内容】 Study Contents		
	No1	セールスプロモーションの基礎①	まず始めにセールスプロモーションとは何かを解説。マーケティングとは何かもあわせて解説します。		
		【予習内容】 Preparation	自分の好きなコンテンツで良いので情報収集を行うこと	120	分
		【復習内容】 Review	用語の理解など日常会話で使用出来るまで反芻すること	120	分
	No2	セールスプロモーションの基礎②	セールスプロモーションイベントに必要な、4つの「P」を解説します。		
		【予習内容】 Preparation	テーマに関し自分なりに推測してみること	120	分
		【復習内容】 Review	自分の立てた仮説との正誤を確認し、正しい認識を持つこと	120	分
	No3	セールスプロモーションの基礎③	多数あるセールスプロモーションイベントのジャンルや手法を解説します。		
		【予習内容】 Preparation	テーマに関し自分なりに推測してみること	120	分
		【復習内容】 Review	自分の立てた仮説との正誤を確認し、正しい認識を持つこと	120	分
	No4	エンターテインメント業界研究①	ゲーム業界を中心に、エンターテインメント会社の組織や部門の役割などを解説します。		
		【予習内容】 Preparation	自分の好きな作品を作ったメーカーのHPなどをあらかじめ確認すること	120	分
		【復習内容】 Review	用語の理解など日常会話で使用出来るまで反芻すること	120	分

【授業計画】
Course Schedule

No5	エンターテインメント業界研究②	広告宣伝と販売促進の違いやパブリシティと広報の違いなど、セールスプロモーションイベントに関連する業務について解説します。		
	【予習内容】 Preparation	テーマに関し自分なりに推測してみる	120	分
	【復習内容】 Review	用語の理解など日常会話で使用出来るまで反芻すること	120	分
	No6	セールスプロモーションイベント解説	WEBやモバイルを利用したセールスプロモーションイベントを解説します。	
		【予習内容】 Preparation	テーマに関し自分なりに推測してみる	120 分
		【復習内容】 Review	自分の立てた仮説との正誤を確認し、正しい認識を持つこと	120 分
		商流解説	百貨店とショッピングセンターの違いについて、買取と委託形式の違いについてなど、セールスプロモーションイベントを行う際に関係する小売店や流通関係の仕組みについて解説します。	
	No7	【予習内容】 Preparation	テーマに関し自分なりに推測してみる	120 分
		【復習内容】 Review	自分の立てた仮説との正誤を確認し、正しい認識を持つこと	120 分
		セールスプロモーションイベントの予算策定と企画立案①	ゲーム会社での事例を参考に、広告宣伝費や販売促進費の予算の立て方・企画の立て方について解説します。	
	No8	【予習内容】 Preparation	自分の好きな作品の専用サイトなどをあらかじめ確認すること	120 分
		【復習内容】 Review	講義を振り返り、自分なりに再度試算などを行うこと	120 分
		セールスプロモーションイベントの予算策定と企画立案②	メーカーと広告代理店やイベント制作会社・CM制作会社などの関係性や仕事の流れについて解説します。	
	No9	【予習内容】 Preparation	テーマに関係する企業のHPなどを確認しておくこと	120 分
		【復習内容】 Review	講義を振り返り、自分なりに相関図などを作成してみる	120 分
	No10	セールスプロモーションイベントの具体例①	過去に行った印象的なセールスプロモーションイベントを事例を交えて解説します。	
		【予習内容】 Preparation	指定された作品の専用サイトなどをあらかじめ確認しておくこと	120 分
		【復習内容】 Review	講義を振り返り、関連情報をあらかじめ収集・確認すること	120 分

	No11	セールスプロモーションイベントの具体例②	過去に行った印象的なセールスプロモーションイベントを事例を交えて解説します。		
		【予習内容】 Preparation	指定された作品の専用サイトなどをあらかじめ確認しておくこと	120	分
		【復習内容】 Review	講義を振り返り、関連情報をあらためて収集・確認すること	120	分
	No12	セールスプロモーションイベントの具体例③	ソーシャルゲームやeスポーツなど配信型セールスプロモーションイベントについて解説します。		
		【予習内容】 Preparation	指定された作品の専用サイトなどをあらかじめ確認しておくこと	120	分
		【復習内容】 Review	講義を振り返り、関連情報をあらためて収集・確認すること	120	分
	No13	セールスプロモーションイベントの歴史	阪急電鉄と宝塚歌劇団に代表される地域開発とセールスプロモーションイベントの関係や、セールスプロモーションイベントの歴史を解説します。		
		【予習内容】 Preparation	テーマに関係する企業のHPなどを確認しておくこと	120	分
		【復習内容】 Review	講義を振り返り、関連情報をあらためて収集・確認すること	120	分
	No14	今後のセールスプロモーションイベント	今後のセールスプロモーションイベントの変化・進化について展望します。		
		【予習内容】 Preparation	テーマに関し自分なりに推測してみること	120	分
		【復習内容】 Review	講義を振り返り、関連情報をあらためて収集・確認すること	120	分

分野系列 Area of Study	応用科目
カリキュラム Curriculum	経営学部 イベント(留学2023)、経営学部 イベント(2023)
配当学年（履修対象） Year of Study	2 年
講義名 Name of Subject	セールスプロモーションイベント論Ⅱ E-K
講義名（英語表記） Name of Subject (English)	Sales Promotion Event Theory II
担当教員 Instructor	佐野 孝行
必修／選択 Compulsory／Elective	なし
開講期 Course Period	秋(後)期
単位数 Credits	2
実務経験のある教員 (実務経験と授業内容の関係)	担当教員は、ゲームメーカーにおいて、商品販売戦略や商品ライセンス業務などマーケティング業務全般を30年従事した経験を有しております。その実務経験を活かしてメディアミックス理論を分かりやすく講義します。

【授業概要・本科目で取り扱うテーマ】 Course Description	現代において、一つの作品世界を軸に様々な形でその世界観を共有する表現が、様々なイベントとして組み込まれて行くのが当たり前になっています。アニメ化・テレビドラマ化・映画化にとどまらず、舞台化や脱出ゲーム・謎解きなどのアトラクション化、さらにはVR化など新しいメディアの登場に合わせてメディアミックス展開も広がりをみせています。 当授業においては、まず日本におけるメディアミックスの歴史や成り立ち・展開の仕組み・世界観の構築方法・関わる会社やスタッフの仕事の役割などを基礎から学びます。																				
【到達目標】 Course Objectives	【メディアミックスイベントに関する基礎知識を理解する】 メディアミックスの意味や手法を基礎から理解し説明することが出来る メディアミックスイベントの歴史を把握する事で、時代ごとの特徴を知る事が出来る メディアミックスイベントに必要な契約関係や権利関係などの知識を知る事が出来る 【様々なメディアミックスイベントの特徴や構成要素を理解する】 事例を学ぶことにより、成功するためのポイントを理解し説明することが出来る 【メディアミックスイベントを企画する力を身につける】 メディアミックスイベントを自ら計画し提案する事が出来る																				
【履修条件・受講推奨者】 Course Conditions	エンターテインメントビジネスに興味があり、その仕組みを知りたいと思っていること																				
【教育方法】 Teaching Method	実務事例や知見をもとに、各テーマにおけるポイントとなる点を重点的に講義する																				
【指定教科書・参考資料等】 Textbooks ・ Reference Books	教科書は使用せず、授業時に資料を配布する																				
【実務！Q 修得目標】 Learning objective based on practical applicability	<table><tr><td>自制力 self-control</td><td>○</td><td>思考力 ability to think</td><td>○</td><td>突破力 The power to break</td><td>忍耐力 endurance</td><td></td></tr><tr><td>協働力 ability to cooperate</td><td></td><td>主張力 assertiveness</td><td>○</td><td>創造力 creativity</td><td></td><td></td></tr></table>							自制力 self-control	○	思考力 ability to think	○	突破力 The power to break	忍耐力 endurance		協働力 ability to cooperate		主張力 assertiveness	○	創造力 creativity		
自制力 self-control	○	思考力 ability to think	○	突破力 The power to break	忍耐力 endurance																
協働力 ability to cooperate		主張力 assertiveness	○	創造力 creativity																	

【成績評価・評価上の留意事項（試験方法、単位修得要件）】 Evaluation	評価項目と割合		評価方法		
	授業への意欲	40	期末レポートの提出は、単位取得にあたって必須要件とします。		
	日々の課題	20			
	期末レポート	40			
	合計		100%		
【その他の注意事項】 Others	特になし				
	【週】 Week	【テーマ】 Theme	【学習内容】 Study Contents		
	No1	イントロダクション	まずはじめにメディアミックスの用語解説と、日本におけるメディアミックスイベント事例の歴史を解説します。		
		【予習内容】 Preparation	テーマに関し自分なりに調査・考察しておくこと	120	分
		【復習内容】 Review	用語の理解など日常会話で使用出来るまで反芻すること	120	分
	No2	エンターテインメント業界研究①	映画業界の構造や制作委員会方式の解説と、実写やアニメ映画化におけるメディアミックスイベントの展開事例を解説します。		
		【予習内容】 Preparation	テーマに関し自分なりに調査・考察しておくこと	120	分
		【復習内容】 Review	用語の理解など日常会話で使用出来るまで反芻すること	120	分
	No3	エンターテインメント業界研究②	テレビ業界の構造解説と、テレビドラマなどにおけるメディアミックスイベントの展開事例を解説します。		
		【予習内容】 Preparation	テーマに関連する企業のHPなどを確認しておくこと	120	分
		【復習内容】 Review	講義を振り返り、関連情報をあらためて収集・確認すること	120	分
	No4	エンターテインメント業界研究③	出版業界の構造解説と、漫画・小説原作のメディアミックスイベントの展開事例を解説します。		
		【予習内容】 Preparation	テーマに関連する企業のHPなどを確認しておくこと	120	分
		【復習内容】 Review	講義を振り返り、関連情報をあらためて収集・確認すること	120	分

【授業計画】
Course Schedule

No5	エンターテインメント業界研究④-1	日本におけるゲーム業界の構造と歴史解説を行います。		
	【予習内容】 Preparation	テーマに関連する企業のHPなどを確認しておくこと	120	分
	【復習内容】 Review	講義を振り返り、関連情報をあらためて収集・確認すること	120	分
	No6	エンターテインメント業界研究④-2	ゲーム原作のメディアミックスイベントの展開事例を解説します。	
		【予習内容】 Preparation	自分の好きな作品の専用サイトなどをあらかじめ確認すること	120 分
		【復習内容】 Review	講義を振り返り、関連情報をあらためて収集・確認すること	120 分
	No7	エンターテインメント業界研究④-3	ソーシャルゲームの構造解説とメディアミックスイベントの展開事例解説。日本で行われているメディアミックス展開全般と海外展開の相違点を解説します。	
		【予習内容】 Preparation	テーマに沿ったコンテンツのHPなどを事前に確認しておくこと	120 分
		【復習内容】 Review	講義を振り返り、関連情報をあらためて収集・確認すること	120 分
	No8	メディアミックスイベントに必要なノウハウ①	メディアミックス展開に必要なビジネススキームやビジネスモデルを解説します。	
		【予習内容】 Preparation	テーマに関し自分なりに調査・考察しておくこと	120 分
		【復習内容】 Review	用語の理解など日常会話で使用出来るまで反芻すること	120 分
	No9	メディアミックスイベントに必要なノウハウ②	商品開発に際して行われる契約関係や、各種発生する印税など著作権について解説します。	
		【予習内容】 Preparation	テーマに関し自分なりに調査・考察しておくこと	120 分
		【復習内容】 Review	用語の理解など日常会話で使用出来るまで反芻すること	120 分
	No10	メディアミックスイベントに必要なノウハウ③	WEBやSNSなどを利用した配信系サービスのビジネスモデルを解説します。	
		【予習内容】 Preparation	テーマに関し自分なりに調査・考察しておくこと	120 分
		【復習内容】 Review	用語の理解など日常会話で使用出来るまで反芻すること	120 分

	No11	ブランドマネジメント	作品の収益化に関して、シリーズ化戦略やリメイク戦略を交えて解説します。		
		【予習内容】 Preparation	自分の好きな作品の専用サイトなどをあらかじめ確認すること	120	分
		【復習内容】 Review	講義を振り返り、関連情報をあらためて収集・確認すること	120	分
	No12	エンターテインメント業界研究⑤	芸能プロダクションや声優事務所の歴史や構造解説とともに、メーカー（クライアント）との関係性などを解説します。		
		【予習内容】 Preparation	テーマに沿った会社のHPなどをあらかじめ確認しておくこと	120	分
		【復習内容】 Review	講義を振り返り、関連情報をあらためて収集・確認すること	120	分
	No13	エンターテインメント業界研究⑥	テレビ制作会社やCM制作会社の構造解説とともに、メーカー（クライアント）との関係性などを解説します。		
		【予習内容】 Preparation	テーマに沿った会社のHPなどをあらかじめ確認しておくこと	120	分
		【復習内容】 Review	講義を振り返り、関連情報をあらためて収集・確認すること	120	分
	No14	メディアミックスイベントの今後の展望	eスポーツやAR・VRなどのビジネス面での構造解説と、メディアミックスイベントの今後の展望について解説します。		
		【予習内容】 Preparation	テーマに関し自分なりに調査・考察しておくこと	120	分
		【復習内容】 Review	講義を振り返り、自分なりに考察を加えること	120	分

分野系列 Area of Study	演習科目
カリキュラム Curriculum	経営学部 イベント(留学2023)、経営学部 イベント(2023)
配当学年（履修対象） Year of Study	2 年
講義名 Name of Subject	イベント実践特講Ⅲ(CSRイベント論) E-A
講義名（英語表記） Name of Subject (English)	Event Practice Special Lecture III
担当教員 Instructor	濱松 敏廣
必修／選択 Compulsory／Elective	選択必修
開講期 Course Period	春(前)期
単位数 Credits	2
実務経験のある教員 (実務経験と授業内容の関係)	100社を超える企業からの協賛で非営利組織の運営を行って来ました。企業IR等にSDGsが盛り込まれる今日、企業サイドが求める社会との共生手段に目を向け、多角的な着眼点を持つ学生を育成します。

【授業概要・本科目で取り扱うテーマ】 Course Description	企業イメージ向上のために、もはや必須条件とも言える「Corporate Social Responsibility＝CSR」。さまざまな企業不祥事が世間を騒がせる昨今、社会貢献活動を行うことは企業にとってコストはかかれどもやらざるを得ないリスク対策でもある。そして就職前の学生にとってCSRを早期に学ぶことで得られるメリットとは、その業界が抱える問題や未来予想図を事前に分析できることである。就職を希望する企業のCSRを分析することで自分の潜在意識との整合性を促すことで、社会の即戦力として期待される学生を育成します。							
【到達目標】 Course Objectives	就職を望む企業のCSRを知り、なぜその問題に取り組むのか、意図を確認すること。 企業CSRの企画意図を読み取り、業界の未来予測を分析体験すること。 既存CSRを参考にしつつ、提案できるCSR活動とは何かを見定め、形にすること。							
【履修条件・受講推奨者】 Course Conditions	◇ 履修条件：とくになし。							
【教育方法】 Teaching Method	系統学習に加えて、一部課題解決型学習を取り入れます。							
【指定教科書・参考資料等】 Textbooks ・ Reference Books	指定図書は使用しません。各テーマごと、必要に応じて用意します。							
【実務 I Q 修得目標】 Learning objective based on practical applicability	自制力 self-control		思考力 ability to think	○	突破力 The power to break		忍耐力 endurance	
	協働力 ability to cooperate	○	主張力 assertiveness		創造力 creativity	○		

【成績評価・評価上の留意事項（試験方法、単位修得要件）】 Evaluation	評価項目と割合		評価方法		
	社会課題を認識し、SDGsへの理解ができたか。	35	評価項目と割合に準拠しつつ、授業態度および課題提出数を加味した上で、試験にて評価を行う。		
	CSR/SDGsのインパクト評価と効果測定への理解ができたか。	35			
	課題提出の提出。	30			
	合計	100%			
【その他の注意事項】 Others					
	◇他校の学生や社会人と連絡をとることがあるため、対外的に使えるメールアドレスをご用意ください。 ◇予習や復習はあくまでも学問としての理解を深めるための目安であり、当授業にとって必ずしも必要ではありません。				
	【週】 Week	【テーマ】 Theme	【学習内容】 Study Contents		
	No1	日本企業におけるCSRとその歴史について	就活への新たな切り口と、企業の目指す共存概念を調べてみよう		
	【予習内容】 Preparation	自分が興味を持つ企業、または業界が取り組むCSRについて、調べておこう。	120	分	
	【復習内容】 Review	企業が取り組むCSRについて調べることで、自分に何ができるかを考えてみよう。	120	分	
	No2	SDGsとCSR	営利視点での社会貢献と非営利視点での社会貢献の違いについて考えてみよう		
	【予習内容】 Preparation	営利企業におけるCSRとボランティアの違いとは何か。思考を整理しておこう。	120	分	
	【復習内容】 Review	非営利団体と営利企業の違いについて、思考の整理をしておこう。	120	分	
	No3	CSRが広がった社会背景への考察	時代の変遷によって変わったCSRへの議論を知ってみよう		
	【予習内容】 Preparation	日本にCSRが広がった背景は何か、調べてみよう。	120	分	
	【復習内容】 Review	アメリカと日本におけるCSRを取り巻く社会的背景について、理解しよう。	120	分	
	No4	CSRとCSVの違いについて	企業の経営者目線と社員や株主目線での印象の差異を感じてみよう		
【予習内容】 Preparation	企業経営者・社員・株主など、それぞれの立場で求める思惑を考えてみよう。	120	分		
【復習内容】 Review	それぞれの立場で求められる社会貢献への理解の差について、議論しよう。	120	分		

【授業計画】
Course Schedule

No5	CSRが掲げる4つの社会的責任とCSRピラミッド	言葉の意味を学んでみよう		
	【予習内容】 Preparation	4つの社会的責任とは、またCSRピラミッドとは何か？調べてみよう。	120	分
	【復習内容】 Review	CSRピラミッドを意識した取り組みとCSR否定論について、 再考してみよう。	120	分
	No6	企業CSR担当者と非営利法人の関係性	三方良しなんてあり得るの？可能性への追究	
		【予習内容】 Preparation	CSRの取り組みの方法にはどのような種類があるか、調べてみよう。	120 分
		【復習内容】 Review	種類によって、どのような方法が三宝よしになり得るのか、 考えてみよう。	120 分
		if～企業CSV担当者になるとしたら？①	仕事へのイメージネーションを育もう	
	No7	【予習内容】 Preparation	自分が就職を望む企業において実践されている既存CSVとは何か？ 調べてみよう。	120 分
		【復習内容】 Review	就職を望む企業において実践されている既存CSVについて意見を まとめてみよう。	120 分
		if～企業CSV担当者になるとしたら？②	仕事へのイメージネーションを発展させよう	
		【予習内容】 Preparation	自分が就職を望む企業においてできる、新たなCSVとは何か？ 調べてみよう。	120 分
		【復習内容】 Review	自分が就職を望む企業においてできる新たなCSVについて、 再度まとめてみよう。	120 分
	No9	if～企業CSR担当者になるとしたら？①	他者共存へのイメージネーションを育もう	
		【予習内容】 Preparation	自分が就職を望む企業において実践されている既存CSRとは何か？ 調べてみよう。	120 分
		【復習内容】 Review	就職を望む企業において実践されている既存CSRについて、 再度まとめてみよう。	120 分
		if～企業CSR担当者になるとしたら？②	他者共存へのイメージネーションを発展させよう	
	No10	【予習内容】 Preparation	自分が就職を望む企業においてできる、新たなCSRとは何か？ 考えてみよう。	120 分
		【復習内容】 Review	就職を望む企業においてできる新たなCSRについて、意見をまとめて みよう。	120 分

	No11	CSRを通じて再考する「あなたの選ぶ未来」とは？	if～ディスカッションを通じて変化した気持ちをまとめよう		
		【予習内容】 Preparation	7～10回授業の中で出た意見をまとめ、自分の気づきをまとめてみよう。	120	分
		【復習内容】 Review	まとまった気づきをもとに、自分がこれから何ができるかを考えてみよう。	120	分
	No12	CSRを通じて再考する「あなたの関わる社会とSDGs」とは？	思考を深める具体的なトレーニングⅠ		
		【予習内容】 Preparation	企業に所属しているからこそできる社会貢献について、強みを考えてみよう。	120	分
		【復習内容】 Review	あなたが取り組みたいと望む社会課題を整理しよう。	120	分
	No13	CSRを通じて再考する「企業の気持ち」とは？	思考を深める具体的なトレーニングⅡ		
		【予習内容】 Preparation	他団体が考える支援への「リターン」とは何か？考えてみよう。	120	分
		【復習内容】 Review	クラウドファンディングに見られる「リターン」について、参考にしてみよう。	120	分
	No14	総括・達成度の確認	今までの授業についての総括および学習達成度の確認しよう。テスト範囲について、要点整理を行います。		
		【予習内容】 Preparation	No1～13までの資料を再度読み直してください。	120	分
		【復習内容】 Review	要点整理をしますので、重要ポイントを復習してください。	120	分